

9024/0

法學博士 仁井田益太郎著

民事訴訟法要論

卷下

大正
2.6.4
交

東京

有斐閣書房
水野書店

金港堂書籍株式會社

民事訴訟法要論目次

第六編	強制執行手續	九六五
第一部	總論	九六五
第一章	強制執行及ヒ強制執行手續	九六五
第二章	強制執行ノ手段	九七二
第三章	強制執行ノ目的物	九七五
第四章	強制執行ノ種類	九七七
第五章	強制執行ノ當事者及ヒ利害關係人	九七八
第六章	執行機關	九八一
第一節	執達吏	九八一

目次

第二節	裁判所	九九二
第七章	強制執行ノ條件	九九七
第一節	汎論	九九七
第二節	實質的條件	一〇〇六
第一款	執行名義	一〇〇七
第一項	判決	一〇〇七
第一目	汎論	一〇〇七
第二目	確定判決	一〇一五
第三目	假執行ノ宣言アル判決	一〇一九
第二項	判決以外ノ執行名義	一〇五〇
第二款	他ノ實質的條件	一〇五四
第三節	形式的條件	一〇五七
第一款	執行力アル正本	一〇五七
第一項	汎論	一〇五七

第二項	判決ノ執行力アル正本	一〇六二
第一目	汎論	一〇六二
第二目	執行文付與ノ方法及ヒ其條件	一〇六五
第三目	執行文付與ノ訴	一〇七五
第四目	執行文ノ付與ニ對スル異議	一〇七七
第三項	他ノ執行力アル正本	一〇八七
第二款	他ノ形式的條件	一〇八九
第八章	執行異議ノ訴	一〇九五
第一節	債務者ノ執行異議ノ訴	一〇九七
第二節	第三者ノ執行異議ノ訴	一一一四
第九章	強制執行ノ方法又ハ手續ニ 關スル申立及ヒ異議	一一二八
第十章	強制執行手續ニ於ケル抗告	一一三五
第十一章	強制執行ノ障礙	一一三七

第十二章 強制執行及ヒ其手續ノ開始、續行及ヒ終了 一一四八

第十三章 強制執行ノ援助 一一五八

第十四章 強制執行手續ニ於ケル催告、通知及ヒ送達 一一六一

第十五章 強制執行ノ費用 一一六二

第二部 各種ノ強制執行 一一六六

第一章 金錢ノ請求ノ爲ニスル強制執行 一一六七

第一節 汎論 一一六七

第二節 動産ニ對スル強制執行 一一七三

第一款 汎論 一一七三

第二款 有體動産ニ對スル強制執行 一一八二

第一項 差押手續 一一八二

第二項 辨濟手續 一一九〇

第三項 債權者ノ競合 一二〇五

第三款 債權其他ノ財産權ニ對スル強制執行 一二一七

第一項 汎論 一二一七

第二項 金錢ノ債權又ハ有體物ノ引渡若クハ給付ヲ目的トスル請求ニ對スル強制執行 一二二三

第一目 差押手續 一二三四

第二目 辨濟手續 一二三四

第三目 有體物ノ引渡又ハ給付ヲ目的トスル請求ニ對スル強制執行ニ特別ナル手續 一二五一

第三項 所有權ニ非ス且ツ前項ノ債權又ハ

請求ニ非サル財産権ニ對スル強制執行

第四項	債權者ノ競合	一二五九
第四款	配當手續	一二六三
第三節	不動産ニ對スル強制執行	一二七一
第一款	汎論	一二九四
第二款	強制競賣手續	一二九八
第一項	汎論	一二九九
第二項	賣却條件	一三〇四
第三項	強制競賣ノ申立	一三一九
第四項	競賣手續開始決定	一三三二
第五項	債權者ノ競合	一三三四
第六項	差押ノ效力	一三三八
第七項	競賣前ノ手續	一三三九

第八項	競賣ノ實施	一三四九
第九項	競落	一三五四
第十項	賣却代金ノ支拂及ヒ配當	一三六九
第十一項	再競賣	一三七四
第十二項	競落ニ依ラサル競賣手續ノ終了	一三七六
第十三項	不動産ノ持分ニ對スル強制執行	一三七七
第十四項	入札拂	一三七八
第三款	強制管理手續	一三八〇
第二項	強制管理ノ申立	一三八一
第三項	強制管理開始決定	一三八二
第四項	債權者ノ競合	一三八四
第五項	強制管理開始決定後ノ手續	一三八六
第六項	管理ノ實施	一三八八
第七項	強制管理手續ノ終了	一三九三

第四節 船舶ニ對スル強制執行

第一款 汎論

第二款 強制競賣ノ申立

第三款 競賣手續開始決定及ヒ差押ノ效力

第四款 競賣手續開始決定後ノ手續

第五款 船舶ノ股分ニ對スル強制執行

第二章 金錢ノ支拂ヲ目的トセサル

請求ノ爲ニスル強制執行

第一節 物ノ引渡ヲ目的トスル請求ノ爲ニスル
強制執行

第二節 或行爲ヲ目的トスル請求ノ爲ニスル
強制執行

第一款 汎論

第二款 強制履行ヲ許ス場合

一三九五

一三九五

一三九九

一四〇一

一四〇四

一四〇五

一四〇七

一四〇七

一四一七

一四一七

一四二一

第七編 特別訴訟手續

第一章 證書訴訟手續

第一節 汎論

第二節 證書訴訟ノ要件

第三節 手續

第四節 證書訴訟ト通常訴訟トノ關係

第五節 爲替訴訟

第二章 督促手續

第一節 汎論

第二節 支拂命令ノ申請

第三款 強制履行ヲ許ササル場合

第一項 債務カ作爲ヲ目的トスル場合

第二項 債務カ意思表示ヲ目的トスル場合

第三項 債務カ不作爲ヲ目的トスル場合

一四二六

一四二六

一四三一

一四三七

一四四三

一四四三

一四四三

一四四六

一四六〇

一四八〇

一四九〇

一四九三

一四九三

一五〇二

第三節 支拂命令ノ申請ニ關スル裁判 一五〇六

第四節 支拂命令 一五〇八

第五節 支拂命令ニ對スル異議ノ申立 一五一二

第六節 執行命令 一五一九

第七節 執行命令ニ對スル故障ノ申立 一五二七

第三章 假差押手續及ヒ假處分手續 一五三五

第一節 汎論 一五三六

第二節 假差押手續 一五四三

第一款 汎論 一五四三

第二款 假差押ノ申請 一五四五

第三款 假差押ノ申請ニ關スル裁判 一五四九

第四款 假差押ノ申請ニ關スル裁判ニ對スル不服ノ申立 一五五五

第五款 不服ノ申立ニ依ラサル假差押命令ノ取消 一正六三

第六款 假差押ノ執行 一五七一

第三節 假處分手續 一五八三

第一款 汎論 一五八四

第二款 假處分命令及ヒ假處令ノ執行 一五九〇

第八編 公示催告手續 一六〇三

第一章 汎論 一六〇三

第二章 公示催告及ヒ除權判決 一六〇五

第三章 證書無效ノ宣言ヲ目的トスル公示催告手續 一六一二

第九編 仲裁手續 一六一七

第一章 汎論 一六一七

第二章 仲裁契約ノ目的物内容及ヒ效力 一六一八

第三章 仲裁人ノ選定 一六二四

第四章	仲裁人ノ忌避	一六二五
第五章	手續	一六二七
第六章	仲裁判斷ノ效力	一六三二
第七章	管轄裁判所	一六三六

民事訴訟法要論目次終

第六編 強制執行手續

第一部 總論

第一章 強制執行及ヒ強制執行手續

強制執行トハ強制方法ニ依リテ當事者ノ一方ニ私法上ノ請求ノ辨濟ヲ得セシムル國家機關ノ行爲ヲ謂フ故ニ強制執行ハ當事者ノ一方ノ私權ヲ保護スルカ爲メ他ノ一方ニ對シ之ヲ爲スモノニシテ民事訴訟ノ目的ヲ達スヘキ行爲ニ外ナラスト謂フヘシ

強制執行ハ抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘキ裁判ニ依リテモ之ヲ爲スコトヲ得ルモノニシテ此裁判ハ民事訴訟ニ牽連シテ生スル公法上ノ請求ノ辨濟ヲ言渡スコトアルカ故ニ斯ル請求ハ亦私權保護ノ爲メニ存スル強制執行ノ手續ニ依リテ辨濟セラルルコトヲ得ルモノト謂フヘシ例ヘハ訴訟費用辨濟ノ請求又ハ正當ノ理由ナクシテ出頭セサル證人若クハ鑑定人ニ言渡シタル罰金

第四章	仲裁人ノ忌避	一六二五
第五章	手續	一六二七
第六章	仲裁判斷ノ效力	一六三二
第七章	管轄裁判所	一六三六

民事訴訟法要論目次終

第六編 強制執行手續

第一部 總論

第一章 強制執行及ヒ強制執行手續

強制執行トハ強制方法ニ依リテ當事者ノ一方ニ私法上ノ請求ノ辨濟ヲ得セシムル國家機關ノ行爲ヲ謂フ故ニ強制執行ハ當事者ノ一方ノ私權ヲ保護スルカ爲メ他ノ一方ニ對シ之ヲ爲スモノニシテ民事訴訟ノ目的ヲ達スヘキ行爲ニ外ナラスト謂フヘシ

強制執行ハ抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘキ裁判ニ依リテモ之ヲ爲スコトヲ得ルモノニシテ此裁判ハ民事訴訟ニ牽連シテ生スル公法上ノ請求ノ辨濟ヲ言渡スコトアルカ故ニ斯ル請求ハ亦私權保護ノ爲メニ存スル強制執行ノ手續ニ依リテ辨濟セラルルコトヲ得ルモノト謂フヘシ例ヘハ訴訟費用辨濟ノ請求又ハ正當ノ理由ナクシテ出頭セサル證人若クハ鑑定人ニ言渡シタル罰金

ヲ取立ツル請求ノ如キ是ナリ(八五、二九四、三二二、三二八、五五九、一號)又刑事訴訟ニ於ケル罰金、科料、訴訟費用及ヒ沒收物品、追徴金並ニ非訟事件手續ニ於ケル過料ハ私權保護ノ爲メニ存スル強制執行ノ手續ニ從ヒテ之ヲ徴收スルモノトス(刑訴三二〇、非訟事件手續法二〇八)

強制執行ハ亦單ニ之ヲ執行ト稱ス然レトモ執行ハ現行法上強制執行ノミヲ指スモノニ非ス國家機關カ裁判ニ基キテ強制執行以外ノ行爲ヲ爲スコト及ヒ裁判カ其效力ニ依リ當然或法律上ノ狀態ヲ惹起スコトハ現行法ニ於テ亦之ヲ名ケテ執行ト稱ス是レ第五百一條ニ於テ第一號及ヒ第三號ニ掲クル判決ノ内容カ強制執行ニ適スルト否トヲ問ハス其假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノト定メ且ツ第四號ニ掲クル假差押又ハ假處分(詳言セハ命シタル假差押又ハ假處分)ヲ取消ス判決ノ假執行ヲ宣言スヘキモノト定メ又第五百二條ニ於テ判決カ強制執行ニ適スル内容ヲ有スルト否トヲ問ハス其假執行ヲ宣言スヘキモノト定メタルノミナラス第五百五十條ニ於テ第一號ニ掲クル裁判カ執行力ヲ有スルコトヲ認メタルニ依リテ自ラ明ナル所ナリ故ニ現行法ノ規定ニ依レハ執行ハ廣義

ニ於テ強制執行ト其他ノ執行トヲ包含スルモノト謂フヘシ廣義ノ執行ニ對シテハ強制執行ハ狹義ノ執行ニ外ナラサルナリ

右ニ述ヘタル所ニ依レハ裁判ノ執行力ハ現行法上強制執行ノ基礎ト爲ルコトヲ得ヘキ其效力ノミヲ指スモノニ非スシテ國家機關ノ強制執行以外ノ行爲ノ基礎ト爲ルコトヲ得ヘキ其效力及ヒ當然或法律上ノ狀態ヲ惹起スコトヲ得ヘキ其效力ヲモ指スモノト知ルヘシ

假執行、執行判決及ヒ執行力アル正本ニ關スル現行法ノ規定ハ強制執行以外ノ執行ニ關シテモ其適用アルモノトス是レ前述ノ説明ニ依リテ自ラ明ナル所ナリ

強制執行ハ當事者ノ一方ニ私法上ノ請求ノ辨濟ヲ得セシムルコトヲ目的トスルモノナルカ故ニ其請求ノ辨濟ヲ怠リタル者ニ對スル制裁ナリト謂フヘカラサルナリ債務ノ辨濟ヲ命スル判決ヲ受ケタルニ拘ラス其辨濟ヲ爲ササル債務者ヲ追放スル獨逸古法ノ制度ハ之ニ對スル制裁ヲ定メタルモノナルカ故ニ強制執行ノ方法ヲ定メタルモノニ非スト雖モ斯ル判決ヲ受ケタル債務者ハ追放

ヲ受クルコトヲ避クルカ爲メ通常辨濟ヲ爲シタルカ故ニ此制度ハ債務者ヲシテ其債務ヲ辨濟セシムル結果ヲ間接ニ生スルコトヲ得タルモノトス
 強制執行ニ依リテ辨濟セラルヘキ私法上ノ請求ハ必シモ債權ニ基ク請求ニ限ラス物權其他ノ權利ニ基ク請求タルモ亦可ナリ故ニ強制執行ハ債權ニ基ク請求ノ爲メニノミ之ヲ爲スモノニ非スト知ルヘシ然レトモ強制執行ハ法律ニ定メタル手續ニ從ヒテ之ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ若シ法律ニ於テ或私法上ノ請求ノ爲メニ爲スヘキ強制執行ノ手續ヲ設ケサルトキハ其請求ノ爲メニハ強制執行ヲ爲スコトヲ得サルナリ

強制執行ハ債權ニ基ク請求ノ爲メニノミ之ヲ爲スモノニ非スシテ他ノ請求例ヘハ所有權ニ基ク請求ノ爲メニモ之ヲ爲スモノナリト雖モ現行法ニ於テハ強制執行ヲ求ムル當事者ヲ債權者ト名ケ強制執行ヲ受クヘキ當事者ヲ債務者ト名ケタリ(五〇三・五〇五等)本編ニ於テ爾後債權者又ハ債務者ト謂ハハ強制執行ヲ求ムル當事者又ハ之ヲ受クヘキ當事者ヲ指スヲ通常トスルヲ知ルヘシ
 強制執行ハ債權者ニ私法上ノ請求ノ辨濟ヲ得セシムルカ爲メニ之ヲ爲スモノ

ナルカ故ニ其要求アルニ非サレハ之ヲ爲スヘカラサルノミナラス債權者カ其要求ヲ取消シタルトキハ之ヲ爲スヘカラサルニ至ルモノトス
 強制執行ヲ爲スニ當リテハ迅速且ツ完全ニ債權者ヲシテ請求ノ辨濟ヲ得セシムルト同時ニ債務者又ハ第三者ノ權利ヲ侵害セサルコトヲ努メサルヘカラス然レトモ強制執行ニ依リ債權者ヲシテ迅速且ツ完全ニ請求ノ辨濟ヲ得セシムルノ必要極メテ大ナルカ故ニ現行法ニ於テハ強制執行ノ條件ノ存在スル限リハ債務者又ハ第三者カ執行機關ニ對シテ異議ヲ述フルモ直ニ強制執行ヲ停止シ若クハ制限シ又ハ既ニ爲シタル執行處分ヲ取消スコトヲ要セス唯其異議ニ基キテ強制執行ヲ許ササルコトヲ宣言スル裁判ノ提出アリタルトキ又ハ異議ノ理由タル或證書ノ提出アリタルトキニ限り之ヲ停止シ若クハ制限シ又ハ既ニ爲シタル執行處分ヲ取消スコトヲ要スルモノト定メタリ(五五〇・五五一)故ニ現行法ハ或程度ニ於テ強制執行ニ依リ債務者又ハ第三者ノ權利ヲ侵害スルコトヲ願ミサルモノト謂フヘシ

強制執行カ實際其目的ヲ達スルコト能ハサル場合尠カラス例ヘハ債務者カ金

錢ノ請求ノ辨濟ニ充ツヘキ財産ヲ有セス又ハ債權者ニ引渡スヘキ物ヲ所持セサル場合ノ如シ斯ル場合ニ於テハ債權者ハ強制執行ノ目的ヲ達スルコトヲ得ヘキ事情ノ生スルヲ待テ更ニ強制執行ヲ求ムルカ又ハ債務者ニ對シテ損害賠償ヲ請求スルヨリ外ナシ又法律ニ於テ或請求ノ爲メニ強制執行ヲ爲ス手續ヲ設ケサルトキハ債權者ハ其請求ノ辨濟ヲ爲ササル債務者ニ對シテ損害賠償ヲ請求スルヨリ外ナシト謂フヘシ

強制執行ハ法律ニ定メタル手續ニ從ヒテ之ヲ爲スヘキモノトス強制執行ヲ爲スコトヲ目的トスル手續ハ即チ強制執行手續ナリ

強制執行手續ハ民事訴訟ノ一種トス蓋シ強制執行手續タルヤ債權者ニ其請求ノ辨濟ヲ得セシメンカ爲メ債務者ニ對シテ強制執行ヲ爲スコトヲ目的トスル手續ニ外ナラサルヲ以テナリ此ノ如ク強制執行手續ハ固有ノ目的ヲ有スル訴訟手續タルノミナラス其ノ目的トスル強制執行ハ判決ニ基キテノミ之ヲ爲スモノニ非サルカ故ニ強制執行手續ハ判決手續ニ對シ獨立ノ存在ヲ有スルモノニシテ其續行ニ非サルヲ知ルヘシ

強制執行手續ハ強制執行ヲ爲スコトヲ目的トスル手續ニシテ判決ヲ爲スコトヲ目的トスル手續ニ非サルカ故ニ當事者カ強制執行手續ニ於テ生シタル争ニ關シテ判決ヲ得ントセハ新ニ訴ヲ提起シ以テ判決手續ヲ開始セサルヘカラサルナリ(五四五、五四六、五四九)

強制執行手續ハ廣義ニ於テハ強制執行ノ準備ニ關スル手續ヲ包含スルモノトス就中執行文ノ付與ニ關スル手續ハ廣義ノ強制執行手續ニ屬スルモノナリ凡ソ或行爲ノ準備ニ關スル手續ハ廣義ニ於テ其行爲ヲ爲スコトヲ目的トスル手續ニ屬スルモノト謂フヲ妨ケス而シテ執行機關以外ノ機關カ強制執行ノ準備トシテ強制執行ノ實質的條件タル執行權ノ存在ニ必要ナル或條件ノ存否ヲ調査シ以テ其條件ノ存在ヲ證明スヘキ場合ニ於テハ其證明ハ所謂執行文ヲ以テ之ヲ爲スモノトス是レ執行文付與ノ手續ハ強制執行ヲ實施スル手續ニ非サルノミナラス形式上之ト分離スルニ拘ラス強制執行手續ニ屬スルモノト謂フ所以ナリ爾後強制執行手續ト謂ハハ狹義ノ強制執行手續ヲ指スコトアリ又ハ廣義ノ強制執行手續ヲ指スコトアリト知ルヘシ

第二章 強制執行ノ手段

九七二

強制執行ノ手段トハ強制執行ノ目的ヲ達スヘキ強制方法ヲ謂フ故ニ強制執行ノ手段ハ一ノ強制處分ニ外ナラス現行法ニ所謂執行處分及ヒ執行行爲ハ強制執行又ハ其他ノ執行ノ手段タル強制處分ヲ指スモノナリ(五〇〇、五三七、五三九乃至五四四、五四七、五四九乃至五五一)

強制執行ノ手段ハ強制執行ニ依リテ辨濟セラルヘキ請求ノ内容及ヒ強制執行ノ目的物ノ如何ニ依リテ自ラ異ラサルヲ得ス蓋シ強制執行ノ目的ヲ達スルニハ強制執行ニ依リテ辨濟セラルヘキ請求ノ内容及ヒ強制執行ノ目的物ニ適應スヘキ手段ヲ擇ハサルヘカラサルヲ以テナリ

強制執行ノ手段ハ種々ノ標準ニ依リテ左ノ如ク之ヲ區別スルコトヲ得ヘシ
(一)直接強制及ヒ間接強制

直接強制トハ債務者ノ行爲ヲ待タスシテ債權者ニ請求ノ辨濟ヲ得セシムルカ爲メニ爲ス強制方法ヲ謂フ例ヘハ執達吏カ金錢ノ請求ヲ有スル債權者ヲ

シテ其請求ノ辨濟ヲ得セシムルカ爲メ債務者ノ有體動産ヲ差押ヘテ之ヲ競賣スルカ如キ又ハ執行裁判所カ金錢ノ請求ヲ有スル債權者ヲシテ其請求ノ辨濟ヲ得セシムルカ爲メ債務者ニ屬スル金錢ノ債權ヲ差押ヘテ其債權ノ取立若クハ轉付ヲ命スルカ如キ是ナリ(五六六、五七二、五九四、五九五、五九七、五九八、六〇〇)

間接強制トハ債務者ヲシテ自ラ請求ノ辨濟ヲ爲サシムルカ爲メニ其意思ヲ強制スル方法ヲ謂フ例ヘハ第一審ノ受訴裁判所カ一定ノ期間ヲ定メ債務者カ其期間内ニ請求ノ辨濟ヲ爲サ、ルトキハ遅延ノ時間ニ應シテ一定ノ賠償ヲ爲スヘキコトヲ命スルカ如キ是ナリ(七三四)債務者カ請求ノ辨濟ヲ爲スニ至ルマテ之ヲ拘禁スルカ如キハ亦一ノ間接強制ナリト知ルヘシ間接強制ハ必シモ債權者ニ請求ノ辨濟ヲ得セシムルコトヲ期スヘカラス而シテ間接強制トシテ債務者ノ意思ヲ強制スルカ爲メニ之ヲ拘禁スルハ其利益ヲ害スルコト極メテ大ナルカ故ニ現行法ニ於テハ或特別ノ場合ノミニ限り間接強制ヲ認メタルノミナラス強制執行ノ爲メ債務者ヲ拘禁スルコトヲ許サ、ルナ

直接強制ニ依ル強制執行ハ之ヲ直接執行ト名ケ間接強制ニ依ル強制執行ハ之ヲ間接執行ト名ク

(二)裁判所ノ處分及ヒ執達吏ノ處分

強制執行ヲ爲ス國家機關ハ裁判所及ヒ執達吏ナルカ故ニ強制執行ノ手段タル強制處分ハ裁判所ノ處分及ヒ執達吏ノ處分ニ區別セラル、モノトス
強制執行ノ手段タル裁判所ノ處分ハ裁判所ノ意思表示タル裁判ヲ以テ之ヲ爲スモノトス故ニ此處分ハ一ノ裁判ニ外ナラスト謂フヘシ例ヘハ執行裁判所カ債權ニ對スル強制執行ヲ爲スニ當リ差押命令ヲ發シ且ツ取立命令又ハ轉付命令ヲ發スルカ如キ是ナリ又強制執行ノ手段タル執達吏ノ處分ハ法律行爲又ハ其他ノ行爲ナリ例ヘハ執達吏カ差押物ノ換價ヲ爲スハ法律行爲ナリト雖モ有體動産差押ノ方法トシテ其占有ヲ爲スハ法律行爲ニ非サルカ如シ

第三章 強制執行ノ目的物

強制執行ノ目的物トハ強制執行ノ手段タル強制處分ノ目的物ト爲ルコトヲ得ヘキモノヲ謂フ強制執行ノ目的物ハ人物及ヒ財産權ナリ

強制執行ノ目的物タル人ハ債務者又ハ第三者ナリ債務者カ強制執行ノ目的物タルハ間接執行ノ場合ニ於テ之ヲ見ルモノトス又第三者カ強制執行ノ目的物タルハ親權者又ハ後見人ノ監護ヲ受クル者ノ引渡ヲ目的トスル請求ノ爲メニスル強制執行ノ場合ニ於テ之ヲ見ルモノナリ

強制執行ノ目的物タル物ハ債務者ノ所有ニ屬スル物タルコトアリ又ハ其所有ニ屬セサル物タルコトアリ例ヘハ金錢ノ請求ノ爲メニスル強制執行ノ目的物タル物ハ債務者ノ所有ニ屬スル物ナリト雖モ物ノ引渡ヲ求ムル請求ノ爲メニスル強制執行ノ目的物タル物ハ必シモ債務者ノ所有物ニ非サルカ如シ之ニ反シテ強制執行ノ目的物タル財産權ハ債務者ニ屬スル財産權ナラサルヘカラサルナリ

債務者ヲ目的物トスル強制執行ハ之ヲ名ケテ對人執行ト稱シ債務者ニ屬スル物又ハ財產權ヲ目的物トスル強制執行ハ之ヲ名ケテ對物執行ト稱ス強制執行ハ沿革上對人執行ヨリ對物執行ニ變遷シタルモノトス羅馬ノ古法ニ於テハ債權者ニ其請求ノ辨濟ヲ得セシムルカ爲メ之ヲシテ國家機關ノ監督ノ下ニ債務者ノ一身ヲ處分スルコトヲ得セシメタリ然ルニ文化ノ進歩ニ伴フテ斯ル制度ハ其跡ヲ絶チ近世ノ立法例ニ於テハ對人執行ノ手段トシテ債務者ノ意思ヲ強制スルコトノミヲ認メタリ故ニ近世ノ立法例ニ於ケル對人執行ハ間接執行ノ場合ニ於テノミ之ヲ見ルモノトス而シテ現行法ニ於ケル對人執行ハ間接執行ニ依リ債務者ノ意思ヲ強制スル場合ニ限ルコト既ニ述ヘタルカ如シ債務者ノ財產ニ對スル強制執行ハ沿革上一般執行ヨリ特別執行ニ變遷シタルモノトス一般執行トハ債務者ノ全財產ニ對スル強制執行ヲ謂ヒ特別執行トハ債務者ノ箇々ノ財產ニ對スル強制執行ヲ謂フ現行法ニ於ケル一般執行ハ特別訴訟手續タル破産手續ニ於テノミ之ヲ見ルモノトス

強制執行ノ目的物ハ強制執行ノ手段タル強制處分ノ目的物ト爲ルコトヲ得ヘ

キモノ、謂ナルコト前述ノ如シト雖モ現ニ斯ル強制處分ノ目的物ト爲リタルモノ即チ強制執行ノ目的物ト爲リタルモノハ亦之ヲ名ケテ強制執行ノ目的物ト稱スルコトヲ得ヘシ第五百四十九條ニ所謂強制執行ノ目的物ハ此意義ニ於ケル強制執行ノ目的物ニ外ナラサルナリ

第四章 強制執行ノ種類

強制執行ノ手段ハ強制執行ニ依リテ辨濟セラルヘキ請求ノ内容及ヒ強制執行ノ目的物ノ如何ニ依リテ差異アルカ故ニ強制執行ニハ其種類ナキ能ハサルナリ今現行法カ其規定ノ基礎ト爲シタル強制執行ノ種類ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 金錢ノ請求ノ爲メニスル強制執行

此強制執行ハ其目的物ノ如何ニ依リテ左ノ如ク區別セラル

(イ) 動産ニ對スル強制執行

此強制執行ハ更ニ有體動産ニ對スル強制執行及ヒ債權其他ノ財產權ニ對スル強制執行ニ區別セラル

(ロ)不動産ニ對スル強制執行

此強制執行ハ更ニ強制競賣及ヒ強制管理ニ區別セラル

(ハ)船舶ニ對スル強制執行

右ニ述ヘタルカ如ク金錢ノ請求ノ爲メニスル強制執行ニハ種々アルカ故ニ債權者ハ其中ニ就キ選擇ヲ爲スコトヲ得ヘク且ツ金錢ノ請求ノ爲メ同時若クハ順次ニ種類ノ異ル數箇ノ強制執行ヲ求ムルコトヲ得ヘシ

(ニ)金錢ノ支拂ヲ目的トセサル請求ノ爲メニスル強制執行

此強制執行ハ請求ノ内容ニ依リテ左ノ如ク區別セララル

(イ)物ノ引渡ヲ目的トスル請求ノ爲メニスル強制執行

(ロ)或行爲ヲ目的トスル請求ノ爲メニスル強制執行

第五章 強制執行ノ當事者及ヒ利害

關係人

強制執行ヲ求ムル者ハ所謂債權者ニシテ強制執行ヲ受クヘキ者ハ所謂債務者

ナリ債權者及ヒ債務者ハ共ニ強制執行ノ當事者トス強制執行手續ハ民事訴訟ノ一種ナルカ故ニ債權者及ヒ債務者ニル^レ非サレハ存在スルコトヲ得サルナリ

強制執行ノ始マリタル後一般承繼ニ依リテ債權者ノ權利ヲ承繼スル者アルトキハ其者ハ從來ノ債權者ニ代ルモノニシテ債權者ニ變更ヲ生スルニ至ルモノトス又強制執行ノ始マリタル後一般承繼ニ依リテ債務者ノ義務ヲ承繼スル者アルトキハ其者ハ債務者ニ代ルモノニシテ債務者ニ變更ヲ生スルニ至ルモノナリ然レトモ債權者ノ一般ノ承繼人ノ爲メニ強制執行ヲ續行スルニハ其一般ノ承繼人ノ爲メニ付與シタル執行力アル正本ノ存在スルコトヲ必要トス之ニ反シテ債務者ノ遺産又ハ債務者カ戸主權ヲ喪失セル際ニ有セシ其財産ニ對シテ強制執行ヲ續行スルニハ其一般ノ承繼人ニ對シテ付與シタル執行力アル正本ノ存在スルコトヲ必要トセサルナリ尙ホ後ノ説明ヲ參照スヘシ(五一。九五。五五。五三)

債權者又ハ債務者トシテ強制執行ノ當事者ト爲ルコトヲ得ル者ハ權利能力ヲ

有スル者ナラサルヘカラス蓋シ民事訴訟ノ當事者ト爲ルコトヲ得ル能力ハ權利能力ニ伴フモノニシテ強制執行手續ハ民事訴訟ノ一種ニ外ナラサルヲ以テナリ

債權者又ハ債務者カ強制執行手續ニ於テ訴訟行爲ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ訴訟能力ヲ有スルカ又ハ法律上代理人ニ依リテ代表セラル、コトヲ必要トス強制執行手續ニ於テ債權者又ハ債務者ニ對シ送達其他ノ通知ヲ爲スヘキ場合ニ於テモ亦然リ

債權者又ハ債務者ハ強制執行手續ニ於テ訴訟代理人ニ依リ代理セラル、コトヲ得ヘシ而シテ債權者又ハ債務者カ或訴訟即チ或判決手續ニ付キ訴訟代理人ニ與ヘタル訴訟代理權ハ其訴訟ト牽連スル強制執行手續ニ及フモノトス〔六五〕債權者ハ執行ヲ爲スヘキ地ヲ管轄スル區裁判所ノ所在地ニ住居又ハ事務所ヲ有セサルトキハ其所在地ニ假住所ヲ選定シテ之ヲ其區裁判所ニ届出ツヘキモノトス是レ債權者ニ對スル送達其他ノ通知ヲ容易ナラシムル主意ニ出テタルモノトス〔五二七〕茲ニ所謂債權者トハ差押債權者ノ外執行力アル正本ニ依リテ

配當要求ヲ爲ス債權者ヲモ指スモノナリ〔五九〇、六一〇、一六四六〕

債權者及ヒ債務者ハ強制執行ノ當事者トシテ強制執行ニ付キ利害關係ヲ有スルモノトス加之ナラス強制執行カ直接ニ第三者ノ利害ニ影響ヲ及ホス場合ニ於テハ第三者モ亦強制執行ノ利害關係人ナリト謂フヘシ例ヘハ金錢ノ請求ノ爲メニスル強制執行ニ依リ債務者ノ財産ヲ差押ヘタル場合ニ於テハ執行力アル正本ニ依リ配當ヲ要求スル第三者又ハ強制執行ノ目的物ニ付キ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ有スルコトヲ主張スル第三者ハ強制執行ノ利害關係人ナルカ如シ然レトモ法律カ不動産ニ對スル強制執行ニ關シテ特ニ利害關係人ト認めタル者ハ第六百四十四條ニ掲ケタル者トス

第六章 執行機關

第一節 執達吏

強制執行ハ民事訴訟法ニ別段ノ規定ナキトキニ限り執達吏之ヲ實施スルモノトス〔五三一〕今執達吏ノ權限ニ屬スル強制執行ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 金錢ノ請求ノ爲メ有體動産ニ對シテ爲ス強制執行(五六六以下)

(二) 特定ノ有體動産又ハ代替物ノ一定ノ數量ノ引渡ヲ目的トスル請求ノ爲メニスル強制執行(七三〇)並ニ不動産又ハ人ノ住居スル船舶ノ引渡又ハ明渡ヲ目的トスル請求ノ爲メニスル強制執行(七三一)

以上述ヘタル強制執行ハ執達吏ノ權限ニ屬スルモノナリト雖モ物カ第三者ノ手中ニ存スル場合ニ於テハ其權限ニ屬セサルモノトス(五六七、七三二)但シ此場合ニ於テモ第三者カ物ノ提出ヲ拒マサルトキハ執達吏ハ強制執行ヲ爲ス權限ヲ有スルモノナリ尙ホ後ノ説明ヲ參照スヘシ

執達吏ハ裁判所ノ權限ニ屬スル強制執行ニ干與スルコトアリ例ヘハ第六百三條ノ場合ニ於ケルカ如シ

執達吏ハ國家機關タルト同時ニ強制執行ニ關シテ債權者ノ受任者タル性質ヲ有スルモノトス故ニ執達吏及ヒ債權者間ノ關係ハ委任ニ關スル民法ノ規定ニ依リテ定マルモノナリ(民六五六)從テ執達吏ハ執行名義ノ趣旨又ハ法律ノ規定ニ反セサル限リハ債權者ノ委任ノ趣旨ニ從ヒテ強制執行ヲ爲スヘキモノトス

執達吏ハ強制執行ニ關シテ裁判所ノ指揮ヲ受クルモノニ非ス然レトモ執行裁判所ハ執達吏ノ爲ス強制執行ノ方法又ハ強制執行ニ際シ執達吏ノ遵守スヘキ手續ニ關スル申立又ハ異議ニ付キ第五百四十四條ノ規定ニ從ヒテ裁判ヲ爲スコトヲ得ヘシ

執達吏ハ債權者ノ委任ニ依リテ強制執行ヲ爲スヘキモノトス債權者カ執達吏ニ強制執行ノ委任ヲ爲スカ爲メニハ區裁判所書記ノ補助ヲ求ムルコトヲ得ヘシ區裁判所書記カ債權者ノ求ニ依リテ委任シタル執達吏ハ債權者ノ委任シタルモノト看做サル、モノナリ(五三一)

執達吏ニ對スル強制執行ノ委任ハ一定ノ方式ニ依ルコトヲ要セス故ニ口頭又ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ルノミナラス默示ノ意思表示ニ依リテモ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ債權者カ強制執行ノ委任ヲ爲スモ執行力アル正本ヲ交付セサルトキハ執達吏ハ強制執行ヲ爲スコトヲ得サルモノトス蓋シ強制執行ハ執行力アル正本ニ基キテ之ヲ爲スヘキモノナルヲ以テナリ(五一六)

執達吏ハ法律ノ規定ニ依リテ職務ノ執行ヨリ除外セラレタルトキ又ハ債權者

カ手數料及ヒ立替金ノ概算額ヲ豫納セサルトキ又ハ強制執行ヲ始ムルコトヲ得サルトキ又ハ強制執行ノ障礙アルトキニ非サレハ強制執行ノ委任ヲ受クルコトヲ拒ムヲ得サルナリ(九七)執達吏規則八。執達吏手數料規則一九。

債權者カ執行力アル正本ヲ執達吏ニ交付シテ之ニ強制執行ノ委任ヲ爲シタルトキハ執達吏ハ特別ノ委任ナキトキト雖モ支拂其他ノ給付ヲ受取リ其ノ受取リタルモノニ付キ有效ニ受取證ヲ作リテ之ヲ交付シ且ツ債務者カ完全ニ其義務ヲ履行シタルトキハ執行力アル正本ヲ債務者ニ交付スル權限ヲ債權者ニ對スル關係ニ於テ有スルモノトス(五三三)然レトモ債權者ハ執達吏ニ對スル關係ニ於テ此代理權ノ範圍ヲ制限スルコトヲ得ヘシ(五三四、一)

執達吏カ執行力アル正本ヲ所持スルトキハ債務者又ハ第三者ニ對スル關係ニ於テ強制執行及ヒ第五百三十三條ニ掲ケタル前述ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ル權限ヲ有スルモノトス故ニ執達吏カ外部ニ對スル關係ニ於テ此等ノ行爲ヲ爲スニハ執行力アル正本ヲ所持スルヲ以テ足レリト謂フヘク實際債權者ヨリ強制執行ノ委任ヲ受ケタルト否トヲ問ハサルモノト謂フヘシ從テ執達吏カ執行力

アル正本ヲ所持スル限リハ債權者ハ債務者又ハ第三者ニ對シテ委任ノ欠缺ヲ主張シ又ハ其制限ヲ主張スルコトヲ得サルナリ(五三四、一)果シテ然ラハ債權者ハ債務者又ハ第三者ニ對スル關係ニ於テハ執達吏カ執行力アル正本ヲ所持スルニ依リテ有スル代理權ノ法律上ノ範圍ヲ制限スルコトヲ得サルモノト謂フヘシ之ニ反シテ債務者又ハ第三者カ強制執行ノ違法ナルコトヲ明ニスルカ爲メニハ委任ノ欠缺又ハ制限ヲ主張スルコトヲ得ヘシ蓋シ第五百三十四條第一項末段ノ規定ハ債務者又ハ第三者ヲ保護スルカ爲メニノミ存スルモノナルヲ以テナリ

執行力アル正本ヲ所持スル執達吏ハ債務者又ハ第三者ニ對スル關係ニ於テハ第五百三十三條ニ掲ケタル前述ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ヘキカ故ニ債務者ハ斯ル執達吏ニ對シテ辨濟ヲ爲シ以テ強制執行ヲ避クルコトヲ得ヘク又第三者ハ債務者ノ爲メ之ニ對シテ辨濟ヲ爲シ債務者ヲシテ強制執行ヲ免レシムルコトヲ得ヘシ

執達吏ハ執行力アル正本ヲ所持スルニ依リテ強制執行及ヒ第五百三十三條ニ

掲ケタル前述ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ルノミナラス之ニ依リテ其資格ヲ證スル
 ヲトヲ得ヘキモノナルカ故ニ執行力アル正本ヲ携帶シ關係人ノ求アルトキハ
 之ヲ示スヘキモノトス(五三四、二)

執達吏ノ代理權ハ債權者カ強制執行ノ委任ヲ取消シタルトキハ消滅ニ歸スル
 モノトス然レトモ債權者カ強制執行ノ委任ヲ取消スモ執達吏カ尙ホ執行力ア
 ル正本ヲ所持スルトキハ既ニ述ヘタル所ニ依リ債權者ハ債務者又ハ第三者ニ
 對シテ委任ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得サルナリ(五三四、一)

執達吏ハ債務者カ其義務ヲ完全ニ履行シタルトキハ執行力アル正本及ヒ受取
 證ヲ之ニ交付シ又債務者カ其義務ノ一部ヲ履行シタルトキハ執行力アル正本
 ニ其旨ヲ附記シ且ツ受取證ヲ之ニ交付スヘキモノトス而シテ債務者カ強制執
 行ニ依リテ其義務ヲ履行シタルト強制執行ヲ受クルニ先チテ任意ニ之ヲ履行
 シタルトヲ問ハサルナリ又第三者カ債務者ノ爲メニ辨濟ノ提供ヲ爲シ執達吏
 カ辨濟ヲ受領シタル場合ニ於テモ此規定ニ從フヘキモノト謂フヘシ債務者又
 ハ第三者ハ執達吏ヨリ受取證ノ交付ヲ受クルモ民法ノ規定ニ從ヒ尙ホ債權者

ニ對シテ受取證ノ交付ヲ求ムルコトヲ得ルモノナリ(五三五、民四八六)

執達吏カ債權者ノ委任ニ基キテ爲ス行爲又ハ職務上ノ義務ノ違背ニ依リテ債
 權者其他ノ關係人ニ損害ヲ生セシメタルトキハ第一ニ其責ニ任スヘキモノト
 ス(五三二)故ニ此場合ニ於テハ他ニ損害賠償ノ責ニ任スヘキ者アルトキト雖モ
 先ツ執達吏ハ損害賠償ヲ爲スコトヲ要スルモノニシテ其責ニ任スヘキ他ノ者
 ハ執達吏カ損害賠償ヲ爲スコト能ハサルトキニ限り實際之ヲ爲スコトヲ要ス
 ルモノト謂フヘシ

執達吏ノ執行行爲ニ關スル一般ノ規定ハ左ノ加シ

(一)執達吏ハ執行ノ爲メ必要ナル場合ニ於テハ債務者ノ住居、倉庫及ヒ筐匣ヲ
 搜索シ又ハ閉鎖シタル戸扉及ヒ筐匣ヲ開カシムルコトヲ得ヘシ(五三六、一)債
 務者ノ住居ニ附屬スル場所及ヒ債務者ノ事務所ハ之ヲ其住居ト同一視スヘ
 キモノト謂ハサルヘカラス又筐匣ハ物ヲ藏スル器具ヲ指スモノナリト雖モ
 物ヲ藏スルノ用ニ供セラル、衣服ノ部分ハ之ヲ筐匣ト同一視スヘキモノト
 謂ハサルヘカラサルナリ執達吏ハ閉鎖シタル戸扉及ヒ筐匣ヲ何人ヲシテ開

カシムルモ妨ナシト知ルヘシ

九八八

(二)執達吏ハ抵抗ヲ受クル場合ニ於テハ威力ヲ用キ且ツ警察上ノ援助ヲ求めルコトヲ得ヘシ而シテ兵力ヲ要スルトキハ執行裁判所ニ其旨ヲ申立ツヘキモノトス(五三六三)

(三)執達吏ハ執行行爲ヲ爲スニ際シ抵抗ヲ受クルトキ又ハ債務者ノ住居ニ於テ執行行爲ヲ爲スニ際シ債務者又ハ成長シタル其家族若クハ雇人ニ出會ハサルトキハ成年者二人又ハ市町村若クハ警察ノ吏員一人ヲ證人トシテ立會ハシムヘキモノトス(五三七)茲ニ所謂債務者ノ家族トハ債務者ノ戸主權ニ服従スル者ノ謂ニ非スシテ債務者ト家ヲ同ウスル者ノ謂ニ外ナラス蓋シ強制執行ハ戸主ニ對シテノミ之ヲ爲スモノニ非サルヲ以テナリ

(四)執達吏ハ夜間及ヒ日曜日並ニ一般ノ祝祭日ニハ執行裁判所ノ許可アルトキニ限り執行行爲ヲ爲スコトヲ得ヘシ此許可ノ命令ハ強制執行ノ際關係人ニ之ヲ示スヘキモノトス(五三九)夜間ノ何タルヤハ第五百五十條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ定ムヘキモノト知ルヘシ

執行裁判所ハ自由ノ判斷ニ依リテ右ニ述ヘタル許可ヲ與フヘキヤ否ヤヲ決スルコトヲ得ヘシ執行裁判所カ此許可ヲ與フルハ通常遲滯ノ爲メ危害ヲ生スル恐アル場合ナルヘシト雖モ獨リ此場合ニ限ルモノニ非サルナリ

執行裁判所ノ許可ナクシテ夜間又ハ日曜日若クハ一般ノ祝祭日ニ爲シタル強制執行ハ違法ナリ故ニ債務者ハ第五百四十四條ノ規定ニ從ヒテ執行裁判所ニ異議ヲ提出スルコトヲ得ヘシ而シテ債務者カ異議ヲ提出シタルトキハ執行裁判所ハ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ヲ命スヘキモノトス然レトモ執達吏カ執行裁判所ノ許可ナクシテ夜間又ハ日曜日若クハ一般ノ祝祭日ニ於テ強制執行ヲ爲スニ當リ債務者カ之ヲ承認シタルトキハ斯ル強制執行ト雖モ違法ニ非ス蓋シ前述ノ規定ハ債務者ノ利益ヲ維持スルカ爲メニノミ存スルモノナルカ故ニ債務者ノ意思ニ依リテ其適用ヲ避クルコトヲ得ルモノト謂ハサルヘカラサルヲ以テナリ

(五)執達吏ハ各執行行爲ニ付キ調書ヲ作ルヘキモノトス(五四〇)茲ニ所謂執達吏ノ執行行爲トハ強制執行ノ手段タル執達吏ノ行爲(例ヘハ差押又ハ競賣)

ノミヲ指スモノニ非スシテ執達吏カ強制執行ノ爲メニ爲ス其他ノ行爲ヲモ指スモノトス執達吏ノ調書ニハ左ノ事項ヲ掲クルコトヲ要スルモノナリ(五四〇二)

(イ)調書ヲ作りタル場所年月日

(ロ)執行行爲ノ目的物及ヒ其重要ナル情況

茲ニ所謂執行行爲ノ目的物トハ強制執行ノ手段タル行爲ノ目的物ト爲リタルモノノミヲ指スモノニ非スシテ債權者ノ請求及ヒ執行名義ヲモ指スモノトス又如何ナル場合ニ於テ執行行爲ヲ爲シタルコト及ヒ差押物ヲ債務者ノ保管ニ任カセタルコト及ヒ如何ナル方法ヲ以テ差押ヲ明白ニ爲シタルコト及ヒ執達吏カ抵抗ヲ受ケタルコト及ヒ第五百四十一條ニ規定スル催告又ハ通知ヲ爲シタルコト等ハ執行行爲ノ重要ナル情況ナリ

(ハ)執行ニ與カリタル各人ノ表示

執行ニ與カリタル人トハ執行行爲ニ立會ヒタル債權者、債務者及ヒ第五百三十一條ノ規定ニ從ヒテ強制執行ニ立會ヒタル證人並ニ強制執行ニ際シ

差押フヘキ物ヲ提出シタル第三者等ヲ指スモノトス

(ニ)執行ニ與カリタル各人ノ署名捺印

此要件ヲ調書ニ掲クルコト能ハサルトキハ其理由ヲ之ニ記載スヘキモノトス

(ホ)調書ヲ執行ニ與カリタル各人ニ讀聞セ又ハ閱覽セシメ其ノ承諾シタル

後署名捺印ヲ爲シタルコト

此要件ヲ調書ニ掲クルコト能ハサルトキハ其理由ヲ之ニ記載スヘキモノトス

(ヘ)執達吏ノ署名捺印

執達吏カ各執行行爲ニ付キ作りタル調書ハ公正證書ニシテ執行行爲ニ關スル事項ヲ證明スルノ方法ト爲ルモノトス而シテ其調書カ法律ニ掲ケタル事項ヲ完全ニ具備セサルモ直ニ其證據力ヲ否認スヘキモノニ非ス唯之ニ掲ケサル事項ニ關シテ公正證書ノ存在セサルモノト認ムヘキノミ
執達吏カ各執行行爲ニ付キ調書ヲ作成スルハ之ヲ明確ナラシムルカ爲メニ

外ナラスシテ強制執行ノ方式ニ非サルナリ然レトモ執達吏カ第五百八十六條ノ規定ニ從ヒテ照査調書ヲ作ルハ配當要求ノ效力ヲ生スルカ爲メニ缺クヘカラサルモノトス(五八七)

執達吏カ執行行爲ニ付キ作りタル調書ハ其記録ヲ構成スルモノトス

執達吏ハ強制執行ニ付キ利害關係ヲ有スル各人ノ求ニ依リ之ニ其記録ノ閱覽ヲ許シ且ツ其記録中ニ存スル書類ノ謄本ヲ付與スルコトヲ要スルモノトス(五三八)

執達吏カ執行行爲ヲ爲スニ當リテハ債權者又ハ債務者ハ之ニ立會フコトヲ得ヘシ蓋シ債權者及ヒ債務者ハ執達吏ノ執行行爲ニ付キ利害關係ヲ有スルノミナラス債權者ハ執行行爲ニ際シテ執達吏ニ指圖ヲ爲スノ必要アルヲ以テナリ第五百三十七條ハ債務者カ執行行爲ニ立會フコトヲ得ルヲ前提トスルモノト知ルヘシ

第二節 裁判所

執行機關タル裁判所ハ執行裁判所及ヒ第一審ノ受訴裁判所ナリ

民事訴訟法ニ於テ裁判所ニ任カセタル執行行爲ノ命又ハ其行爲ノ共力ハ執行裁判所トシテ區裁判所ノ管轄ニ屬スルモノナリ即チ民事訴訟法ノ規定ニ依リ裁判所カ執行行爲ノ命又ハ其行爲ノ共力ヲ爲ス權限ヲ有スル場合ニ於テハ區裁判所ハ管轄裁判所トシテ此等ノ行爲ヲ爲スヘキモノニシテ區裁判所カ此等ノ行爲ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ所謂執行裁判所ナリト謂フヘシ(五四三、一)然レトモ民事訴訟法ニ於テ裁判所ニ任カセタル執行行爲ノ命又ハ其行爲ノ共力ハ毎ニ執行裁判所ノ管轄ニ屬スルモノト謂フヘカラス後ニ説明スルカ如ク例外トシテ第一審ノ受訴裁判所ノ管轄ニ屬スルコトナキニ非サルナリ所謂執行行爲ノ命トハ執行處分タル裁判ヲ爲スコトヲ指シ所謂執行行爲ノ共力トハ執行處分ニ協力スルコトヲ指スモノトス

區裁判所カ執行裁判所トシテ執行行爲ノ命ヲ爲スヘキ場合ハ第五百九十四條第五百九十七條第六百條第六百十四條第六百十五條第六百四十一條第七百十八條及ヒ第七百三十二條等ノ規定スル所ニシテ區裁判所カ執行裁判所トシテ

執行行為ノ共カヲ爲スヘキ場合ハ第五百三十九條第五百四十四條第五百五十二條第五百五十三條第六百二十六條乃至第六百三十九條及ヒ第七百五十條第四項等ノ規定スル所ナリ

右ニ述ヘタル所ニ依レハ左ニ掲クル強制執行ハ執行裁判所タル區裁判所之ヲ爲スヘキモノト謂フヘシ

(一)金銭ノ請求ノ爲メ債權其他ノ財産權ニ對シテ爲ス強制執行

(二)金銭ノ請求ノ爲メ不動産又ハ船舶ニ對シテ爲ス強制執行

(三)第七百三十二條ノ場合ニ於ケル強制執行

法律ニ於テ別段ニ執行裁判所ヲ指定セザルトキハ強制執行ヲ爲スヘキ地又ハ之ヲ爲シタル地ヲ管轄スル區裁判所ヲ以テ執行裁判所ト認ムヘキモノトス(五四三、二)故ニ法律ニ別段ノ規定ナキ限りハ斯ル區裁判所ハ執行裁判所トシテ土地ノ管轄權ヲ有スルモノト謂フヘシ而シテ強制執行ヲ爲シタル地ヲ管轄スル區裁判所カ執行裁判所トシテ土地ノ管轄權ヲ有スルハ既ニ爲シタル其執行行為又ハ既ニ執達吏ノ爲シタル執行行為ト關係ヲ有スル裁判ヲ爲スヘキ場合(例

ヘハ第五百四十四條ノ場合ニ於テ之ヲ見ルモノトス

強制執行ヲ爲スヘキ地又ハ之ヲ爲シタル地ヲ管轄スル區裁判所カ執行裁判所トシテ土地ノ管轄權ヲ有スル場合ニ於テハ同一ノ強制執行手續ニ屬スル各箇ノ執行行為ニ關シテ各異ル執行裁判所ノ存在スルコトナキニ非ス例ヘハ有體動産ノ差押ヲ爲シタル場合ニ於テ差押債權者及ヒ債務者カ差押地ニ非サル或地ニ於テ競賣ヲ爲スコトヲ合意シタルカ爲メニ此地ニ於テ競賣ヲ爲ストキハ差押地ノ區裁判所ハ既ニ爲シタル差押ニ關シテ執行裁判所ナリト雖モ競賣地ノ區裁判所ハ差押物ノ競賣ニ關シテ執行裁判所タルカ如シ(五七六)然レトモ執行裁判所トシテ債權ノ差押ヲ爲シタル區裁判所ハ其差押後ニ債務者ノ普通裁判籍ノ所在地ニ變更ヲ生スルモ爾後ノ執行行為ニ付キ執行裁判所トシテ依然管轄權ヲ有スルモノトス蓋シ債權ニ對スル強制執行ハ差押ニ依リ始マルモノニシテ強制執行ノ開始ニ際シ管轄權ヲ有セシ裁判所ハ第九十五條第二項第二號ノ規定ノ準用ニ依リ管轄ノ基礎タル事情ニ變更ヲ生スルモ其管轄權ヲ失フコトナキヲ以テナリ例ヘハ東京區裁判所カ債務者ノ普通裁判籍所在地ノ區

裁判所ナルカ爲メ執行裁判所トシテ金錢ノ債權ノ差押ヲ爲シタル後債務者カ其住所ヲ大阪ニ移轉シタルカ爲メニ其普通裁判籍ノ所在地ニ變更ヲ生スルモ東京區裁判所ハ執行裁判所トシテ差押ニ係ル金錢ノ債權ノ取立又ハ轉付ヲ命スヘキカ如シ(五九四、五九五、五九八、六〇〇)

執行裁判所ハ之ヲ受訴裁判所ト區別セサルヘカラス然レトモ受訴裁判所カ區裁判所タル場合ニ於テハ執行裁判所ト受訴裁判所トカ偶然一致スルコトアルヲ知ルヘシ

執行裁判所ノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(五四三、二)

第一審ノ受訴裁判所ハ或行爲ヲ目的トスル請求ノ爲メニスル強制執行ニ付キ管轄權ヲ有シ且ツ外國官廳ニ對スル強制執行ノ囑託ニ付キ管轄權ヲ有スルモノトス(五五七、三三、七三四)

執行行爲ノ命及ヒ其行爲ノ共力ニ關スル執行裁判所又ハ第一審ノ受訴裁判所ノ管轄ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス蓋シ第五百六十三條ノ規定ハ裁判籍ニ關ス

ルモノナルカ故ニ此規定ニ基キテ執行行爲ノ命及ヒ其行爲ノ共力ニ關スル執行裁判所又ハ第一審ノ受訴裁判所ノ管轄ノ專屬ナルコトヲ認ムルヲ得スト雖モ裁判所ノ管轄ハ別段ノ規定ナキ限りハ之ヲ變更スルコトヲ得サルモノニシテ第二十九條ノ規定ハ獨リ訴ニ關スル裁判所ノ管轄ノミニ付キ其適用ヲ生スヘキモノナルヲ以テナリ

第七章 強制執行ノ條件

第一節 汎論

強制執行ハ私權保護ノ行爲ナルカ故ニ強制執行ヲ爲スニ必要ナル條件ハ強制執行ニ依ル私權保護ノ條件ニ外ナラサルナリ

強制執行ハ債權者カ國家ニ對シテ強制執行ヲ求ムル權利ヲ有スルトキニ限り之ヲ爲スヘキモノトス而シテ強制執行ハ債權者ノ爲メ債務者ニ對シテ之ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ斯ル權利カ債權者ノ利益ノ爲メ債務者ノ不利益ニ於テ存在スルニ非サレハ強制執行ハ實質上許スヘカラサルモノナリ故ニ斯ル權利

カ債権者ノ利益ノ爲メ債務者ノ不利益ニ於テ存在スルハ強制執行ノ實質的條件ナリト謂フヘシ

國家ニ對シテ強制執行ヲ求ムル權利ハ之ヲ名ケテ執行權ト稱ス執行權ハ強制執行ニ依ル私權ノ保護ヲ國家ニ對シテ求ムル權利ニ外ナラサルカ故ニ私權保護ノ請求ノ一種ナリト謂フヘシ而シテ執行權カ債権者ノ利益ノ爲メ債務者ノ不利益ニ於テ存在スルコトハ強制執行ノ實質的條件ナルコト前述ノ説明ニ依リテ明ナル所トス

執行權ハ執行名義ニ基キテ存在スルモノトス所謂執行名義トハ法律カ強制執行其他ノ執行ノ理由ト認メタルモノヲ謂フ故ニ強制執行ノ實質的基礎ヲ爲スモノハ執行名義ニシテ強制執行ハ執行名義アル場合ニ限り之ヲ爲スヘキモノト謂フヘシ而シテ強制執行ハ債権者ヲシテ請求ノ辨濟ヲ得セシムルカ爲メニ之ヲ爲スモノナルカ故ニ請求ノ辨濟ヲ爲サ、ルヘカラサルコトヲ示スモノニ非サレハ強制執行ノ基礎タル執行名義タルコトヲ得サルモノトス而シテ強制執行ノ基礎タル執行名義ハ成ルヘク確實ニシテ且ツ容易ニ認識スルコトヲ得

ヘキモノタルヲ必要トスルカ故ニ現行法ニ於テハ請求ノ辨濟ヲ爲サ、ルヘカラサルコトヲ示ス或種類ノ公正證書ノミヲ以テ強制執行ノ基礎タル執行名義ト爲セリ故ニ現行法ニ於ケル強制執行ノ基礎タル執行名義ハ請求ノ辨濟ヲ爲サ、ルヘカラサルコトヲ示ス公正證書ニシテ法律カ之ニ依リ強制執行ヲ爲スコトヲ得セシムルモノニ外ナラスト謂フヘシ

現行法ハ請求ノ辨濟ヲ爲サ、ルヘカラサルコトヲ示スモノヲ債務名義ト名ケ強制執行ノ基礎タル執行名義タルヘキ債務名義ヲ執行シ得ヘキ債務名義ト名ケタリ(五六〇。六四二)

強制執行ノ基礎タル執行名義ハ或種類ノ判決及ヒ裁判並ニ或種類ノ契約ニ關スル公正證書ナリ契約ニ關スル證書ニシテ執行名義タルモノハ之ヲ名ケテ執行證書ト稱ス(四九七。五五九)執行名義タル判決其他ノ裁判ハ書面ニ作成セラレルモノナルカ故ニ亦一ノ公正證書ナリト知ルヘシ強制執行ノ基礎タル執行名義タルヘキ裁判ハ現行法上執行スルコトヲ得ヘキ裁判即チ執行力アル裁判ト一致スルモノニ非ス蓋シ現行法ニ所謂執行ハ前述ノ如ク必シモ強制執行ノミ

ヲ指スモノニ非サルヲ以テナリ(五五〇、一號)

執行權ハ執行名義ニ基キテ存在スルモノナルカ故ニ其存在ハ執行名義ノ趣旨ニ依リテ定マルモノト謂フヘシ而シテ強制執行ハ私權保護ノ行爲トシテ債權者ニ其請求ノ辨濟ヲ得セシムル必要アル場合ニ限り之ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ執行名義ノ趣旨ニ依レハ請求カ現ニ辨濟セラルヘキモノニ非サルトキハ強制執行ヲ求ムル權利タル執行權ハ未タ發生セサルモノトス從テ執行名義ノ趣旨ニ依レハ請求カ或日時又ハ或事實ノ到來シタル時ニ至リテ辨濟セラルヘキモノナルトキハ執行權ハ其日時又ハ其事實ノ到來ヲ待テ發生スルモノト謂フヘシ(五一八、二五二八、二五二九、一)

以上述ヘタル所ニ依レハ執行權ハ執行名義カ存在シ且ツ其趣旨ニ依レハ請求カ現ニ辨濟セラルヘキモノナルトキニ限り存在スルモノト謂フヘシ而シテ此場合ニ於テハ強制執行ニ依リ當事者ノ一方ノ私權ヲ他ノ一方ニ對シテ保護スルノ必要アリト認ムヘキモノナルカ故ニ執行權ハ他ノ私權保護ノ請求ト同ク畢竟當事者ノ一方ノ私權ヲ他ノ一方ニ對シテ保護スルノ必要アルニ非サレハ

存在セサルモノト謂ハサルヘカラサルナリ

今或執行名義ニ基キテ執行權カ存在スルトキハ其執行名義ニ基キテ強制執行ヲ爲スヲ得ヘキコト前述ノ説明ニ依リテ明ナリト謂フヘシ故ニ此場合ニ於テハ其執行名義ハ執行力ヲ有スルモノト謂ハサルヘカラス果シテ然ラハ執行名義カ執行力ヲ有スル場合ニ限り之ニ基キテ強制執行ヲ爲スヘキモノト謂フヘシ唯執行名義タル裁判ハ當然執行力ヲ有スルヲ通常トス蓋シ執行名義トシテ強制執行ノ基礎ト爲ル裁判ハ後ニ説明スルカ如ク請求カ現ニ辨濟セラルヘキ場合ニ於テ之ヲ爲スヲ通常トスルヲ以テナリ之ニ反シテ執行名義タル執行證書ハ現ニ辨濟セラルヘキ請求ニ關セサルコト尠カラサルカ故ニ當然執行力ヲ有スルモノト謂フヲ得サル場合亦尠カラス尙ホ後ニ至リテ更ニ説明スル所アルヘシ

執行權ハ執行名義ニ基キテ存在スルモノナルカ故ニ執行名義ニ債權者トシテ表示セラレタル者ノ利益ノ爲メ之ニ債務者トシテ表示セラレタル者ノ不利益ニ於テ存在スルモノトス加之ナラス執行權ハ執行名義ニ表示セラレタル債權

者ノ承繼人(即チ其特別若クハ一般ノ承繼人)ノ利益ノ爲メ又ハ之ニ表示セラレタル債務者ノ一般ノ承繼人ノ不利益ニ於テモ亦存在スルモノナリ是レ第五百十九條ノ規定ニ依リテ明ナル所トス蓋シ同條ニ於テ執行名義ニ表示セラレタル債權者ノ承繼人ノ爲メ又ハ之ニ表示セラレタル債務者ノ一般ノ承繼人ニ對シテ執行力アル正本ヲ付與スヘキコトヲ定メタルハ其債權者ノ承繼人ノ利益ノ爲メ又ハ其債務者ノ一般ノ承繼人ノ不利益ニ於テ執行權ノ存在スルコトヲ認メタルカ爲メニ外ナラサルヲ以テナリ然レトモ執行名義ニ表示セラレタル債權者ノ一般ノ承繼人タル其相續人ノ利益ノ爲メ又ハ之ニ表示セラレタル債務者ノ一般ノ承繼人タル其相續人ノ不利益ニ於テ執行權ノ存在スルコトヲ確定スルニハ債權者又ハ債務者ノ一般ノ承繼人タル其相續人カ相續ノ承認ヲ爲シタルコトヲ必要トス蓋シ相續人カ相續ノ承認ヲ爲サ、ル間ハ權利義務ノ承繼ハ未タ確定セサルモノニシテ執行權カ債權者ノ相續人ノ利益ノ爲メ又ハ債務者ノ相續人ノ不利益ニ於テ存在スルハ債權者ノ相續人カ債權者ノ權利ヲ承繼シ又ハ債務者ノ相續人カ債務者ノ義務ヲ承繼スルカ爲メナルヲ以テナリ

執行權ハ一定ノ制限内ニ於テノミ債務者ノ一般ノ承繼人タル其相續人ノ不利益ニ於テ存在スルコトアリ是レ其相續人カ相續ノ限定承認ヲ爲シタル場合ニ於テ見ル所ナリ(民一〇二五)

執行名義カ存在シ且ツ其趣旨ニ依レハ請求カ現ニ辨濟セラレヘキモノナルトキハ執行權ノ存在ヲ認ムヘキモノナルカ故ニ此場合ニ於テハ債權者ノ主張スル請求カ實際存在セス又ハ實際其辨濟ヲ爲スコトヲ要セサルトキト雖モ尙ホ執行權ノ存在ヲ認メサルヲ得サルナリ故ニ執行權ハ特別ナル形式的原因ニ基キ存在スルモノニシテ債權者ノ主張スル請求ニ對シ獨立ノ存在ヲ有スルモノト謂フヘシ從テ執行名義カ存在シ且ツ其趣旨ニ依レハ請求カ現ニ辨濟セラレヘキモノナルトキハ債權者ノ主張スル請求カ實際存在セス又ハ實際其辨濟ヲ爲スコトヲ要セサルトキト雖モ強制執行ハ實質上許スヘキモノト謂ハサルヘカラサルナリ然レトモ強制執行ハ債權者ヲシテ請求ノ辨濟ヲ得セシムル爲メニ之ヲ爲スモノナルカ故ニ請求カ實際存在セス又ハ實際其辨濟ヲ爲スコトヲ要セサルニ拘ラス強制執行ヲ爲スハ其當ヲ得ス故ニ執行名義ノ趣旨ニ依レハ

請求カ現ニ辨濟セラルヘキモノタルニ拘ラス請求カ實際存在セス又ハ實際其辨濟ヲ爲スコトヲ要セサルトキハ債務者ハ執行異議ノ訴ヲ提起シ強制執行ヲ許サ、ル旨ヲ宣言スルニ依リテ執行權ヲ消滅セシムル判決ヲ得然ル後執行力アル其判決ノ正本ヲ執行機關ニ提出シテ強制執行ヲ妨クルコトヲ得ヘク又債務者カ執行名義ノ成立後ニ請求ノ辨濟ヲ爲シ又ハ辨濟ノ猶豫ヲ得タル場合ニ於テハ債務者ハ債權者カ請求ノ辨濟ヲ受ケ又ハ辨濟ノ猶豫ヲ承諾シタル旨ヲ記載シタル證書ヲ執行機關ニ提出シテ強制執行ヲ妨クルコトヲ得ヘキモノト定メタリ(五四五、五五〇、四號、五五九、五六〇乃至五六二)

執行權ハ前述ノ如ク債權者ノ主張スル請求ニ對シテ獨立ノ存在ヲ有スルモノナルカ故ニ其請求ノ存在ヲ妨ケスシテ執行權ノミヲ消滅セシムルコトヲ得ヘシ例ヘハ債權者カ執行權ノミヲ拋棄スルコトヲ得ルカ如シ執行權ノ存在ハ一定ノ期間内ニ制限セラル、モノニ非ス故ニ債權者ハ強制執行ヲ求ムル時期ヲ自由ニ選擇スルコトヲ得ヘシ然レトモ債權者ノ請求ハ其執行權ノ存在スルニ拘ラス時効ニ依リテ消滅スルコトヲ得ルモノトス而シテ強

制執行ヲ實施スルマテニ債權者ノ請求カ時効ニ依リテ消滅シタルトキハ債務者ハ前述ノ如ク執行異議ノ訴ヲ提起シ強制執行ヲ許サ、ル旨ヲ宣言スル判決ヲ得テ執行權ヲ消滅セシムルコトヲ得ヘシ(五四五、五六〇乃至五六二)

債權者カ執行權ヲ有スルニ拘ラス之ヲ行使スルコトヲ得サルトキハ強制執行ヲ爲スヘカラサルモノナリ而シテ債權者カ執行權ヲ行使スルコトヲ得ルニハ法律ニ定メタル條件ノ存在スルコトヲ必要トス債權者カ執行權ヲ行使スルコトヲ得ルニ必要ナル條件ハ是レ即チ強制執行ノ形式的條件ナリ

強制執行ハ執行名義ノ執行力アル正本ニ基キテ之ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ債權者カ執行名義ノ執行力アル正本ヲ執行機關ニ提出セサルトキハ強制執行ヲ求ムルコトヲ得サルモノトス從テ執行名義ノ執行力アル正本ナキトキハ債權者ハ執行權ヲ行使スルコトヲ得サルモノト謂ハサルヘカラス果シテ然ラハ執行名義ノ執行力アル正本ハ強制執行ノ形式的條件ニ屬スルモノト謂フヘシ(五一六、五六〇)所謂執行名義ノ執行力アル正本トハ執行名義ノ正本ニ執行文ヲ附記シタルモノヲ謂フ凡ソ強制執行又ハ其他ノ執行ニ必要ナル或條件ノ存在

ヲ證明スルモノハ是レ即チ執行文ナリ唯執行命令ニ依ル強制執行ハ通常執行命令ノ執行力アル正本ニ基キテ之ヲ爲スコトヲ要セサルカ故ニ執行命令ノ執行力アル正本ハ通常執行命令ニ依ル強制執行ノ形式條件ニ屬セサルモノト謂フヘシ(五六一)

右ニ述ヘタル外強制執行ノ形式的條件ニ屬スルモノハ尠カラズ先ツ第五百二十八條第一項末段、同條第二項以下、第五百二十九條第二項、第五百三十條及ヒ第五百六十條等ヲ參照スヘシ

第二節 實質的條件

債權者ノ利益ノ爲メ債務者ノ不利益ニ於テ執行權ノ存在スルコトハ強制執行ノ實質的條件ニシテ執行權カ債權者ノ利益ノ爲メ債務者ノ不利益ニ於テ存在セサルトキハ強制執行ハ實質上許スヘカラサルモノトス故ニ斯ル場合ニ於テハ強制執行ヲ爲スヘカラサルモノト謂フヘシ

既ニ述ヘタル所ニ依レハ執行權ハ執行名義カ存在シ且ツ其趣旨ニ依レハ請求

カ現ニ辨濟セラルヘキ場合ニ於テ執行名義ニ債權者トシテ表示セラレタル者又ハ其承繼人ノ利益ノ爲メ之ニ債務者トシテ表示セラレタル者又ハ其一般ノ承繼人ノ不利益ニ於テ存在スルモノトス而シテ債權者ノ利益ノ爲メ債務者ノ不利益ニ於テ執行權ノ存在スルコトハ強制執行ノ實質的條件ナルカ故ニ債權者ノ利益ノ爲メ債務者ノ不利益ニ於テ執行權ノ存在スルニ必要ナル條件ハ畢竟強制執行ノ實質的條件ナリト謂フヘシ

第一款 執行名義

第一項 判決

第一目 汎論

執行權ハ執行名義アルニ非サレハ存在セサルモノニシテ執行權ナキトキハ強制執行ハ實質上許スヘカラサルモノナルカ故ニ執行名義ノ存在ハ強制執行ノ實質的條件ノ一ニシテ執行名義カ存在セサルトキハ強制執行ヲ爲スヘカラサルモノト謂フヘシ執行名義ノ重ナルモノハ即チ判決ナリ

強制執行ハ執行権カ存在スルニ非サレハ之ヲ爲スヘカラサルモノニシテ執行権ハ執行名義ニ基キ之ニ債權者トシテ表示セラレタル者ノ利益ノ爲メ之ニ債務者トシテ表示セラレタル者ノ不利益ニ於テ存在スルモノナルカ故ニ判決ニ依ル強制執行ハ債權者及ヒ債務者ヲ判決ニ表示スル場合ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス而シテ執行権ハ執行名義ニ表示セラレタル債務者ノ承繼人ノ利益ノ爲メ又ハ之ニ表示セラレタル債務者ノ一般ノ承繼人ノ不利益ニ於テモ亦存在スルモノニシテ判決ニ附記スル執行文ニ其債權者ノ承繼人又ハ其債務者ノ一般ノ承繼人ヲ表示スルトキハ是レ即チ執行権カ判決ニ基キテ其債權者ノ承繼人ノ利益ノ爲メ又ハ其債務者ノ一般ノ承繼人ノ不利益ニ於テ存在スルコトヲ其執行文ニ於テ示スモノナルカ故ニ判決ニ表示セラレタル債權者ノ承繼人又ハ之ニ表示セラレタル債務者ノ一般ノ承繼人ヲ判決ニ附記スル執行文ニ表示スル限リハ亦其債權者ノ承繼人ノ爲メ又ハ其債務者ノ一般ノ承繼人ニ對シテ強制執行ヲ爲スコトヲ得ヘシ之ヲ要スルニ判決ニ依ル強制執行ハ之ヲ求ムル者及ヒ之ヲ受クル者ヲ判決又ハ之ニ附記スル執行文ニ表示スルニ非サ

レハ之ヲ爲スヘカラサルモノナリ(五二八、一)

強制執行ノ基礎タル執行名義タルコトヲ得ル判決ハ終局判決ニ限ル然レトモ強制執行ニ關シテ終局判決ト看做サル、中間判決ハ例外トシテ斯ル執行名義タルコトヲ得ヘシ斯ル中間判決ハ防禦方法ヲ提出スル權利ヲ留保スル控訴審ノ中間判決及ヒ證書訴訟又ハ爲替訴訟ニ於テ敗訴ノ被告ニ防禦方法ヲ提出スル權利ヲ留保スル中間判決トス(四二六、四九一)今強制執行ニ關シテ此等ノ中間判決ヲ終局判決ト看做ス所以ハ他ナシ此等ノ中間判決ヲ爲ス場合ニ於テハ之ニ基キテ強制執行ヲ爲シ債權者ヲシテ訴訟ノ遲滯ニ依ル不利益ヲ被ラサラシメ又ハ之ヲシテ迅速ニ請求ノ辨濟ヲ得セシムル必要アルヲ以テナリ判決ニシテ強制執行ノ基礎タル執行名義タルコトヲ得ヘキモノハ當事者ノ一方ニ請求ノ辨濟ヲ命スルモノニ限ル蓋シ或判決カ當事者ノ一方ニ請求ノ辨濟ヲ命セサルトキハ他ノ一方ヲシテ請求ノ辨濟ヲ得セシムルカ爲メニ其判決ニ基キテ強制執行ヲ爲スヘキ理由ナキヲ以テナリ彼ノ給付判決ハ被告ニ請求ノ辨濟ヲ命スルモノナルカ故ニ斯ル執行名義タルコトヲ得ヘシト雖モ確認判決

及ヒ權利變更ノ判決ハ當事者ノ一方ニ請求ノ辨濟ヲ命スルモノニ非サルカ故ニ斯ル執行名義タルコトヲ得ス唯確認判決及ヒ權利變更ノ判決ト雖モ訴訟費用ノ負擔ヲ命スル點ニ於テハ間接ニ斯ル執行名義タルコトヲ得ヘキモノト謂フヘシ蓋シ訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ヲ包含スル確認判決及ヒ權利變更ノ判決ハ費用額確定決定即チ訴訟費用ノ額ヲ確定シテ其辨濟ヲ命スル裁判ノ基礎ト爲ルモノニシテ此裁判ハ後ニ説明スル所ニ依リ斯ル執行名義タルヲ得ヘキモノナルヲ以テナリ(八五、五五九、一號)故ニ訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ヲ包含スル確認判決及ヒ權利變更ノ判決ハ訴訟費用ノ負擔ヲ命スル點ニ於テ間接ニ強制執行ノ基礎ト爲ルヲ得ヘキ效力ヲ有スルモノト謂フヘシ

當事者ノ一方ニ請求ノ辨濟ヲ命スル下級審ノ判決カ上級審ノ判決ニ依リテ是認セラレ又ハ當事者ノ一方ニ請求ノ辨濟ヲ命スル闕席判決カ故障申立後ノ判決ニ依リテ維持セラレタル場合ニ於テハ強制執行ノ基礎タル執行名義ト爲ルモノハ其下級審ノ判決又ハ闕席判決ナリト知ルヘシ

外國判決ハ當然強制執行ノ基礎タル執行名義タルコトヲ得ルモノニ非ス唯外

國判決ニ依ル強制執行ノ適法ナルコトヲ言渡ス判決ト相待テ期ル執行名義タルコトヲ得ヘシ要スルニ外國判決ニ依ル強制執行ハ執行判決ヲ以テ其ノ適法ナルコトヲ言渡シタルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ(五一、四、一)凡ソ或債務名義カ執行力ヲ有スルコトヲ宣言スル判決ハ所謂執行判決ナリ(八〇、二)外國判決ニ依ル強制執行ノ適法ナルコトヲ言渡ス執行判決ハ確認判決トス蓋シ此執行判決ハ外國判決ニ依ル強制執行ノ適法ナルコトヲ宣言スルニ依リテ債權者カ外國判決ニ依ル強制執行ヲ求ムル權利ヲ有スルコトヲ確定スルモノナルヲ以テナリ

債權者カ外國判決ニ依ル強制執行ノ適法ナルコトヲ言渡ス執行判決ヲ得ントセハ訴ヲ提起セサルヘカラス此執行判決ヲ求ムル訴ハ執行權ヲ以テ其目的物トスルモノトス

外國判決ニ依ル強制執行ノ適法ナルコトヲ言渡ス執行判決ヲ求ムル訴ハ債務者カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判所又ハ地方裁判所之ヲ管轄シ若シ其普通裁判籍ナキトキハ第十七條ノ規定ニ從ヒテ債務者ニ對スル訴ヲ管轄スル區裁

判所又ハ地方裁判所之ヲ管轄スルモノトス(五一四、二)而シテ區裁判所カ此訴ヲ管轄スルヤ又ハ地方裁判所カ之ヲ管轄スルヤハ事物ノ管轄ニ關スル規定ニ依リテ定マルモノナリ

右ニ述ヘタル訴ハ外國判決ニ表示セル債權者ノ承繼人モ亦之ヲ提起スルコトヲ得ヘク且ツ之ニ表示セル債務者ノ一般ノ承繼人ニ對シテモ之ヲ提起スルコトヲ得ヘシ此場合ニ於テハ裁判所ハ承繼ノ有無ヲ調査セサルヘカラス
外國判決ニ依ル強制執行ノ適法ナルコトヲ言渡ス執行判決ハ外國判決ニ包含スル裁判ノ當否ヲ調査セスシテ之ヲ爲スヘキモノトス(五一五、一)然レトモ此執行判決ヲ爲スニハ第五百十五條第二項ニ掲クル要件ノ存否ヲ調査セサルヘカラス而シテ此要件ノ存在セサル場合ニ於テハ此執行判決ヲ求ムル訴ヲ却下スヘキモノトス(五一五、二)此要件ニ關シテハ曾テ説明セル所ヲ參照スヘシ(一四四頁乃至一四六頁)

外國判決ニ依ル強制執行ノ適法ナルコトヲ言渡ス執行判決ヲ求ムル訴ニ基ク訴訟手續ハ通常訴訟手續ナルカ故ニ之ニ關スル規定ニ從フヘキモノトス然レ

トモ此執行判決ハ公益ト關係ヲ有スルカ故ニ此判決ヲ爲スニ必要ナル條件ハ職權ヲ以テ裁判所之ヲ調査スヘキモノニシテ其條件タル事實ニ關スル自白ノ效力ヲ認ムヘカラサルノミナラス訴訟物ニ關スル認諾ノ效力ヲ認ムヘカラサルモノト謂フヘシ

外國判決ニ依リ確定シタル請求ニ關スル異議ニシテ其原因カ異議ヲ主張スルコトヲ得ヘキ訴訟ノ程度ノ經過後ニ生シタルモノハ右ニ述ヘタル訴ニ對シテ之ヲ主張スルコトヲ得ヘシ蓋シ斯ル異議ハ外國判決ノ不當ナルコトヲ明ニスルカ爲メニ之ヲ主張スルモノニ非スシテ單ニ外國判決ニ依ル強制執行ノ不當ナルコトヲ明ニスルカ爲メニ之ヲ主張スルモノナルノミナラス斯ル異議ハ第五百四十五條ノ規定ニ依リ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ヘキモノナルカ故ニ抗辯トシテ之ヲ主張スルヲ得ルコト勿論ナリト謂ハサルヘカラサルヲ以テナリ

以上述ヘタル規定ハ外國判決ニ依ル強制執行ニ關スルモノナリト雖モ外國判決ノ其他ノ執行ニ準用セラルヘキモノト知ルヘシ

判決ハ確定シタル場合又ハ其假執行ノ宣言アル場合ニ限り執行名義タルコトヲ得ヘシ判決ノ假執行トハ判決ノ確定前ニ於ケル其執行ヲ謂フ茲ニ所謂執行トハ強制執行ノミヲ指スモノニ非スシテ其他ノ執行ヲモ指スモノトス是レ判決ノ假執行ノ宣言ハ命シタル假差押又ハ假處分ヲ取消ス判決ノ如キ強制執行ノ基礎ト爲ラサル判決ヲ爲ス場合ニ於テモ之ヲ爲スニ依リテ自ラ明ナリト謂フヘシ(五〇一、四號)

凡ソ判決カ確定セサルトキハ故障ノ申立又ハ上訴ニ基キテ取消ナルルコト尠カラサルカ故ニ判決ノ確定シタル後ニ至リテ之ニ依ル強制執行其他ノ執行ヲ許スヘキモノトスルヲ至當トス然レトモ判決カ確定セサルニ拘ラス其ノ取消サルル危険極テ尠キトキ又ハ債權者ヲシテ訴訟ノ遲滯ニ依ル不利益ヲ被ラサラシメ若クハ之ヲシテ迅速ニ請求ノ辨濟ヲ得セシムルコトヲ至當トスルトキ其他速ニ判決ヲ執行スルヲ至當トスルトキハ判決ノ確定スルヲ待タスシテ其執行ヲ許スノ必要アリト謂フヘシ是レ法律カ此等ノ事情アリト認ムル場合ニ於テ判決ノ假執行ヲ許シタル所以ナリ

右ニ述ヘタル所ニ依レハ法律カ判決ノ假執行ヲ爲スコトヲ至當トスル場合ニ於テハ故障ノ申立又ハ上訴ニ依リテ判決ノ取消サルル恐アリ且ツ債務者ノ利益ヲ害スル恐アルコトヲ顧ミスシテ判決ノ假執行ヲ許スモノト謂フヘシ
判決ノ假執行ヲ許ストキハ訴訟手續ニ關シテモ重大ナル結果ヲ生スルモノトス蓋シ判決ノ假執行ヲ許ストキハ當事者ハ既ニ第一審ニ於テ勝訴ノ結果ヲ得ルノ必要アルカ爲メ第一審ニ於テモ訴訟ニ十分ノ注意ヲ用ユルノミナラス其ノ提出スルコトヲ得ヘキ一切ノ攻撃若クハ防禦ノ方法ヲ第一審ニ於テ提出スルニ至ルヘク且ツ強制執行ヲ遲延セシムルカ爲メニノミ上訴ヲ提起シ又ハ故障ノ申立ヲ爲スコトナキニ至ルヘキヲ以テナリ

第二目 確定判決

判決ニシテ執行名義タルコトヲ得ルモノハ確定判決タルコトヲ通常トス
佛蘭西民事訴訟法ニ依レハ判決ハ其確定ヲ待タスシテ之ヲ執行スルコトヲ得ヘシト雖モ判決ニ對シテ控訴カ提起セラルルトキハ其執行ノ停止セラルル結

果ヲ生スルモノトス唯判決ニ假執行ノ宣言ヲ附シタル場合ニ於テハ同法ハ控訴ノ提起ニ斯ル效果ヲ附セサルナリ

判決カ確定シタルトキハ執行名義ト爲ルコトヲ得ルモノニシテ之ニ依リ強制執行ヲ爲スコトヲ得ルモノナルカ故ニ判決ノ確定後ニ原狀回復又ハ再審ヲ求ムル申立アルモ強制執行ハ之カ爲メニ妨ケラレルモノニ非ス然レトモ此申立アル場合ニ於テハ確定判決ノ取消サルルコトナキニ非サルカ故ニ債務者ノ申立アルトキハ裁判所ハ其利益ノ爲メ強制執行ニ關スル假ノ處置ヲ命スルコトヲ得ヘシ即チ債務者ヲシテ保證ヲ立テシメ若クハ之ヲ立テシメシテ強制執行ヲ一時停止スヘキコトヲ命シ又ハ債權者ヲシテ保證ヲ立テシメテ強制執行ヲ爲スヘキコトヲ命シ及ヒ債務者ヲシテ保證ヲ立テシメテ既ニ爲シタル執行處分ヲ取消スヘキコトヲ命スルヲ得ヘシ(五〇〇、一)此ノ如ク債權者ヲシテ保證ヲ立テシメテ強制執行ヲ爲スヘキコトヲ命スルハ是レ即チ債權者カ保證ヲ立テサル限リハ強制執行ヲ一時停止スヘキコトヲ命スルモノニ外ナラサルナリ而シテ強制執行ノ一時ノ停止及ヒ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ハ同時ニ之ヲ

命スルコトヲ妨ケス然レトモ債務者ヲシテ保證ヲ立テシメシテ爲ス強制執行ノ一時ノ停止ハ債務者カ強制執行ニ依リテ償フコト能ハサル損害ヲ生スヘキコトヲ疏明スルトキニ限リ之ヲ命スルコトヲ得ルモノナリ(五〇〇、二)又強制執行ノ一時ノ停止ハ強制執行カ既ニ終了シタルトキハ之ヲ命スルニ由ナシト謂フヘシ茲ニ所謂再審ヲ求ムル申立トハ再審ノ訴ヲ指スモノニ外ナラサルナリ

裁判所カ右ニ述ヘタル所ニ從ヒ債務者ヲシテ保證ヲ立テシメテ強制執行ヲ一時停止スヘキコトヲ命シ又ハ債權者ヲシテ保證ヲ立テシメテ強制執行ヲ爲スヘキコトヲ命シ又ハ債務者ヲシテ保證ヲ立テシメテ既ニ爲シタル執行處分ヲ取消スヘキコトヲ命スルニ當リテハ債務者又ハ債權者ノ立ツヘキ保證ノ額ヲ定ムヘキモノトス債務者ノ立ツヘキ保證ノ額ハ債權者カ強制執行ノ一時ノ停止又ハ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ニ依リ被ルヘキ損害ヲ標準トシテ之ヲ定メ又債權者ノ立ツヘキ保證ノ額ハ強制執行ニ依リ債務者ノ被ルヘキ損害ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘキモノナリ

前述ノ命令ヲ求ムル債務者ノ申立ハ原狀回復ノ申立又ハ再審ノ訴ニ基キテ裁判ヲ爲スヘキ裁判所ニ之ヲ爲スヘキモノナリ故ニ前述ノ命令ヲ發スルコトヲ得ヘキ裁判所ハ此裁判所ノミニシテ執行裁判所ハ此命令ヲ發スルコトヲ得ス是レ此命令ヲ發スルニハ原狀回復ノ申立又ハ再審ノ訴ノ結果ヲ豫測スルノ必要アルカ爲メナリ

前述ノ命令ヲ求ムル債務者ノ申立ハ口頭又ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ヘク且ツ原狀回復ノ申立又ハ再審ノ訴ニ關スル口頭辯論ノ開始前ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ

右ノ申立ニ關スル裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ(五〇〇三)故ニ此裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノトス然レトモ原狀回復ノ申立又ハ再審ノ訴ニ付テノ判決ト之ヲ併合スルコトヲ妨ケサルナリ

前述ノ命令ヲ求ムル債務者ノ申立ニ關スル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス(五〇〇三)今若シ此裁判ニ對シテ不服ヲ申立ツルコトヲ許ストキハ上級裁判所ハ本案ニ關シテ豫決ヲ爲ス結果ヲ生スルコトナキニ非サルヘシ是レ

此裁判ニ對シテ不服ヲ申立ツルコトヲ許ササル所以ナリ

債務者ノ申立ニ基キテ前述ノ命令ヲ發シタル裁判所ハ新ナル債務者ノ申立ニ依リ終局判決ヲ爲スニ至ルマテ何時ニテモ之ヲ變更スルコトヲ得ヘク且ツ原狀回復ノ申立又ハ再審ノ訴ニ付テノ判決ニ對スル上訴カ提起セラレタル場合ニ於テハ上級裁判所モ亦債務者ノ申立ニ依リ終局判決ヲ爲スニ至ルマテ何時ニテモ此命令ノ變更ヲ爲スコトヲ得ヘシ是レ蓋シ前述ノ命令ハ強制執行ニ付キ訴訟ノ繫屬中ニ於ケル假ノ處置ヲ命スルモノニ外ナラサルヲ以テナリ
前述ノ命令ハ原狀回復ノ申立又ハ再審ノ訴ニ關スル判決ノ確定スル限リハ其效力ヲ失フニ至ルモノトス是レ此命令ハ前述ノ如ク強制執行ニ付キ訴訟ノ繫屬中ニ於ケル假ノ處置ヲ命スルモノナルヲ以テナリ

第三目 假執行ノ宣言アル判決

判決ノ假執行ハ判決ノ確定前ニ於ケル其執行ナリ茲ニ所謂判決ノ執行トハ判決ニ基ク強制執行又ハ判決ノ其他ノ執行ヲ指スモノト知ルヘシ假執行ヲ爲ス

コトヲ得ヘキ判決ハ通常ノ判決及ヒ闕席判決トス
 判決ノ假執行ハ判決ノ確定後ニ於ケル其執行ト同一ノ方法ニ依ルモノトス唯
 或場合ニ於テ之ト異ル所アルノミ(五〇五、二六〇七)

判決ノ假執行ハ其宣言アル場合ニ限リ之ヲ爲スモノトス(四九七)判決ノ假執行
 ノ宣言ハ假執行ヲ爲スヘキ判決ヲ爲ス裁判所其判決ニ於テ之ヲ爲スヲ通常ト
 ス然レトモ判決ニ對シテ上訴カ提起セラレタル場合ニ於テハ上級裁判所ハ上
 訴ヲ以テ不服ヲ申立テラレタル判決ノ假執行ヲ決定ヲ以テ宣言スルヲ得ルコ
 トナキニ非サルナリ(五〇七、五〇九)

判決カ其言渡ト共ニ確定スル場合ニ於テハ其假執行ノ宣言ヲ爲ス必要ナシ蓋
 シ判決ノ假執行ハ判決ノ確定前ニ於ケル其執行ノ謂ナルヲ以テナリ例ヘハ闕
 席判決ニ非サル上告審ノ判決ハ其言渡ト共ニ確定スルモノナルカ故ニ其假執
 行ノ宣告ヲ爲ス必要ナキカ如シ又判決ノ執行カ或點ニ付キ法律上其確定ニ繫
 ル場合ニ於テハ其點ニ付キ判決ノ假執行ノ宣告ヲ爲スヘキモノニ非サルナリ
 (七三六)

判決カ其言渡ト共ニ執行セラルル場合又ハ判決ノ確定ヲ待タス直ニ之ヲ執行
 スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ其假執行ノ宣言ヲ爲ス必要ナシ本案ノ裁判又
 ハ假執行ノ宣言ヲ取消シ又ハ變更スル判決ノ言渡アルトキハ假執行ノ宣言ハ
 後ニ説明スルカ如ク當然其效力ヲ失フモノニシテ直ニ其判決ノ執行ヲ見ルニ
 至ルモノナルカ故ニ其判決ノ假執行ノ宣言ヲ爲ス必要ナク(五一〇)又假差押又
 ハ假處分ヲ命スル判決ハ後ニ説明スルカ如ク確定ヲ待タス直ニ之ヲ執行スル
 コトヲ得ヘキモノナルカ故ニ其假執行ノ宣言ヲ爲ス必要ナシト知ルヘシ
 假執行ノ宣言ハ執行セラルヘキ内容ヲ有スル判決ニ關シテ之ヲ爲スヘキモノ
 ナリ故ニ判決カ其内容ニ依レハ強制執行ニ適セサルニ拘ラス苟モ執行セラ
 ルコトヲ得ヘキ限リハ法律ノ規定ニ從ヒテ其假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノト
 ス蓋シ判決ノ假執行ハ未確定ノ判決ニ依ル強制執行又ハ斯ル判決ノ其他ノ執
 行ヲ指スモノナルヲ以テナリ故ニ或判決ニ於テ請求ノ辨濟ヲ命スル裁判ヲ爲
 ササルニ拘ラス其判決ニ於テ訴訟費用ノ負擔ニ關スル裁判ヲ爲ストキハ法律
 ノ規定ニ從ヒテ其判決ノ假執行ヲ宣言スヘキモノトス蓋シ此場合ニ於テハ其

判決ノ執行トシテ之ニ基キ費用額確定決定ヲ爲スコトヲ得ヘキモノナルヲ以テナリ(八四二)故ニ原告ノ訴ヲ却下スル判決ニ於テ之ニ訴訟費用ノ負擔ヲ命スル場合ニ於テモ法律ノ規定ニ從ヒテ其假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノト謂フヘク且ツ被告ニ請求ノ辨濟ヲ命スル判決ノ假執行ノ宣言ノ效力ハ其判決ニ包含スル訴訟費用ノ負擔ニ關スル裁判ニモ及フモノト謂フヘシ
假執行ノ宣言ハ法律ニ規定アル場合ニ限り職權ヲ以テ又ハ債權者ノ申立ニ依リ之ヲ爲スヘキモノトス

左ニ掲クル判決ヲ爲ス場合ニ於テハ職權ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノトス(五〇二)

(一)認諾ニ基キテ敗訴ヲ言渡ス判決

訴訟物ニ關スル認諾ヲ爲シタル被告ニ敗訴ヲ言渡ス判決ニ對シテハ被告ヨリ不服ノ申立ヲ爲スコト極テ稀ナルノミナラス斯ル判決カ上訴ニ基キテ取消サルルコト亦稀ナリト謂フヘシ是レ職權ヲ以テ此判決ノ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノト定メタル所以ナリ

(二)證書訴訟又ハ爲替訴訟ニ於テ言渡ス判決

證書訴訟及ヒ爲替訴訟ハ原告ノ請求ノ爲メ速ニ強制執行ヲ爲スコトヲ得セシムルカ爲メニ存スルモノナルカ故ニ此等ノ訴訟ニ於テ被告ニ敗訴ヲ言渡ス判決ヲ爲ストキハ通常訴訟ニ於テ防禦方法ヲ提出スル權利ヲ之ニ留保スルト否トヲ問ハス職權ヲ以テ其判決ノ假執行ノ宣告ヲ爲スヘキモノナリ(四九一)然レトモ此等ノ訴訟ニ於テ原告ニ敗訴ヲ言渡ス判決ヲ爲ス場合ニ於テモ亦職權ヲ以テ其假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノトス是レ被告ニ對スル權衡ヲ維持スルカ爲メニ必要ナル所ナリ然レトモ此等ノ訴訟ニ於テ原告ニ敗訴ヲ言渡ス判決ヲ爲ス場合ニ於テハ其假執行ノ宣言ハ訴訟費用ノ負擔ヲ命スル點ノミニ關スルモノニシテ其判決ノ確定ヲ待タス之ニ基キ費用額確定決定ヲ爲スコトヲ得セシムル效力ヲ有スルニ過キス

(三)同一ノ審級ニ於テ同一ノ當事者ニ對シ本案ニ付キ言渡ス第二又ハ其後ノ闕席判決

茲ニ所謂本案トハ訴訟費用ニ關セサル一切ノ問題ヲ指スモノトス故ニ闕席

判決ヲ受ケタル當事者カ其故障ノ申立後ニ於ケル最初ノ口頭辯論期日又ハ此期日ノ辯論ヲ延期セル期日ニ闕席セルカ爲メニ其故障ノ申立ヲ棄却スル新闕席判決ヲ爲シタル場合ニ於テモ亦職權ヲ以テ其假執行ノ宣告ヲ爲スヘキモノト謂フヘシ(二六三)同一ノ審級ニ於テ同一ノ當事者ニ對シ本案ニ付キ言渡ス第二以後ノ闕席判決ヲ爲ス場合ニ於テ職權ヲ以テ其假執行ノ宣言ヲ爲スハ同一ノ審級ニ於テ同一ノ當事者カ屢口頭辯論期日ニ闕席スルカ爲メニ生スル法律上ノ效果ニ外ナラス而シテ此效果タルヤ同一ノ審級ニ於テ同一ノ當事者カ屢口頭辯論期日ニ闕席シ以テ幾回モ闕席判決ヲ受クルコトヲ防クカ爲メニ之ヲ認ムルノ必要アリト謂フヘシ

(四)假差押又ハ假處分ヲ取消ス判決

茲ニ所謂假差押又ハ假處分ヲ取消ス判決トハ命シタル假差押又ハ假處分ヲ取消ス判決即チ假差押又ハ假處分ノ命令ヲ取消ス判決ヲ指スモノトス(七四五乃至七四七)

假差押又ハ假處分ハ債務者ノ爲メニ甚タ不利益ナリ而シテ假差押又ハ假處

分ノ命令ヲ取消ス判決アリタル場合ニ於テハ債權者カ假差押若クハ假處分ノ理由及ヒ請求ヲ疏明シ又ハ保證ヲ立テタルノミニテ發シタル命令ニ基キテ假差押若クハ假處分ヲ爲シ又ハ斯ル命令ニ基キテ爲シタル假差押若クハ假處分ヲ維持スルヲ不當ト認メサルヘカラサルニ至ルモノト謂フヘシ(七四〇・七四一・七五六)是レ假差押又ハ假處分ノ命令ヲ取消ス判決ヲ爲ス場合ニ於テハ職權ヲ以テ其假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノト定メタル所以ナリ

(五)養料ノ支拂ヲ求ムル訴訟ニ於テ訴ノ提起後ノ時間及ヒ訴ノ提起前最後ノ三個月間ニ對スル養料ノ支拂ヲ被告ニ言渡ス判決

養料ノ支拂ヲ求ムル訴ノ提起後ノ時間及ヒ其提起前最後ノ三個月間ニ對スル養料ノ支拂ハ急速ニ之ヲ爲サシムル必要アリ是レ其養料ノ支拂ヲ命スル判決ヲ爲ス場合ニ於テハ職權ヲ以テ其假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノト定メタル所以ナリ養料ノ支拂ハ法律ノ規定ニ基クモノタルコトヲ必要トセス契約又ハ遺言ニ基クモノタルモ亦可ナリ訴ノ提起後ノ時間ニ對スル養料ノ支拂ヲ被告ニ言渡スハ原告カ口頭辯論ノ進行中ニ訴ノ申立ヲ擴張シタル場合

ニ於テ之ヲ見ルモノトス

一〇二六

假執行ノ宣言ハ左ニ掲クル訴訟ニ於テ債權者ノ申立ニ依リ之ヲ爲スヘキモノトス

(一)第五百二條第一號乃至第四號ニ掲クル急速ヲ要スル訴訟
債權者ハ此等ノ訴訟ニ於ケル判決ノ假執行ニ付キ利益ヲ有スルヲ通常トス
是レ債權者ノ申立ニ依リ此等ノ訴訟ニ於ケル判決ノ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノト定メタル所以ナリ

本號ノ訴訟ニ於テハ訴訟カ第一審ニ繫屬スルト上級審ニ繫屬スルトヲ問ハス債權者ノ申立ニ依リ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノトス又訴ヲ却下スルト被告ニ敗訴ヲ言渡ストヲ問ハス債權者即チ強制執行ヲ求ムル當事者ノ地位ニ在ル者ノ申立ニ依リ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノナリ

(二)財産權上ノ請求ニシテ金額又ハ價額カ二十圓ヲ超過セサルモノヲ目的物トスル訴訟(五〇二、五號)
債權者ハ少額ノ請求ヲ目的物トスル訴訟ニ於ケル判決ノ假執行ニ付キ利益

ヲ有スルヲ通常トスルノミナラス斯ル請求ヲ目的物トスル訴訟ハ通常簡易ナルカ故ニ判決ノ不當ナルコト比較的ニ尠シト謂フヘシ是レ債權者ノ申立ニ依リ本號ニ掲クル訴訟ニ於ケル判決ノ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノト定メタル所以ナリ

訴訟ノ目的物タル財産權上ノ請求ノ價額ノ計算ニ付キテハ第三條乃至第五條ノ規定ヲ適用スヘキモノトス

前號ノ訴訟ニ於ケル判決ノ假執行ノ宣言ニ關スル説明ハ本號ノ訴訟ニ於ケル判決ノ假執行ノ宣言ニ應用セラレヘキモノト知ルヘシ

右ニ述ヘタル外左ノ場合ニ於テハ財産權上ノ請求ニ關スル判決ニ限り債權者ノ申立ニ依リ其假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノトス(五〇三)

(二)債權者カ執行ノ前ニ保證ヲ立ツヘキコトヲ申立テタルトキ
此場合ニ於テハ裁判所ハ判決ノ執行ニ依リテ債務者ニ生スヘキ損害ヲ賠償スルニ十分ナル保證ノ額ヲ定メ債權者カ其保證ヲ立ツル限リハ判決ノ假執行ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ノ宣言ヲ爲スヘキモノトス

(二)債權者カ判決ノ確定スルマテ執行ヲ爲ササレハ償ヒ難キ損害又ハ計リ難キ損害ヲ受クヘキコトヲ疏明スルトキ

占有ニ付キ争アリ又ハ債務者カ不當ニ債權者ノ商號若クハ商標ヲ使用シタルコトニ付キ争アルカ如キ場合ニ於テハ判決ノ確定スルマテ執行ヲ爲ササレハ償ヒ難キ損害又ハ計リ難キ損害ヲ債權者ニ生スルモノト知ルヘシ斯ル事情ハ假執行ヲ爲スニ必要ナル條件ナルカ故ニ債務者カ口頭辯論期日ニ闕席シタル場合ニ於テモ債權者ハ之ヲ疏明セサルヘカラサルナリ

以上述ヘタル外第五百九條ノ場合ニ於テモ亦債權者ノ申立ニ依リ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノトス同條ノ規定ハ後ニ至リテ之ヲ説明スヘシ

假執行ノ宣言ヲ爲ストキハ債權者ノ利益ヲ維持スルニ足ルヘシト雖モ不當ニ債務者ノ利益ヲ害スルコトナキニ非ス故ニ現行法ハ亦債務者ノ利益ヲ維持スヘキ規定ヲ設ケタリ即チ左ノ如シ

(一)債務者カ判決ノ執行ニ依リテ回復スルコト能ハサル損害ヲ生スヘキコトヲ疏明スルトキハ第五百一條ノ規定ニ從ヒ職權ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ爲ス

ヘキ場合ニ於テハ債務者ノ申立ニ依リ假執行ヲ爲スヘカラサル旨ヲ宣言シ又第五百二條又ハ第五百三條ノ規定ニ從ヒ債權者ノ申立ニ依リ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ債務者ノ申立ニ依リ債權者ノ假執行ノ申立ヲ却下スヘキモノトス例ヘハ判決ノ執行カ債務者ノ營業ニ除クヘカラサル障礙ヲ生シ又ハ債務者ノ計畫スル發明ヲ阻止スルニ至ルヘキコトヲ債務者カ疏明シタル場合ノ如シ(五〇四)

(二)裁判所ハ假執行ノ宣言ヲ爲ス總テノ場合ニ於テ債務者ノ申立ニ依リ假執行ヲ債權者カ豫メ保證ヲ立ツルコトニ繋ラシムルコトヲ得ヘシ(五〇五、一)

裁判所ハ其自由ノ意見ニ從ヒテ債務者ノ申立ヲ許スヘキヤ否ヤヲ決スヘキモノトス裁判所カ債務者ノ申立ヲ許スハ債權者カ判決ノ假執行ニ依リテ債務者ニ對シ負擔スルコトアルヘキ損害賠償ノ義務ヲ履行スル資力ヲ有セサルカ又ハ判決ノ取消サルヘキ恐尠カラサルカ如キ場合ニ於テ之ヲ見ルモノト謂フヘシ裁判所カ債務者ノ申立ヲ許スニ當リテハ債權者ノ立ツヘキ保證ノ額ヲ定ムヘキモノトス此額ハ判決ノ執行ニ依リ債務者ニ生スヘキ損害ヲ

標準トシテ之ヲ定ムヘキモノナリ

10110

右ニ述ヘタル第五百五條第一項ノ規定ハ第五百九條ノ規定ニ從ヒテ假執行ノ宣言ヲ爲ス場合ニ於テハ其適用ヲ生セス蓋シ此規定ニ依レハ本來債務者ハ不服ノ申立ヲ爲スニ依リテ假執行ノ宣言ヲ避クルコトヲ得ヘク又債務者カ不服ノ申立ヲ爲スニ依リテ假執行ノ宣言ヲ避クルコトヲ得ヘキニ拘ラス不服ノ申立ヲ爲ササルトキハ債權者ノ保證ヲ立ツルコトニ付キテモ正當ノ利益ヲ有セサルモノト認ムヘキヲ以テナリ此事タルヤ第五百九條ノ位置ニ依ルモ亦自ラ明ナル所トス又債權者カ保證ヲ立ツルコトヲ申出テタルカ爲メ之ヲ條件トシテ假執行ノ宣言ヲ爲ス場合ニ於テハ第五百五條第一項ノ規定ヲ適用スルノ必要ナキコト勿論ナリ

(三)假執行ノ宣言ヲ爲ス場合ニ於テ債權者カ執行ノ前ニ保證ヲ立ツヘキコトヲ申出テサルトキハ債務者ノ申立ニ依リ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲シテ假執行ヲ免ルルコトヲ債務者ニ許スヘキモノトス(五〇五、二)

債務者ハ其選擇ニ從ヒ保證ヲ立テテ假執行ヲ免ルルコトヲ得ヘキ旨ノ宣言

ヲ求ムルコトヲ得ヘク又ハ請求ノ目的タル物ヲ供託シテ之ヲ免ルルコトヲ得ヘキ旨ノ宣言ヲ求ムルコトヲ得ヘキノミナラス保證ヲ立ツルカ若クハ供託ヲ爲スニ依リテ假執行ヲ免ルルコトヲ得ヘキ旨ノ宣言ヲ求ムルコトヲ得ヘシ然レトモ請求ノ目的物カ供託ニ適セサル場合ニ於テハ債務者ハ保證ヲ立テテ假執行ヲ免ルルコトヲ得ヘキ旨ノ宣言ノミヲ求ムルコトヲ得ルモノトス債務者ノ申立カ此制限ニ反セサル限リハ裁判所ハ其ノ求メタル宣言ヲ爲スヘキモノナリ而シテ裁判所カ保證ヲ立テテ假執行ヲ免ルルコトヲ得ヘキ旨ノ宣言ヲ債務者ノ爲メニ爲ス場合ニ於テハ債務者ノ立ツヘキ保證ノ額ヲ其宣言ニ掲クヘキモノトス裁判所カ此額ヲ定ムルニハ請求ノ金額又ハ價額ヲ以テ標準ト爲スヘキモノナリ

債務者カ其ノ求メタル宣言ヲ得タル場合ニ於テモ假執行ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ此場合ニ於テハ債務者カ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲シタル旨ヲ記載セル公正證書ヲ執行機關ニ提出セハ假執行ヲ爲スコトヲ得サルニ至ルモノナリ(五五〇、五五一)又此場合ニ於テハ債務者カ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲サ

サルトキト雖モ債権者ハ假執行ニ依リテ直ニ請求ノ辨濟ヲ受クルヲ得サルコトナキニ非サルナリ(六〇七)尙ホ後ノ説明ヲ參照スヘシ
 債務者カ保證ヲ立ツルカ又ハ供託ヲ爲スニ依リテ假執行ヲ免ルルコトヲ得ヘキ旨ノ宣言ヲ得タル場合ニ於テハ假執行ヲ免ルルカ爲メ其選擇ニ從ヒ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲スコトヲ得ヘシ
 債務者カ其ノ得タル宣言ニ基キテ供託ヲ爲スハ假執行ヲ免ルルカ爲メ外ナラサルカ故ニ債務者カ民法ノ規定ニ從ヒテ供託ヲ爲スコトト之ヲ區別セサルヘカラサルナリ

債務者カ前述ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テ債権者カ保證ヲ立ツルコトヲ申出テタルトキハ裁判所ハ債務者ノ求メタル宣言ヲ爲スト同時ニ債権者カ保證ヲ立ツル限リハ債務者カ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲スニ拘ラス假執行ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ノ留保ヲ債権者ノ爲メニ爲スヘキモノトス裁判所カ此留保ヲ爲スニ當リテハ債権者ノ立ツヘキ保證ノ額ヲ定ムヘキモノナリ而シテ此額ヲ定ムルニハ債務者カ判決ノ執行ニ依リテ被ルヘキ損害ノ額ヲ以テ標

準ト爲スヘキモノトス

裁判所カ右ニ述ヘタル所ニ從ヒテ債務者ノ求メタル宣言ヲ爲スト同時ニ債権者ニ利益ナル留保ヲ爲シタル場合ニ於テハ債務者ハ保證ヲ立テタル旨又ハ供託ヲ爲シタル旨ヲ記載セル公正證書ヲ執行機關ニ提出シテ假執行ヲ妨クルコトヲ得ヘシト雖モ債権者ハ保證ヲ立テテ此障礙ヲ除クコトヲ得ヘシ而シテ債務者カ其ノ求メタル宣言ヲ得タルニ拘ラス保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲ササル限リハ債権者カ保證ヲ立テサルモ假執行ヲ爲スヲ得ヘキコト前述ノ説明ニ依リテ自ラ明ナリト謂フヘシ

第五百九條ノ場合ニ於テハ債務者ノ申立ニ依リ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲シテ假執行ヲ免ルルコトヲ債務者ニ許スヘカラサルモノトス蓋シ此規定ニ依レハ本來債務者ハ不服ノ申立ヲ爲スニ依リテ假執行ノ宣言ヲ避クルコトヲ得ヘク又債務者カ不服ノ申立ヲ爲スニ依リテ假執行ノ宣言ヲ避クルコトヲ得ヘキニ拘ラス不服ノ申立ヲ爲ササルトキハ假執行ノ宣言ヲ避クルニ付キ正當ノ利益ヲ有セサルモノト認ムヘキヲ以テナリ是レ亦第五百九條ノ位置

ニ依リテ自ラ明ナル所トス

第五百二條乃至第五百五條ニ掲ケタル假執行ニ關スル債權者又ハ債務者ノ申立ハ判決ニ接着スル口頭辯論ノ終結ニ至ルマテニ之ヲ爲スヘキモノトス蓋シ此等ノ規定ニ依ル假執行ニ付テノ裁判ハ判決ノ主文ニ之ヲ掲クヘキモノナルヲ以テナリ(五〇六、五〇七)若シ債權者カ此時期ニ至ルマテニ假執行ノ申立ヲ爲ササルトキハ假執行ノ宣言ヲ得ルニ由ナク唯強制執行ノ結果ヲ保全スルカ爲メニ假差押又ハ假處分ノ命令ヲ求ムルコトヲ得ルニ過キス(七三八、七五五)然レトモ訴訟カ故障ノ申立ニ依リ闕席前ノ程度ニ復シタル場合ニ於テハ債權者又ハ債務者ハ再開セル口頭辯論ニ於テ假執行ニ關スル申立ヲ爲スコトヲ得ヘク又訴訟カ控訴審ニ繫屬スルニ至リタル場合ニ於テハ債權者又ハ債務者ハ後ニ説明スル所ニ從ヒ控訴審ニ於テ第一審判決ニ關シ假執行ニ關スル申立ヲ追完スルコトヲ得ヘシ

假執行ニ關スル申立ハ受訴裁判所ニ之ヲ爲スヘキモノトス
當事者ハ第一審ニ於テ假執行ニ關スル申立ヲ爲スコトヲ得ルニ止ラス控訴審

ニ於テ第一審判決ニ關シテ此申立ヲ追完シ又ハ控訴審ノ判決ニ關シテ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ當事者カ控訴審ニ於テ第一審判決ニ關シ假執行ニ關スル申立ヲ追完スルコトヲ得ル所以ハ他ナシ當事者カ控訴審ニ於テ新ニ此申立ヲ爲スモ第四百十六條ニ所謂新ナル請求ヲ主張スルモノト謂フヘカラサルヲ以テナリ而シテ當事者カ控訴審ニ於テ第一審判決ニ關シ假執行ニ關スル申立ヲ追完スル場合ハ當事者ノ一方ニ敗訴ヲ言渡ス第一審判決ニ對シテ其一方カ控訴ヲ提起スルニ當リ其判決ニ關シ相手方カ附帶控訴ヲ以テ新ニ假執行ノ申立ヲ爲ス場合又ハ第一審ニ於テ敗訴ノ判決ヲ受ケタル當事者ノ一方カ其第一審判決ニ對シ控訴ヲ提起シテ此判決ニ關シ新ニ第五百四條又ハ第五百五條ニ掲クル假執行ニ關スル申立ヲ爲ス場合ニ外ナラス此等ノ場合ニ於テハ控訴裁判所ハ本案ノ裁判ヲ爲スニ先チ假執行ニ關スル申立ニ付キ裁判ヲ爲スコトヲ得ヘシ此裁判ハ判決ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノトス是レ後ニ説明スルカ如ク第五百七條ノ規定アルニ依リテ自ラ明ナル所ナリ控訴審ニ於テ本案ノ裁判ヲ爲スニ先チ第一審判決ノ假執行ヲ宣言スル判決ヲ爲シタル後ニ至リ第一審判決ヲ取消

シ又ハ之ヲ變更スル判決ヲ言渡シタルトキハ第一審判決ノ假執行ヲ宣言スル
控訴審ノ判決ハ當然其效力ヲ失フニ至ルモノトス(五一〇)

上告審ニ於テハ言渡ト共ニ確定セサル上告審ノ判決即チ其闕席判決ニ關シテ
假執行ニ關スル申立ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ控訴審ノ判決ニ關シテ此申立
ヲ追完スルコトヲ得ス蓋シ上告裁判所ハ控訴裁判所カ不當ニ法律ヲ適用シ又
ハ不當ニ之ヲ適用セサルカ爲メニ控訴審ノ判決カ法律ニ違背スル結果ヲ生シ
タルヤ否ヤヲ調査スヘキモノニシテ控訴審ニ於テ當事者ノ爲ササリ申立ニ
關シテハ上告裁判所ハ斯ル調査ヲ爲スニ由ナキヲ以テナリ然レトモ債權者カ
第五百九條ノ規定ニ從ヒ上告審ニ於テ控訴審ノ判決ニ關シ新ニ假執行ノ申立
ヲ爲スコトヲ得ルハ全ク別問題トス

當事者ノ一方カ口頭辯論期日ニ闕席シタル場合ニ於テ相手方カ假執行ニ關ス
ル申立ヲ豫メ之ニ通知セサリシトキハ闕席判決ニ於テ其申立ニ付テノ裁判ヲ
爲スコトヲ得サルモノトス(二五二)

裁判所カ以上述ヘタル所ニ從ヒ假執行ニ付テノ裁判ヲ爲スニ當リテハ之ヲ判

決ノ主文ニ掲クヘキモノトス(五〇七)故ニ以上述ヘタル所ニ從ヒテ爲ス假執行ニ
付テノ裁判ハ判決ニ於テ之ヲ爲スヘキモノト謂フヘシ所謂假執行ニ付テノ裁判
トハ假執行ノ許否ニ關スル裁判ヲ指スモノトス故ニ假執行ニ付テノ裁判ハ假執
行ノ宣言ヲ爲ス裁判假執行ヲ爲スヘカラサル旨ヲ宣言スル裁判假執行ノ申立ヲ
却下スル裁判又ハ條件附ノ假執行ノ宣言ヲ爲ス裁判ナリ(五〇三至乃五〇五)』
裁判所カ判決ヲ爲スニ當リ職權ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキ場合ニ於テ之
ヲ爲サス又ハ假執行ノ申立ヲ看過シタルトキハ第二百四十二條ニ所謂判決ノ
脱漏アルモノニ非スト雖モ債權者ハ第二百四十二條及ヒ第二百四十三條ノ規
定ニ從ヒテ判決ノ補充ヲ申立ツルコトヲ得ヘシ(五〇八)之ニ反シテ裁判所カ假
執行ニ關スル債務者ノ申立ヲ看過シタルトキト雖モ債務者ハ判決ノ補充ヲ申
立ツルコトヲ得ス蓋シ債務者ノ斯ル申立ニ關シテ判決ヲ補充スルコトハ其實
判決ノ變更ナルヲ以テナリ然レトモ債務者ハ此場合ニ於テ上訴又ハ故障ノ申
立ニ依リ判決ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ヘシ債權者カ判決ノ補充ヲ申立ツヘキ
期間ヲ徒過シタルトキハ其補充ノ申立ヲ爲スコトヲ得サルニ至ルモノナリト

雖モ判決ニ對シ故障ノ申立又ハ控訴アリタル場合ニ於テハ故障ノ申立ニ關スル口頭辯論ニ際シテ更ニ假執行ノ申立ヲ爲シ又ハ控訴審ニ於テ口頭辯論ニ際シ更ニ其申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ債權者ハ裁判所カ假執行ノ申立ヲ看過シタル點ニ付キ上訴ヲ以テ判決ニ對シ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス蓋シ當事者ハ下級裁判所カ裁判ヲ爲シタル事項ニ關シテノミ上訴ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ルモノナルヲ以テナリ

判決ニ於テ爲シタル假執行ニ付テノ裁判ニ對シテハ一般ノ原則ニ從ヒ故障ノ申立又ハ上訴ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘシ然レトモ第二審裁判所カ判決ニ於テ第一審又ハ第二審ノ判決ノ假執行ニ付キ爲シタル裁判ニ對シテハ上告ヲ以テ不服ヲ申立ルコトヲ得ス是レ假執行ニ關スル當事者ノ利害關係ハ一時的ナルカ爲メ立法者カ其裁判ニ對シ上告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ許ササルヲ至當ト認メタルニ依ルモノナリ(五一、一、三)而シテ第二審裁判所カ判決ニ於テ假執行ニ付キ爲シタル裁判ハ假執行ニ付テノ裁判ヲ包含スル第一審判決ニ對スル控訴ニ基キ爲シタルモノナルト斯ル裁判ヲ包含セサル第一審判決ニ

對スル控訴ニ基キ始テ爲シタルモノナルトヲ問ハス又本案ノ裁判ト同時ニ爲シタルモノナルト之ニ先チ爲シタルモノナルトヲ問ハスシテ前述ノ如ク上告ヲ以テ之ニ對シ不服ヲ申立ツルコトヲ得サルモノトス(五一、一、一)是レ法文ノ意義及ヒ第二審ニ於テ判決ヲ以テ假執行ニ付キ爲シタル裁判ニ對シ上告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ許ササル立法上ノ理由ニ依リテ明ナル所ナリ第二審裁判所カ判決ニ於テ假執行ニ付キ爲シタル裁判ニ對シテハ上告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得サルカ爲メ其裁判ハ言渡ト共ニ確定スルカ故ニ直ニ之ヲ執行スルコトヲ得ヘシ

右ニ述ヘタル所ニ依レハ第二審裁判所カ判決ニ於テ假執行ニ付キ爲シタル裁判ニ對シ上告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得スト雖モ第一審裁判所カ判決ニ於テ假執行ニ付キ爲シタル裁判ニ對シテハ控訴ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ルモノトス而シテ當事者カ第一審判決ニ對シ控訴ヲ提起スルニ當リテハ第一審判決ニ包含スル假執行ニ付テノ裁判及ヒ本案ノ裁判ニ對シテ同時ニ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘク又ハ其判決ニ包含スル假執行ニ付テノ裁判ノミニ對

シテ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘシ第一審判決ニ對シ控訴ヲ提起スル當事者カ其判決ニ包含スル假執行ニ付テノ裁判ノミニ對シ不服ヲ申立テタルトキハ是レ即チ第一審判決ニ對スル不服ノ程度ヲ此裁判ノ點ノミニ限リタルモノトス債權者カ假執行ニ付テノ裁判ニ對シ不服ノ申立ヲ爲スハ裁判所カ假執行ヲ許サス又ハ條件附ニテ假執行ヲ許シタル場合ニ之ヲ見ルモノニシテ債務者カ此裁判ニ對シ不服ノ申立ヲ爲スハ裁判所カ假執行ノ宣言ヲ爲シ又ハ假執行ニ條件ヲ附セサル場合ニ之ヲ見ルモノナリ加之ナラス債權者又ハ債務者カ裁判所ノ定メタル保證ノ額ヲ不當トスルトキハ亦假執行ニ付テノ裁判ニ對シ不服ヲ申立ツルコトアリト謂フヘシ

當事者カ第一審判決ニ對スル控訴ヲ以テ其判決ニ包含スル本案ノ裁判及ヒ假執行ニ付テノ裁判ニ對シ同時ニ不服ヲ申立テタルトキハ第二審ニ於テ申立ニ依リ先ツ假執行ニ付テノ辯論及ヒ裁判ヲ爲スヘキモノトス蓋シ當事者ハ何レモ自己ニ不利益ナル假執行ニ付テノ裁判ヲ取消シ又ハ變更スル第二審判決ヲ速ニ得ルニ付キ利益ヲ有スルヲ以テナリ(五一、一)

右ニ述ヘタル所ニ從ヒ第二審ニ於テ本案ノ辯論及ヒ裁判ヲ爲スニ先チ假執行ニ付テノ辯論及ヒ裁判ヲ爲スニハ強制執行ノ開始セルト否トヲ問ハサルナリ而シテ第二審ニ於テ先ツ假執行ニ付テノ辯論及ヒ裁判ヲ爲スニ當リテハ本案ノ裁判ノ當否ヲ調査スヘカラサルモノニシテ假ニ之ヲ正當ト認ムヘキモノトス

當事者カ第一審判決ニ對スル控訴ヲ以テ其判決ニ包含スル本案ノ裁判及ヒ假執行ニ付テノ裁判ニ對シ同時ニ不服ヲ申立テタル場合ニ於テ先ツ假執行ニ付キ爲ス控訴審ノ裁判ハ控訴ニ關スルモノニ外ナラサルカ故ニ判決ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノトス此判決ハ一分判決ナリ又此判決ハ直ニ之ヲ執行スルコトヲ得ヘシ蓋シ控訴審ニ於テ假執行ニ付キ爲シタル判決ニ對シテハ上告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得サルカ爲メ其判決ハ言渡ト共ニ確定スルモノナルヲ以テナリ然レトモ控訴審ニ於テ第一審判決ニ包含スル本案ノ裁判ヲ取消ス判決ヲ言渡ストキハ此判決ニ先チ判決ヲ以テ第一審判決ニ付キ爲シタル假執行ノ宣言ハ當然其效力ヲ失フニ至ルモノトス(五一〇)

當事者カ控訴ヲ以テ本案ノ裁判及ヒ假執行ニ付テノ裁判ニ對シ同時ニ不服ヲ申立テタル場合又ハ控訴ヲ以テ假執行ニ付テノ裁判ノミニ對シ不服ヲ申立テタル場合ニ於テハ口頭辯論ノ延期ニ關スル第四百十條ノ規定ヲ適用スヘカラサルモノトス是レ當事者ハ假執行ニ付テノ裁判ヲ取消シ又ハ變更スル裁判ヲ速ニ得ルニ付キ利益ヲ有スルカ爲メニ外ナラサルナリ(五一、二)

假執行ノ宣言アル判決ハ當事者カ之ニ對シテ故障ノ申立又ハ上訴ヲ爲シタルトキト雖モ其執行力ヲ失ハサルナリ故ニ此場合ニ於テモ尙ホ之ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ此場合ニ於テハ第五百條ノ規定ヲ準用スヘキモノトス是レ第五百十二條ノ規定スル所ナリ故ニ假執行ニ關シテハ債務者ノ利益ヲ維持スヘキ第五百四條及ヒ第五百五條ノ規定アル外尙ホ其利益ヲ維持スヘキ第五百十二條ノ規定アリト知ルヘシ今前述ノ場合ニ於テ第五百條ノ規定ヲ準用スヘキモノト定メタル所以ハ他ナシ此場合ニ於テハ假執行ノ宣言アル判決ヲ取消サレ又ハ變更セラルルニ至ルコトアルヲ以テナリ而シテ此場合ニ於テハ第五百條ノ規定ヲ準用スヘキモノナルカ故ニ故障ノ申立又ハ上訴

ヲ受ケタル裁判所ハ債務者ノ申立ニ依リ強制執行ニ關シテ第五百條ニ掲グル假ノ處置ヲ命スルコトヲ得ヘシ強制執行ニ關シテ假ノ處置ヲ命スル此裁判ハ假執行ノ宣言アル判決ノ確定ニ依リ當然其效力ヲ失フモノトス蓋シ此裁判ハ假執行ノ宣言アルカ爲メニ判決ノ未タ確定セサルニ拘ラス之ヲ執行スルニ依リテ債務者ノ被ルヘキ不利益ヲ除クカ爲メノミニ存スルモノナルヲ以テナリ又此裁判ハ假執行ノ宣言アル裁判又ハ假執行ノ宣言カ取消サルルトキハ第五百十條ノ規定アルカ爲メ其目的ヲ失ヒ當然其效力ノ消滅ヲ來スニ至ルモノナリ

第一審又ハ第二審ノ判決ニシテ假執行ノ宣言ナカリシモノ又ハ條件附ノ假執行ノ宣言アリタルモノハ上訴ヲ以テ不服ヲ申立テラレサル部分ニ限リ口頭辯論ノ進行中ニ爲シタル當事者ノ申立ニ依リ上級審ニ於テ其判決ノ假執行ヲ宣言スヘキモノトス是レ第五百九條ノ規定スル所ナリ凡ソ第一審又ハ第二審ノ判決ニ對シテ上訴カ提起セラレタルトキハ其判決ノ全部確定セサル結果ヲ生スルモノナルカ故ニ其判決ハ不服ヲ申立テラレサル部分ニ關シテモ亦確定セ

サルモノト謂ハサルヘカラス故ニ其部分ニ付キ判決ノ執行ヲ爲サントセハ其部分ノ假執行ノ宣言アルコトヲ必要トス而シテ當事者ノ一方カ上級審ノ口頭辯論ニ於テ下級審ノ判決ノ或部分ニ對シ不服ヲ申立テサルトキハ其部分ノ確定セサルニ拘ラス相手方ノ申立ニ依リ其部分ノ假執行ノ宣言ヲ爲スヲ至當トスルモノト謂フヘシ今第一審又ハ第二審ニ於テ假執行ノ宣言ヲ爲サ、ルハ裁判所カ職權ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキニ拘ラス之ヲ爲サ、ル場合又ハ裁判所カ假執行ノ申立ヲ看過シ若クハ之ヲ却下シタル場合又ハ債權者カ此申立ヲ爲サ、リシ場合ニ於テ之ヲ見ルモノトス又債權者カ保證ヲ立ツル限リハ假執行ヲ爲スコトヲ得ヘキ旨ヲ宣言スルハ假執行ノ宣言ニ停止條件ヲ附シタルモノニシテ債務者カ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲シテ假執行ヲ免ルルコトヲ得ヘキ旨ヲ定メテ假執行ノ宣言ヲ爲スハ其宣言ニ解除條件ヲ附シタルモノナルカ故ニ此等ノ假執行ノ宣言ハ條件附ノ假執行ノ宣言ナリト謂フヘシ而シテ第一審又ハ第二審ニ於テ假執行ノ宣言ヲ爲ササル場合ニ於テハ前述ノ規定ニ從ヒ上級審ニ於テ始テ其宣言ヲ爲シ又第一審又ハ第二審ニ於テ條件附ノ假執行ノ

宣言ヲ爲シタル場合ニ於テハ此規定ニ從ヒ上級審ニ於テ無條件ニテ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノトス上級審ニ於テ前述ノ規定ニ從ヒ假執行ノ宣言ヲ爲シタル後ト雖モ當事者ハ判決ニ對シ前ニ不服ヲ申立テサリシ部分ニ付キ不服ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ而シテ斯ル不服ノ申立アリタル場合ニ於テモ上級審ニ於テハ既ニ爲シタル假執行ノ宣言ヲ取消スヘキモノニ非ス然レトモ此場合ニ於テハ第五百十二條ノ場合ニ準シテ第五百條ノ規定ヲ準用スヘキモノト謂フヘシ故ニ債務者ハ此等ノ宣言ヲ爲ス裁判ニ對シ後ニ説明スル所ニ從ヒ不服ノ申立ヲ爲スコトヲ得サルニ拘ラス第五百條ニ規定スル裁判ヲ求メ以テ其利益ヲ維持スルコトヲ得ルモノトス

第五百九條ノ規定ニ基ク假執行ノ申立ニ付テハ口頭辯論ヲ經タル後裁判ヲ爲スヘキモノトス是レ此申立ハ口頭辯論ニ於テ爲スモノタルニ依リ自ラ明ナル所ナリ此裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノトス蓋シ此裁判ハ訴訟ノ目的物ニ關スルモノニ非サルノミナラス法律ハ第五百七條ニ於ケルカ如ク判決ヲ以テ裁判ヲ爲スヘキ旨ヲ特ニ規定セサルヲ以テナリ又此裁判ハ口頭辯論ノ終結

ヲ待タスシテ之ヲ爲スヘキモノトス蓋シ此裁判タルヤ債權者カ假執行ノ申立
 ヲ爲シタル時ノ事情ニ從ヒテ之ヲ爲スヘキモノナルヲ以テナリ又此裁判ニ對
 シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス是レ此裁判ニ對スル不服ノ申立ヲ許シタル
 モノト認ムヘキ何等ノ規定ナキニ依リテ明ナル所ナリ

本案ノ裁判又ハ假執行ノ宣言ヲ取消(廢棄)若クハ破毀シ又ハ變更スル判決ヲ言
 渡ストキハ假執行ノ宣言ハ本案ノ裁判又ハ假執行ノ宣言カ取消サレ又ハ變更
 セラレル限度ニ於テ其效力ヲ失フモノトス本案ノ裁判又ハ假執行ノ宣言ヲ取
 消シ又ハ變更スル判決ノ言渡ニ依リテ假執行ノ宣言カ其效力ヲ失フハ當事者
 カ假執行ノ宣言アル本案ノ判決又ハ假執行ノ宣言ヲ爲ス判決ニ對シ故障ノ申
 立又ハ上訴ヲ爲シタル場合ニ於テ之ヲ見ルモノトス茲ニ所謂本案トハ假執行
 ニ關セサル一切ノ問題ヲ指スモノトス又無條件ノ假執行ノ宣言ヲ條件附ノ假
 執行ノ宣言ニ變更シ又ハ假執行ノ宣言ヲ判決ノ或部分ニ制限スルカ如キハ假
 執行ノ宣言ノ變更ナリト知ルヘシ此ノ如ク本案ノ裁判又ハ假執行ノ宣言ヲ取
 消シ又ハ變更スル判決ノ言渡アルトキハ假執行ノ宣言ハ其效力ヲ失フモノナ

ルカ故ニ此判決ノ確定ヲ待タス且ツ此判決ノ假執行ノ宣言ナクシテ假執行ノ
 宣言カ其效力ヲ失フニ至ル結果ヲ生スルモノト謂フヘシ

假執行ノ宣言カ其效力ヲ失ヒタルトキハ判決ノ確定前ニ於ケル其執行ハ許ス
 ヘカラサルニ至ルモノトス然レトモ債務者カ本案ノ裁判又ハ假執行ノ宣言ヲ
 取消シ又ハ變更スル判決ノ正本ヲ執行機關ニ提出シタルトキニ限り強制執行
 ノ停止若クハ制限及ヒ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ヲ爲スヘキモノナリ(五五
 〇・五五一)

假執行ノ宣言アル本案ノ判決ヲ取消シ又ハ變更スル判決ヲ爲ストキハ其本案
 ノ判決ニ基キテ被告カ辨濟シタルモノヲ返還スヘキコトヲ被告ノ申立ニ依リ
 判決ヲ以テ原告ニ言渡スヘキモノナリ(五一〇・一一)

被告ノ前述ノ申立ハ假執行ノ宣言アル本案ノ判決ヲ取消シ又ハ變更スル判決
 ニ接着スル口頭辯論ノ終結ニ至ルマテニ之ヲ爲スヘキモノトス蓋シ此申立ハ
 判決ヲ受クヘキ事項ノ申立ナルカ故ニ口頭辯論ノ進行中ニ爲スヘキモノナル
 ヲ以テナリ

被告カ假執行ノ宣言アル本案ノ判決ニ基キテ辨濟ヲ爲シタル限りハ強制執行ニ依リテ辨濟セルト任意ニ辨濟セルトヲ問ハス其ノ辨濟シタルモノノ返還ヲ原告ニ言渡スコトヲ申立ツルヲ得ヘシ又上級裁判所カ上訴ニ基キテ假執行ノ宣言アル判決ヲ取消シ又ハ變更スル判決ヲ爲ス場合ニ於テモ被告ノ申立ニ基キテ此言渡ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ被告ノ申立ハ訴訟カ上級審ニ繫屬スル場合ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得ルモノト謂フヘシ從テ上告審ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス然レトモ上告裁判所カ被告ノ申立ニ關スル裁判ヲ爲スカ爲メニ事實ヲ確定スルノ必要アルトキハ本案ノ判決ニ代ルヘキ新ナル裁判ヲ自ラ爲ス場合ニ於テモ控訴裁判所ヲシテ其申立ニ關スル裁判ヲ爲サシムルカ爲メ訴訟事件ヲ之ニ差戻ササルヘカラス(四四八、四五一)

被告ノ前述ノ申立ハ其性質上一ノ反訴ナリト雖モ判決ノ假執行ニ伴フ弊害ヲ少カラシメンカ爲メ反訴ノ方式ニ依ラス且ツ本訴訟カ如何ナル審級ノ裁判所ニ繫屬スルヲ問ハス之ヲ爲スコトヲ許シタルモノトス

被告カ現ニ繫屬スル訴訟ニ於テ前述ノ申立ヲ爲ササルトキハ新ニ訴ヲ提起ス

ルノ必要アリト謂フヘシ

本案ノ判決ニ基キテ被告ノ辨濟シタルモノノ返還ヲ其申立ニ依リ原告ニ言渡ス裁判ハ本案ノ判決ヲ取消シ若クハ變更スル判決ニ於テ之ヲ爲シ又ハ其判決後ニ於ケル新ナル判決ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ又此裁判ハ一般ノ原則ニ從ヒ其ノ確定シタルトキ又ハ其假執行ノ宣言アルトキニ限り之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス

假執行ハ取消サレ又ハ變更セラルルコトアルヘキ未確定ノ判決ヲ基礎トスルモノナリト雖モ債權者ハ判決ノ取消又ハ變更ニ依リ假執行ノ宣言カ其效力ヲ失フニ至リタルノ故ヲ以テ當然債務者ニ對シ假執行ニ依ル損害ノ賠償ノ責ニ任スルモノニ非ス唯故意又ハ過失アル場合ニ限り其責ニ任スルモノナリ

假執行ノ宣言ハ判決ノミニ關シ之ヲ爲スヘキモノニシテ其他ノ裁判ニ關シ之ヲ爲スヘキモノニ非ス蓋シ法律ハ決定又ハ命令ノ假執行ヲ認メサルノミナラス決定又ハ命令ハ當事者カ抗告ヲ以テ之ニ對スル不服ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テモ本來直ニ執行セラルルコトヲ得ヘキモノナルヲ以テナリ(四六〇)

第二項 判決以外ノ執行名義

判決ニ非スシテ強制執行ノ基礎タル執行名義タルヲ得ルモノハ左ノ如シ(五五九)
 (一)抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘキ裁判

茲ニ所謂抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘキ裁判トハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒ本來抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘキ裁判ヲ指スモノトス故ニ或裁判カ本來抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘキモノナルトキハ其裁判ハ之ニ對シテ最早抗告ヲ爲スコトヲ得サルニ至リタルトキ又ハ新ナル獨立ノ抗告理由ヲ生セサル抗告裁判所ノ裁判ナルカ爲メ若クハ大審院ノ裁判ナルカ爲メ之ニ對シテ更ニ抗告ヲ爲スコトヲ得サレドキト雖モ茲ニ所謂抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘキ裁判ナリト知ルヘシ
 抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘキ裁判ト雖モ請求ノ辨濟ヲ命スルモノニ非サレハ強制執行ノ基礎タル執行名義タルコトヲ得ス蓋シ強制執行ハ債權者ノ請求ヲ辨濟スルカ爲メニ之ヲ爲スモノナルヲ以テナリ故ニ斯ル裁

判ニシテ強制執行ノ基礎タル執行名義タルコトヲ得ルモノハ費用額確定決定(八四・八五)又ハ證人若クハ鑑定人ニ訴訟費用ノ賠償ヲ言渡ス決定(二九四・三〇二・三二八)又ハ第七百三十四條ノ決定等ナリト謂フヘシ(五五八・七三五)
 抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘキ裁判ハ直ニ之ヲ執行スコトヲ得ルモノトス故ニ其裁判ハ之ニ對スル即時抗告ノ期間カ未タ滿了セサルトキ又ハ之ニ對スル抗告ノ提起セラレタルトキト雖モ之ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ抗告ヲ以テ不服ヲ申立テラレタル裁判ヲ爲シタル裁判長若クハ裁判所カ抗告ニ關スル裁判アルマテ其執行中止ヲ命シ又ハ抗告裁判所カ抗告ニ關スル裁判ヲ爲ス前ニ抗告ヲ以テ不服ヲ申立テラレタル裁判ノ執行中止ヲ命シタルトキ又ハ抗告ノ提起カ例外トシテ執行停止ノ效力ヲ生シタルトキハ抗告ヲ以テ不服ヲ申立テラレタル裁判ニ基キテ直ニ強制執行ヲ爲スコトヲ得ス(四六〇)唯此等ノ場合ニ於テモ執行機關ハ強制執行ノ一時ノ停止ヲ命スル裁判ノ正本ノ提出アリタルトキニ限り強制執行ヲ一時停止スヘキモノトス(五五〇)二號故ニ抗告ノ提起カ執行停止ノ效力ヲ生スル

場合ニ於テハ抗告ノ提起ヲ受ケタル裁判所ハ職權ヲ以テ又ハ申立ニ依リ強制執行ノ一時ノ停止ヲ命スル裁判ヲ爲スヘキモノト謂フヘシ

(二)執行命令

督促手續ニ於テ區裁判所ノ發シタル執行命令ハ假執行ノ宣言ヲ附シタル闕席判決ト同一ノ效力ヲ有スルモノナルカ故ニ執行名義ト爲ルモノトス(三九四)

(三)訴ノ提起後ニ受訴裁判所ニ於テ又ハ受命判事若クハ受託判事ノ面前ニ於テ爲シタル和解及ヒ第三百八十一條ノ規定ニ從ヒ訴ノ提起前ニ區裁判所ニ於テ爲シタル和解

此等ノ和解ハ之ニ基キテ當事者ノ一方カ他ノ一方ニ請求ノ辨濟ヲ爲スヘキ限リハ強制執行ノ基礎タル執行名義ト爲ルモノナリ而シテ此等ノ和解ニ付キテハ調書ヲ作ルモノナルカ故ニ此等ノ和解ハ他ノ執行名義ト同ク公正證書ノ形式ヲ有スルモノトス今此等ノ和解ヲ以テ執行名義タルコトヲ得ルモノト爲シ之ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得セシムルハ和解ニ依リテ訴訟

ヲ終結シ又ハ之ヲ避ケントスル當事者ノ意思ニ適スルモノト謂フヘシ

(四)公證人カ其權限内ニ於テ成規ノ方式ニ依リ作りタル證書但シ一定ノ金額ノ支拂又ハ其他ノ代替物若クハ有價證券ノ一定ノ數量ノ給付ヲ目的物トスル請求ニ關シ作りタル證書ニシテ債務者カ直ニ強制執行ヲ受クヘキ旨ノ記載アルモノニ限ルモノトス

執行名義タル和解又ハ公證人ノ作成セル公正證書ニ掲クル請求ハ或日時又ハ停止條件若クハ期限タル事實又ハ其他ノ事實ノ到來ニ依リテ辨濟セララルニ至ルヘキ請求タルコトアリ斯ル場合ニ於テハ後ニ説明スルカ如ク請求カ現ニ辨濟セララルヘキ時ニ至リテ執行權ノ發生ヲ來スモノトス

執行名義タル和解ハ私法上其效力ヲ生スルヲ得サルコトアリ而シテ執行名義タル公證人ノ作成セル公正證書ハ私法上效力ヲ生スルコトヲ得サル契約ニ關スルコトアリ又執行名義タル和解又ハ執行名義タル公證人ノ作成セル公正證書ニ記載セル契約ハ私法ノ規定ニ從ヒテ取消サルコトアリ此等ノ場合ニ於テモ此等ノ執行名義ニ基キテ生シタル執行權ハ曾テ述ヘタル所ニ從ヒテ存在

スルモノトス然レトモ債務者ハ執行異議ノ訴ヲ提起シテ斯ル事情ヲ主張シ以テ執行權ノ消滅ヲ來サシムルコトヲ得ヘシ
 強制執行ノ基礎タル判決以外ノ執行名義ニハ判決ニ基ク強制執行ニ關スル第五百十六條乃至第五百五十八條ノ規定ヲ準用スヘキモノトス但シ第五百六十一條及ヒ第五百六十二條ノ規定ニ依リテ差異ノ生スルトキハ此限ニ在ラス是レ何レモ後ニ説明スル所ナリ

第二款 他ノ實質的條件

執行權ハ執行名義アルトキハ毎ニ存在スルモノト謂フヘカラス而シテ執行名義アルニ拘ラス執行權カ存在セサルトキハ強制執行ハ實質上許スヘカラサルモノトス故ニ執行名義ニ基キテ執行權ノ存在スルニ必要ナル條件ハ畢竟強制執行ノ實質的條件ニ屬スルモノト謂フヘシ
 執行名義ノ趣旨ニ依レハ請求カ現ニ辨濟セラルヘキトキニ限り執行權ノ發生ヲ來スモノトス蓋シ強制執行ヲ求ムル權利タル執行權ハ執行名義ノ趣旨ニ從

ヒ存在スヘキモノニシテ強制執行ハ債權者ノ請求ヲ辨濟スルカ爲メニ之ヲ爲スモノナルヲ以テナリ故ニ執行名義ノ趣旨ニ依レハ請求カ或日時又ハ停止條件若クハ期限タル事實又ハ其他ノ事實(例ヘハ債權者カ反對給付ヲ爲シタルコト)ノ到來シタル時ニ至リテ辨濟セラルヘキ場合ニ於テハ其日時又ハ其事實ノ未タ到來セサル間ハ執行名義アルニ拘ラス未タ執行權ノ發生ヲ來ササルモノトス之ヲ要スルニ此場合ニ於テハ其日時又ハ其事實ノ到來シタル時ニ至リ始テ執行權ノ發生ヲ來スモノニシテ其ノ到來シタルトキニ限り強制執行ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ(五一八、二五二八、二五二九、一)

或日時又ハ或事實ノ到來シタル時ニ至リテ辨濟セラルヘキ請求ニ關シテ存在スル強制執行ノ基礎タル執行名義ハ主トシテ第五百五十九條第三號及ヒ第四號ニ掲クル和解並ニ同條第五號ニ掲クル公正證書トス蓋シ強制執行ノ基礎タル執行名義トシテ請求ノ辨濟ヲ命スル裁判ハ請求カ現ニ辨濟セラルヘキ場合ニ於テ之ヲ爲スヲ通常トスルヲ以テナリ今雙務契約ノ當事者ノ一方カ反對給付ニ對シテ請求ノ辨濟ヲ爲スヘキコトヲ相手方ニ言渡ス判決ヲ求メタル場合

ニ於テ裁判所カ斯ル判決ヲ爲シタルトキハ相手方ハ此判決ノ趣旨ニ從ヒ反對給付ニ對シテノミ請求ノ辨濟ヲ爲スコトヲ要スルモノニシテ直ニ其辨濟ヲ爲スコトヲ要セサルモノナルカ故ニ此判決ノ如キハ現ニ辨濟セラルヘキ請求ニ關スルモノニ非スト知ルヘシ

執行名義ノ趣旨ニ依レハ請求カ現ニ辨濟セラルヘキモノナルニ拘ラス現ニ其辨濟ヲ爲スコトヲ要セサルニ至ル場合ナキニ非ス例ヘハ執行名義ノ成立後ニ債務者カ辨濟ノ猶豫ヲ得タル場合ニ於ケルカ如シ斯ル場合ニ於テモ既ニ述ヘタルカ如ク債權者ハ執行名義ノ趣旨ニ從ヒテ執行權ヲ有スルモノナルカ故ニ債務者ハ執行異議ノ訴ヲ提起シテ斯ル事情ヲ主張シ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スルニ依リテ執行權ヲ消滅セシムル判決ヲ求メサルヘカラサルナリ

債權者カ保證ヲ立テタルトキニ限り判決ノ執行ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ債權者カ保證ヲ立ツルコトハ執行權行使ノ條件ニシテ執行權發生ノ條件ニ非サルカ故ニ債權者カ保證ヲ立テサルモ執行權ノ發生ヲ來ス妨ト爲ラサルモノト謂フヘシ

第三節 形式的條件

第一款 執行力アル正本

第一項 汎論

強制執行ノ形式的條件ハ執行權行使ノ條件ニ外ナラス而シテ強制執行ノ形式的條件カ存在セサルトキハ強制執行ハ形式上許スヘカラサルモノトス

凡ソ強制執行ヲ爲スニハ執行權カ債權者ノ利益ノ爲メ債務者ノ不利益ニ於テ存在スルコトヲ要スルモノニシテ其存在ニハ一定ノ條件ヲ必要トスルカ故ニ執行機關カ強制執行ヲ爲スニ當リテハ執行權ノ存在ニ必要ナル條件ノ存在カ明白ナラサルヘカラス然レトモ執行機關ハ此條件ノ存否ヲ調査スルニ通常不適當ナルノミナラス此條件ノ存否ニ關スル調査ニ付キ執行機關ノ事務ヲ簡易ナラシメ以テ迅速ニ強制執行ニ著手スルコトヲ得セシムル必要アルカ爲メ執行權ノ存在ニ必要ナル條件ノ存否ニ關スル調査ハ主トシテ之ヲ執行機關以外

ノ機關ニ委ネ執行機關ヲシテ執行權ノ存在ニ必要ナル或條件ノミノ存否ヲ調査セシムルコトト爲セリ而シテ執行機關ノ調査スヘキ執行權ノ存在ニ必要ナル條件ハ其調査ノ極メテ容易ナルモノトス即チ請求ノ辨濟期タル或日時ノ到來シタルコトハ執行權存在ノ一條件トシテ執行機關ノ調査スヘキ所ニ係ルモノナリ(五二九)債權者カ執行ノ前ニ其條件タル保證ヲ立テタルコトハ執行機關ノ調査スヘキ所ニ係ルモノナリト雖モ此事情ハ執行權行使ノ一條件ニ外ナラサルカ故ニ執行機關ハ執行權存在ノ一條件トシテ之ヲ調査スヘキモノト謂フヲ得サルナリ(五一八、二)

執行機關以外ノ機關ニシテ執行權ノ存在ニ必要ナル條件ノ存否ヲ調査スヘキモノハ裁判所書記及ヒ裁判長又ハ區裁判所ノ單獨判事ナリ即チ執行名義ノ存在ハ裁判所書記之ヲ調査スヘキモノナリト雖モ執行權ノ存在ニ必要ナル其他ノ條件ニシテ執行機關以外ノ機關ノ調査スヘキ所ニ係ルモノハ總テ裁判長又ハ區裁判所ノ單獨判事ノ調査スヘキモノトス是レ斯ル條件ノ存否カ問題ト爲ル場合ニ於テハ裁判所書記ハ裁判長又ハ區裁判所ノ單獨判事ノ命アルトキニ

限り執行力アル正本ヲ付與スルコトヲ得ルニ依リテ明ナル所ナリ而シテ裁判長又ハ區裁判所ノ單獨判事カ斯ル條件ノ存否ヲ調査スルニ當リテ斟酌スルコトヲ得ヘキ證據方法ハ債權者ノ提出スル證明書ノミニ限ルモノトス是レ其調査ノ手續ヲ簡易ナラシムル主意ニ出テタルモノナリ若シ債權者カ他ノ證據方法ヲ以テ斯ル條件ノ存在ヲ證明セントセハ執行文付與ノ訴ヲ提起セサルヘカラサルナリ(五一八、五一九、五二〇、五二一、五六〇、一〇七四頁參照)

裁判長又ハ區裁判所ノ單獨判事カ前述ノ條件ノ調査ヲ爲ス場合ニ於テモ執行力アル正本ヲ付與スル者ハ毎ニ裁判所書記ナルコトハ後ニ説明スルカ如シ(五一六、二、五六〇)

右ニ述ヘタル所ニ反シ公證人ノ作成セル公正證書カ執行名義タル場合ニ於テハ執行權ノ存在ニ必要ナル條件ノ存否ハ公證人之ヲ調査シタル後自ラ其執行力アル正本ヲ付與スヘキモノトス(五六二、一)

執行機關以外ノ機關カ執行權ノ存在ニ必要ナル條件ノ存否ヲ調査スヘキ場合ニ於テハ其機關カ斯ル條件ノ存否ヲ調査シタル結果ニ基キテ其條件ノ存在ヲ

證明シタルトキニ非サレハ債權者ハ執行權ヲ行使スルコトヲ得サルモノニシテ強制執行ハ形式上許スヘカラサルモノトス果シテ然ラハ執行權ノ存在ニ必要ナル條件ノ存否ニ關スル調査カ執行機關以外ノ機關ノ權限ニ屬スル場合ニ於テハ其條件ノ存在ニ關スル證明ハ強制執行ノ形式的條件ニ屬スルモノト謂フヘシ

執行權ノ存在ニ必要ナル或條件ノ存在ニ關スル證明ハ執行名義ノ正本ニ附記スル執行文ヲ以テ之ヲ爲スヘキモノトス所謂執行文ハ強制執行又ハ其他ノ執行ニ必要ナル或條件ノ存在ニ關スル證明ニ外ナラサルナリ

強制執行又ハ其他ノ執行ノ基礎タル裁判又ハ其他ノ公正證書ノ正本ニシテ執行文ヲ附記シタルモノ即チ執行名義ノ正本ニシテ執行文ヲ附記シタルモノハ是レ即チ所謂執行力アル正本ナリ故ニ執行權ノ存在ニ必要ナル條件ノ存否ニ關スル調査カ執行機關以外ノ機關ノ權限ニ屬スル場合ニ於テハ強制執行ノ基礎タル執行名義ノ執行力アル正本ハ強制執行ノ形式的條件ニ屬スルモノニシテ其正本ニ基キ強制執行ヲ爲スヘキモノトス(五一六五六〇)從テ此場合ニ於テ

ハ債權者カ強制執行ノ基礎タル執行名義ノ執行力アル正本ノ交付ヲ得テ之ヲ執行機關ニ提出スルニ非サレハ強制執行ヲ爲スヘカラサルモノナリ然レトモ強制執行ノ開始後ニ債務者カ死亡シ又ハ戶主權ヲ喪失シタル場合ニ於テ遺産又ハ債務者カ戶主權ヲ喪失セル際ニ有セシ財産ニ對シ強制執行ヲ續行スルニハ其一般ノ承繼人ニ對シテ付與シタル執行力アル正本ノ存在スルコトヲ必要トセス蓋シ此場合ニ於テハ遺産又ハ斯ル財産ニ對シテ直ニ強制執行ヲ續行スルコトヲ得ヘキモノナルヲ以テナリ(五五二、一、五五三)

執行機關カ執行權ノ存在ニ必要ナル或條件ヲ調査スヘキ場合ニ於テハ執行力アル正本ヲ付與スヘキ者ハ執行權ノ存在ニ必要ナル其他ノ條件ノミノ存否ヲ調査シタル結果ニ基キテ執行力アル正本ヲ債權者ニ付與スルモノナルカ故ニ此場合ニ於テハ執行力アル正本カ存在スルモ毎ニ執行權ノ存在スルモノト認ムルコトヲ得ス從テ此場合ニ於テハ執行力アル正本カ存在スルニ拘ラス強制執行ヲ爲スヲ得サルコトアリト知ルヘシ(五二九、一)

執行文ハ強制執行又ハ其他ノ執行ニ必要ナル或條件ノ存在ニ關スル證明ナル

カ故ニ執行力アル正本ニ關スル本節ノ説明ハ獨リ強制執行ノ基礎タル執行名義ノ執行力アル正本ノミニ關スルモノニ非スト知ルヘシ

第二項 判決ノ執行力アル正本

第一目 汎論

現行法ハ判決ノ執行力アル正本ニ關シテ詳細ノ規定ヲ設ケ且ツ別段ノ規定アル場合ノ外之ヲ他ノ執行名義ニ準用セリ(五六〇、五六一、五六二) 判決ニ依ル強制執行ハ執行文ヲ附記シタル判決ノ正本即チ判決ノ執行力アル正本ニ基キテ之ヲ爲スヘキモノトス(五一六、一) 判決ノ執行力アル正本ハ債權者ノ申立ニ依リ之ヲ付與スルモノトス此正本ヲ付與スヘキ者ハ第一審裁判所ノ書記ナリ然レトモ訴訟カ上級裁判所ニ繫屬スルトキハ其裁判所ノ書記此正本ヲ付與スヘキモノトス(五一六、二) 判決ノ執行力アル正本ノ付與ヲ求ムル申立ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ(五一六、三)

裁判所書記カ執行力アル正本ノ付與ヲ拒ミタルトキハ債權者ハ裁判所書記ノ屬スル受訴裁判所ニ其處分ノ變更ヲ求ムル申請ヲ爲スコトヲ得ヘシ(四六五)此申請ハ受訴裁判所カ裁判所書記ノ處分ヲ正當ト認メテ之ヲ變更セサル場合ニ於ケル即時抗告タル性質ヲ同時ニ有スルモノトス蓋シ裁判所書記ノ處分カ受訴裁判所ノ裁判ナリトセハ之ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ其處分ノ變更ヲ求ムル申請ハ會テ述ヘタルカ如ク受訴裁判所カ之ヲ不當ト認メテ其處分ノ變更ヲ爲ササル場合ニ於ケル即時抗告タル性質ヲ有スルモノニシテ執行力アル正本付與ノ手續ハ強制執行手續ニ屬スルモノナルカ故ニ受訴裁判所カ執行力アル正本ノ付與ヲ拒ム裁判ヲ爲シタルモノトセハ第五百五十八條ノ規定ニ依リ之ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘキモノナルヲ以テナリ(四一六頁、四一七頁)故ニ執行力アル正本ノ付與ヲ拒ミタル裁判所書記ノ處分ノ變更ヲ受訴裁判所ニ求ムル債權者ノ申請ハ即時抗告提起ノ方法ニ從ヒ七日ノ不變期間内ニ之ヲ爲スヘキモノトス受訴裁判所カ債權者ノ申請ヲ不當ト認メタルトキハ之ヲ抗告裁判所ニ送付スヘキモノナリ(四六六、四)若シ抗告裁

判所カ此申請ヲ正當ト認メタルトキハ執行力アル正本ノ付與ヲ命スヘキモノトス

執行力アル正本カ付與セラレタルトキハ債務者ハ後ニ説明スルカ如ク其付與ニ對シ異議ヲ主張スルコトヲ得ルモノトス又此場合ニ於テハ債務者ハ執行力アル正本ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル受訴裁判所ニ其裁判所書記ノ處分ノ變更ヲ求ムル申請ヲ爲スコトヲ得ヘシ此申請ハ裁判所書記カ執行力アル正本ノ付與ヲ拒ミタル場合ニ於テ債權者カ受訴裁判所ニ其處分ノ變更ヲ求ムル申請ニ付キ述ヘタルト同一ノ理由ニ依リ即時抗告提起ノ方法ニ從ヒ七日ノ不變期間内ニ之ヲ爲スヘキモノトス(四六六、四、五二二、五四六)然レトモ債務者ハ執行力アル正本カ付與セラレ、前ニ其付與ヲ妨クヘキ何等ノ行爲ヲ爲スコトヲ得サルナリ

判決ノ執行力アル正本ノ效力ハ之ヲ付與シタル裁判所ノ管轄区域内ニ限ラス本邦ノ裁判區域即チ本邦ノ司法權ノ範圍内ニ屬スル區域ニ及フモノトス(五二五)司法事務共助法三

第二目 執行文付與ノ方法及ヒ其條件

執行文ハ判決正本ノ末尾ニ之ヲ附記スヘキモノトス(五一七、二)

判決正本ニ附記スヘキ執行文ノ方式ハ法律ニ於テ之ヲ定メタリ前記ノ正本ハ被告某若クハ原告某ニ對シ強制執行ノ爲メ原告某若クハ被告某ニ之ヲ付與スト謂フコト即チ是ナリ(五一七、二)然レトモ其執行文ニハ他ノ事項ヲ掲クヘキ場合アリ例ヘハ原告若クハ被告ノ承繼人ノ爲メ又ハ其一般ノ承繼人ニ對シテ判決ノ執行力アル正本ヲ付與スヘキ場合ニ於テハ其承繼人ヲ執行文ニ表示セサルヘカラス又判決ニ表示シタル請求ノ一部ノミノ爲メニ強制執行ヲ爲スヘキトキハ其一部ノミニ付キ判決ノ執行力アル正本ヲ付與スル旨ヲ執行文ニ表示セサルヘカラサルカ如シ又判決正本ニ附記スル執行文ニハ或事項ヲ附記スルヲ要スルコトアリ例ヘハ判決ノ執行力アル正本ノ付與ニ關スル裁判長ノ命令アリタルコト又ハ承繼カ裁判所ニ於テ明白ナルコトハ之ヲ執行文ニ附記スルノ必要アルカ如シ(五一九、五二〇)而シテ強制執行ノ基礎タル執行名義ニ非ザル

モ執行スルコトヲ得ヘキ判決ノ正本ニ附記スヘキ執行文ニ在リテハ強制執行ナル文字ヲ用ユヘカラサルハ勿論ナリト知ルヘシ
 執行文ノ附記ハ新ニ債權者ニ付與スヘキ判決正本ニ之ヲ爲シ又ハ債權者ノ提出スル判決正本ニ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ

判決正本ニ附記スル執行文ニハ裁判所書記署名捺印シ且ツ裁判所ノ印ヲ捺スヘキモノトス(五一七三)

判決ノ執行力アル正本即チ執行文ヲ附記シタル判決ノ正本ハ強制執行ノ基礎タル判決又ハ執行セラルヘキ其他ノ判決ノ存在スル場合ニ於テ之ヲ付與スヘキモノナリ故ニ判決ノ執行力アル正本ノ付與ハ判決カ確定シタルトキ又ハ其假執行ノ宣言アルトキニ限り之ヲ爲スヘキモノトス(五一八、一)從テ其執行力アル正本ノ付與カ判決ノ確定ニ繫ルトキハ裁判所書記ハ第四百九十九條ノ規定ニ從ヒテ判決ノ確定シタルヤ否ヤヲ調査シ又其付與カ判決ノ假執行ノ宣言アルコトニ繫ルトキハ裁判所書記ハ其宣告アリタルヤ否ヤヲ調査スル外其宣言カ效力ヲ失ハサルヤ否ヤヲ調査セサルヘカラサルナリ(五一〇、一)

判決ノ執行カ其趣旨ニ從ヒ債權者ノ保證ヲ立ツルコトニ繫ル場合ノ外他ノ條件ニ繫ル場合ニ於テハ判決正本ニ附記スル執行文ヲ以テ其條件ノ到來ヲ證明スヘキモノトス即チ此場合ニ於テハ判決ノ執行力アル正本ノ付與ニ依リテ其條件ノ到來ヲ證明スヘキモノナリ然レトモ此場合ニ於テハ債權者カ證明書ヲ以テ其條件ノ到來ヲ證明シタルトキニ限り判決ノ執行力アル正本ヲ付與スルコトヲ得ヘシ是レ第五百十八條第二項ノ規定スル所ナリ茲ニ所謂條件トハ請求ノ辨濟ヲ得ルカ爲メニ存在スルコトヲ要スル事實ヲ指スモノトス例ヘハ反對給付ニ對シテ請求ノ辨濟ヲ爲スヘキコトヲ債務者ニ命スル判決ノ趣旨ニ從ヒテ債權者カ反對給付ヲ爲スカ如キ是ナリ又茲ニ所謂判決ノ執行トハ判決ニ依ル強制執行ノミヲ指スモノニ非スシテ判決ノ其他ノ執行ヲモ指スモノナリ唯判決ノ執行カ其趣旨ニ從ヒ債權者ノ保證ヲ立ツルコトニ繫ル場合ノ外他ノ條件ノ到來ニ繫ル場合ハ實際稀ナリト知ルヘシ而シテ訴ノ提起後ニ受訴裁判所ニ於テ又ハ受命判事若クハ受託判事ノ面前ニ於テ爲シタル和解並ニ訴ノ提起前ニ區裁判所ニ於テ爲シタル和解ニ掲クル請求及ヒ第五百五十九條第五號

ノ公正證書ニ掲クル請求ハ債權者ノ證明スヘキ事實ノ到來シタル時ニ至リテ辨濟セラルヘキ請求タルコト尠カラサルカ故ニ此等ノ執行名義ノ執行力カ其趣旨ニ從ヒ債權者ノ證明スヘキ事實ノ到來ニ繋ル場合アルハ言フヲ待タス從テ第五百十八條第二項ノ規定ハ第五百六十條ノ規定ニ從ヒ此等ノ執行名義ノ執行力アル正本ヲ付與スヘキ場合ニ準用セラル、モノト謂フヘシ(五六〇)右ニ述ヘタル所ニ依レハ判決ノ執行力債權者ノ保證ヲ立ツルコトニ繋ル場合ニ於テ執行力アル正本ヲ付與スルニハ債權者カ保證ヲ立テタルコトヲ證明スルコトヲ要セサルモノトス是レ蓋シ債權者カ判決ノ執行ノ前ニ其條件タル保證ヲ立ツルコトハ執行權ノ行使ノ條件ニシテ其存在ノ條件ニ非ス而シテ執行力アル正本ニ於テハ執行文ヲ以テ執行權ノ存在ニ必要ナル或條件ノ存在ヲ證明スヘキモノナルヲ以テナリ

判決ノ執行ニ關スル第五百二十九條第一項ニ於テハ請求ノ主張カ或日時ノ到來ニ繋ルトキ即チ請求カ或日時ノ到來シタル時ニ至リテ辨濟セラルヘキトキハ其日時ノ到來シタルトキニ限り強制執行ヲ始ムルコトヲ得ル旨ヲ規定セリ

ト雖モ現行法ハ此場合ニ於テ判決ノ執行力アル正本ヲ付與スルニハ請求ノ辨濟期タル或日時ノ到來シタルコトヲ必要トスル旨ヲ規定セサルカ故ニ此場合ニ於テハ現行法上請求ノ辨濟期タル或日時ノ到來ヲ待タスシテ判決ノ執行力アル正本ヲ付與スルコトヲ得ルモノト謂フヘシ從テ債權者カ判決ノ執行力アル正本ノ付與ヲ求メタル場合ニ於テ請求ノ辨濟期タル或日時ノ到來シタルヤ否ヤヲ調査シタル後判決正本ニ附記スル執行文ヲ以テ其ノ到來シタルコトヲ證明スルハ現行法ニ於テ其必要ナシト認メタルモノト謂ハサルヘカラス凡ソ請求カ或日時ノ到來ニ依リテ辨濟セラルヘキ場合ニ於テハ其到來ハ執行權發生ノ一條件ナリト雖モ或日時ノ到來ハ容易ニ之ヲ知ルヲ得ルカ爲メ現行法ハ執行機關ヲシテ自ラ之ヲ調査セシメントスルモノニ外ナラサルナリ然レトモ辨濟期タル或日時ノ到來シタル時ニ至リテ辨濟セラルヘキ請求ノ辨濟ヲ豫メ被告ニ命スル判決ヲ爲ス場合ハ現行法上之ナキカ故ニ請求ノ辨濟期タル或日時ノ到來前ニ判決ノ執行力アル正本ヲ付與スル場合ハ現行法上之ヲ想像スルコト能ハサルモノトス之ニ反シテ執行名義タル和解又ハ公證人ノ作成セル公

正證書ニ掲クル請求ハ或日時ノ到來シタル時ニ至リテ辨濟セラルヘキ請求タルコトアルカ故ニ此等ノ執行名義ノ執行力アル正本ハ請求ノ辨濟期タル或日時ノ到來ヲ待タスシテ之ヲ付與スヘキ場合アリト謂フヘシ(五六〇)。

執行權ハ判決ニ表示セル債權者ノ承繼人ノ利益ノ爲メ又ハ之ニ表示セル債權者ノ一般ノ承繼人ノ不利益ニ於テ存在スルコトヲ得ルモノナルカ故ニ判決ノ執行力アル正本ハ其債權者ノ承繼人ニ之ヲ付與シ又ハ其債權者ノ一般ノ承繼人ニ對シテ之ヲ付與スルコトヲ得ヘシ然レトモ承繼カ裁判所ニ於テ明白ナルトキ又ハ債權者カ證明書ヲ以テ之ヲ證明シタルトキニ限ルモノトス承繼カ裁判所ニ於テ明白ナルトキハ執行力アル正本ヲ付與スルニ當リテ其旨ヲ執行文ニ附記スヘキモノトス(五一九)是レ債權者ヲシテ承繼カ裁判所ニ於テ明白ナルコトヲ知ラシメ且ツ債權者カ執行文ノ付與ニ對シテ異議ヲ主張スルニ當リ其理由トシテ裁判所ノ認メタル承繼ヲ争フコトヲ得セシメンカ爲メニ外ナラサルナリ

判決ニ表示セル債權者ノ承繼人ニ判決ノ執行力アル正本ヲ付與シ又ハ之ニ表

示セル債權者ノ一般ノ承繼人ニ對シテ之ヲ付與シタルトキハ執行權カ判決ニ表示セル債權者ノ承繼人ノ利益ノ爲メ又ハ之ニ表示セル債權者ノ一般ノ承繼人ノ不利益ニ於テ存在スルニ必要ナル條件ノ存在スルコト即チ承繼アリタルコトハ執行文ニ依リテ證明セラル、モノト謂フヘシ

判決ノ執行力其趣旨ニ從ヒ保證ヲ立ツルコトニ繋ル場合ノ外他ノ條件ノ到來ニ繋ル場合ニ於テ執行力アル正本ヲ付與シ又ハ判決ニ表示セル債權者ノ(特別若クハ一般ノ)承繼人ニ執行力アル正本ヲ付與シ若クハ判決ニ表示セル債權者ノ一般ノ承繼人ニ對シテ之ヲ付與スルニハ裁判長ノ命令アルコトヲ要スルモノトス(五二〇、一)故ニ裁判長ノ命令ナキトキハ裁判所書記ハ執行力アル正本ノ付與ヲ拒ムヘキモノナリ唯判決ノ執行力債權者ノ保證ヲ立ツルコトニ繋ル場合ノ外他ノ條件ニ繋ル場合ハ既ニ述ヘタルカ如ク實際稀ナリト知ルヘシ

裁判所書記カ裁判長ノ命令ニ依リ執行力アル正本ヲ付與スルニ當リテハ債權者ハ裁判長ノ命令アリタルコトヲ知ルニ付キ利益ヲ有スルカ故ニ其命令ヲ執行文ニ附記スヘキモノトス(五二〇、三)裁判長ノ命令ハ裁判所書記ニ對スルモノ

ニシテ外部ニ對シテハ執行力アル正本付與ノ條件タルニ過キササルカ故ニ債務者ハ裁判長ノ命令ニ對シテ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス唯第四百六十五條ノ規定ニ從ヒ執行力アル正本ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル受訴裁判所ニ其裁判所書記ノ處分ノ變更ヲ求ムル申請ヲ爲シ又ハ後ニ説明スルカ如ク執行力アル正本ノ付與ニ對シテ異議ヲ主張スルコトヲ得ルノミ又裁判長ノ命令ナキカ爲メニ裁判所書記カ執行力アル正本ノ付與ヲ拒ミタル場合ニ於テモ債權者ハ前ニ説明セルカ如ク第四百六十五條ノ規定ニ從ヒテ受訴裁判所ニ裁判所書記ノ處分ノ變更ヲ求ムル申請ヲ爲スコトヲ得ルニ過キササルナリ

裁判長ハ執行力アル正本ノ付與ヲ命スル命令ヲ爲ス前ニ書面又ハ口頭ヲ以テ債務者ヲ審訊スルコトヲ得ヘシ(五二〇二)

債權者カ同時ニ同一判決ノ執行力アル正本ノ數通ヲ求メ又ハ前ニ付與シタル執行力アル正本ヲ返還セシテ更ニ同一判決ノ執行力アル正本ノ付與ヲ求メタルトキハ裁判長ノ命令アルトキニ限り之ヲ付與スルコトヲ得ルモノトス(五二二三)蓋シ強制執行ハ執行力アル正本ニ基キテ之ヲ爲スモノナルカ故ニ同一

判決ノ執行力アル正本ノ數通ヲ付與スルトキハ債權者カ強制執行ニ依リテ既ニ請求ノ辨濟ヲ得タルニ拘ラス債務者カ更ニ強制執行ヲ受クルニ至ル危険ナキニ非サルヲ以テナリ

裁判長ハ同一判決ノ執行力アル正本ノ數通ヲ同時ニ付與シ又ハ前ニ付與シタル執行力アル正本ノ返還ナキニ拘ラス同一判決ノ執行力アル正本ヲ更ニ付與スルコトヲ至當トスルヤ否ヤヲ自由ノ意見ニ從ヒ決スヘキモノニシテ之ヲ至當トスル場合ニ於テハ其付與ヲ命スヘキモノトス例ヘハ同一ノ判決ニ基キ同時ニ數箇ノ場所ニ於テ又ハ數人ノ連帶債務者ニ對シテ強制執行ヲ爲スヘキ場合又ハ前ニ付與シタル執行力アル正本カ紛失シタル場合ニ於ケルカ如シ裁判長ハ其命令ヲ爲ス前ニ書面又ハ口頭ヲ以テ債務者ヲ審訊スルコトヲ得ヘシ(五二三)而シテ債務者ヲ審訊セシテ同一判決ノ執行力アル正本ノ數通ヲ付與シ又ハ前ニ付與シタル執行力アル正本ノ返還ナキニ拘ラス同一判決ノ執行力アル正本ヲ更ニ付與シタルトキハ其旨ヲ債務者ニ通知スヘキモノトス(五二三三)

區裁判所ノ書記カ執行力アル正本ヲ付與スヘキ場合ニ於テハ裁判長ノ爲スヘキ前述ノ裁判ハ區裁判所ノ單獨判事之ヲ爲スヘキモノトス
 同一判決ノ執行力アル正本ヲ數通付與スル場合ニ關スル規定ハ同一請求ノ各部ニ關シ又ハ數箇ノ請求中ノ或請求ニ關シテ同一判決ノ執行力アル正本ヲ順次ニ付與スル場合ニ於テハ其適用ヲ生セサルモノトス蓋シ此場合ニ於テハ同一判決ノ執行力アル正本カ數通アルモ債務者カ二重ニ強制執行ヲ受クル危険ナキヲ以テナリ

執行力アル正本ヲ付與スル場合ニ於テハ其前ニ判決ノ原本ニ原告ノ爲メ又ハ被告ノ爲メニ之ヲ付與スル旨及ヒ之ヲ付與スル日時ヲ記載スヘキモノトス(五二四)是レ同一判決ノ執行力アル正本ヲ既ニ付與シタルヤ否ヤヲ明ニシ以テ猥ニ二通以上之ヲ付與スルコトヲ防クカ爲メニ外ナラス故ニ原告又ハ被告ノ承繼人ノ爲メニ執行力アル正本ヲ付與スル場合ニ於テモ亦此手續ニ據ルヘキモノト謂フヘシ第一審裁判所ノ書記カ訴訟ノ終了後ニ上級審ノ判決ノ執行力アル正本ヲ付與スルニ當リテハ第四百三十一條及ヒ第四百五十四條ノ規定ニ依

リテ送付ヲ受ケタル上級審ノ判決ノ認證アル謄本ヲ其原本ト同一視スヘキモノトス蓋シ上級審ノ判決ノ原本ハ上級裁判所ニ保存セラルルモノナルヲ以テナリ(五一六、二)

裁判所書記カ同一判決ノ執行力アル正本ノ數通ヲ同時ニ付與シ又ハ前ニ付與シタル執行力アル正本ノ返還ナキニ拘ラス同一判決ノ執行力アル正本ヲ更ニ付與スルニ當リテハ其旨ヲ執行力アル正本ニ明記スヘキモノナリ(五二三、四)

第三目 執行文付與ノ訴

債權者カ第五百十八條第二項又ハ第五百十九條ノ規定ニ從ヒテ執行力アル正本ノ付與ヲ求ムルニ必要ナル證明ヲ爲スコト能ハサルトキハ執行文付與ノ訴ヲ提起シ以テ執行力アル正本ヲ付與スヘキ旨ヲ宣言スル判決ヲ求ムルコトヲ得ヘシ(五二一)而シテ債權者カ第五百十八條第二項又ハ第五百十九條ノ規定ニ從ヒ證明書ヲ以テ必要ナル證明ヲ爲スコト能ハスト信スルカ爲メニ此規定ニ從ヒテ執行力アル正本ノ付與ヲ求ムル申請ヲ爲ササル場合タルト此規定ニ從

ヒテ執行力アル正本ノ付與ヲ求ムル申請ヲ爲シタルニ拘ラス證明書ヲ以テ必要ナル證明ヲ爲スコト能ハサルカ爲メニ其申請ノ却下セラレタル場合タルト
 ヲ問ハサルナリ又債權者ハ第四百六十五條ノ規定ニ從ヒテ執行力アル正本ノ
 付與ヲ求ムル申請ヲ却下シタル裁判所書記ノ處分ノ變更ヲ求ムル申請ヲ受訴
 裁判所ニ爲スコトヲ得ヘキトキト雖モ訴ヲ以テ執行力アル正本ノ付與ヲ求ム
 ルコトヲ得ヘシ

執行文付與ノ訴ハ權利變更ノ訴トス蓋シ此訴ハ執行力アル正本ヲ付與セサル
 ヘカラサル結果ヲ生スル判決ヲ求ムルモノナルヲ以テナリ又此訴ハ執行力ア
 ル正本ノ付與ヲ求ムル債權者ノ權利ヲ其目的物トスルモノトス
 執行文付與ノ訴ハ判決ニ表示シタル債務者又ハ其一般ノ承繼人ニ對シテ之ヲ
 提起スヘキモノトス又此訴ハ第一審ノ受訴裁判所ノ管轄ニ專屬スルモノナリ
 茲ニ所謂第一審ノ受訴裁判所トハ執行セラルヘキ判決ヲ生シタル訴訟手續カ
 第一審ニ於テ繫屬セル裁判所ヲ指スモノトス(五二一、五六三)
 執行文付與ノ訴ヲ提起シタル債權者ハ執行力アル正本付與ノ條件ヲ證明スル

カ爲メニ一切ノ證據方法ヲ提出スルコトヲ得ヘシ又債務者カ第五百四十五條
 ノ規定ニ從ヒ判決ニ依リ確定シタル請求ニ關スル異議ヲ執行異議ノ訴ヲ以テ
 主張スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ執行文付與ノ訴ニ對シテモ亦之ヲ主張ス
 ルコト得ヘシ蓋シ此場合ニ於テハ債權者カ執行力アル正本ノ付與ヲ得ルモ債
 務者ハ執行異議ノ訴ヲ提起スヘキカ故ニ債權者ハ其付與ヲ得ルニ付キ法律上
 ノ利益ヲ有セサルモノト謂ハサルヘカラサルヲ以テナリ
 執行文付與ノ訴カ理由アルトキハ執行力アル正本ヲ付與スヘキ旨ヲ宣言スル
 判決ヲ爲スヘキモノトス此判決カ確定シ又ハ其假執行ノ宣言アル場合ニ於テ
 ハ裁判所書記ハ此判決ニ基キテ執行力アル正本ヲ付與セサルヘカラス
 執行文付與ノ訴ヲ理由ナシトシテ却下スル判決カ確定シタル場合ニ於テハ債
 權者ハ新ナル事實ニ基キテノミ執行力アル正本ノ付與ヲ求ムルコトヲ得ヘシ
 是レ此判決ノ既判力ヲ有スルカ爲メニ外ナラサルナリ

第四目 執行文ノ付與ニ對スル異議

判決ノ執行力アル正本即チ執行文ヲ附記シタル判決ノ正本カ付與セラレタル場合ニ於テハ債務者ハ其付與ニ對スル異議ヲ主張スルコトヲ得ヘシ執行力アル正本ノ付與ニ對スル異議ニ二種アリ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立及ヒ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴即チ是ナリ今左ニ判決ノ執行力アル正本ノ付與ニ對スル異議ニ付キ説明ヲ爲スヘシ

(一)執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立

執行力アル正本カ付與セラレタルトキハ債務者ハ之ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所ニ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ(五二二、一)

債務者ハ右ニ述ヘタルカ如ク執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ第五百四十六條ノ場合ニ於テハ此申立ヲ爲スニ代ヘテ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ヘシ故ニ此場合ニ於テハ債務者ハ選擇ヲ爲スコトヲ得ルモノトス唯債務者カ此場合ニ於テ既判力アル裁判ヲ得ントセハ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴ヲ提起セサルヘカラサル

ナリ然レトモ裁判所書記カ裁判長ノ命令ニ基キテ執行力アル正本ヲ付與シタルトキト雖モ債務者ハ裁判長ノ裁判ニ對シテ抗告ヲ提起スルコトヲ得ス又債權者カ前述ノ如ク執行力アル正本ノ付與ヲ求ムル申請ヲ却下シタル裁判所書記ノ處分ノ變更ヲ即時抗告提起ノ方法ニ依リ受訴裁判所ニ求ムル申請ヲ爲シタル場合ニ於テ抗告裁判所カ其正本ノ付與ヲ命スル裁判ヲ爲シタルカ爲メニ裁判所書記カ此裁判ニ基キテ其正本ヲ付與シタルトキト雖モ債務者ハ抗告裁判所ノ裁判ニ對シテ抗告ヲ提起スルコトヲ得サルモノナリ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ハ執行文ヲ取消シテ付與セラレタル執行力アル正本ニ基ク執行(強制執行又ハ其他ノ執行)ヲ許ササル旨ヲ宣言スル裁判ヲ求ムルモノニ外ナラス執行名義ニ附記スル執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ヲ爲ス債務者ハ斯ル裁判ヲ得ルニ非サレハ強制執行ヲ妨クルコトヲ得サルナリ(五五〇、一)

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ハ強制執行ノ開始セザルトキト雖モ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ蓋シ債務者ハ此場合ニ於テモ執行文ノ付與ニ對スル異議

ノ申立ヲ爲スニ付キ利益ヲ有スルヲ以テナリ又此異議ノ申立ハ一定ノ期間内ニ制限セラレサルカ故ニ何時ニテモ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ強制執行ノ終了シタルトキハ債務者ハ此異議ノ申立ニ基キ自己ニ利益ナル裁判ヲ求ムルコトヲ得ス蓋シ此場合ニ於テハ債務者ハ此異議ノ申立ヲ爲スニ付キ利益ヲ有セサルニ至ルヲ以テナリ

債權者カ第五百二十一條ノ規定ニ從ヒ執行文付與ノ訴ヲ提起シテ執行力アル正本ヲ付與スヘキ旨ヲ宣言スル確定判決ヲ得タル場合ニ於テハ債務者ハ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ニ基キテ自己ニ利益ナル裁判ヲ求ムルコトヲ得ス蓋シ此判決ハ既判力ヲ有スルカ爲メ債務者ハ執行力アル正本ヲ付與スヘカラサルコトヲ主張スルヲ得サルヲ以テナリ

債務者カ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ヲ爲スニ當リテハ執行力アル正本付與ノ條件カ存在セサリシコトヲ主張シテ異議ノ理由ト爲スコトヲ得ルモノトス即チ執行力アル正本ヲ付與スル際ニ判決カ未タ確定セス若クハ其假執行ノ宣言ナク若クハ此宣言カ其效力ヲ失ヒタルコト又ハ其際ニ判決執

行ノ條件タル事實ノ到來カ證明書ヲ以テ證明セラレサルコト又ハ其際ニ承繼カ證明書ヲ以テ證明セラレス若クハ裁判所ニ於テ明白ナラサルコト又ハ執行力アル正本ノ付與ヲ命スル裁判長ノ命令アルトキニ限り其正本ヲ付與スヘキ場合ニ於テ其命令ナキニ拘ラス之ヲ付與シタルコトヲ以テ異議ノ理由ト爲スコトヲ得ヘシ債務者カ前述ノ如ク執行力アル正本付與ノ條件ノ存在セサリシコトヲ主張スルハ是レ即チ異議ノ訴訟法上ノ理由ヲ主張スルモノニ外ナラサルナリ此他債務者ハ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ヲ爲スニ當リテ異議ノ實體法上ノ理由ヲ主張スルコトヲ得ヘシ執行力アル正本付與ノ際ニ認めラレタル判決執行ノ條件タル事實ノ到來其モノ又ハ其際ニ認めラレタル承繼其モノヲ争フハ是レ即チ異議ノ實體法上ノ理由ヲ主張スルモノニ外ナラサルナリ

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ニ付キテハ執行力アル正本ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル裁判所ニ於テ裁判ヲ爲スヘキモノトス(五二二、一)
執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ニ關スル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲スヘキ

モノトス此裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ故ニ此裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(五五八)

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立カ理由アルトキハ執行文ヲ取消シテ付與セラレタル執行力アル正本ニ基ク執行強制執行又ハ其他ノ執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル裁判ヲ爲スヘキモノトス此裁判ハ執行ヲ許スヘカラサルニ至ル結果ヲ生スルモノナリト雖モ債權者カ第五百二十一條ノ規定ニ從ヒ訴ヲ以テ執行力アル正本ノ付與ヲ求ムル妨ト爲ラサルモノトス

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立カ理由ナキカ爲メニ之ヲ却下スル裁判アリタル後ト雖モ第五百四十六條ノ場合ニ於テハ債務者ハ尙ホ訴ヲ以テ執行力アル正本ノ付與ニ對スル異議ヲ主張スルコトヲ得ルモノトス故ニ此裁判ハ債務者カ執行力アル正本ノ付與ニ對スル異議ノ申立ヲ爲スニ當リテ主張シタル異議ノ訴訟法上ノ理由ニ關シテハ終局的ナリト雖モ其實體法上ノ理由ニ關シテハ終局的ニ非スト知ルヘシ

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ハ執行停止ノ效力ヲ有セス然レトモ裁判

長ハ裁判所カ異議ノ申立ニ付キ裁判ヲ爲ス前ニ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ債務者ノ利益ノ爲メ強制執行ニ關シテ假處分ヲ爲スコトヲ得ヘシ特ニ保證ヲ立テシメ若クハ之ヲ立テシメスシテ強制執行ヲ一時停止シ又ハ保證ヲ立テシメテ強制執行ヲ續行スヘキコトヲ命スルヲ得ヘシ然レトモ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ヲ命スルコトヲ得ス(五二二)茲ニ所謂假處分トハ假ノ處置ノ謂ニシテ強制執行ノ結果ヲ保全スルコトヲ目的トスル假處分ノ謂ニ非サルナリ此等ノ裁判ハ強制執行ニ付キ異議ノ申立ノ完結ニ至ルマテノ假ノ處置ヲ命スルモノナルカ故ニ其完結ト共ニ效力ヲ失フモノトス強制執行ニ關スル假ノ處置ヲ命スル此等ノ裁判及ヒ其裁判ヲ求ムル債務者ノ申立ヲ却下スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ蓋シ此等ノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ヘク且ツ強制執行手續ニ於テ之ヲ爲スモノナルヲ以テナリ(五五八)

(二)執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴

執行力アル正本カ付與セラレタルトキハ債務者ハ執行文ノ付與ニ對スル異

議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ルノミナラス執行文付與ノ際ニ債權者ノ證明シタリト認メラレタル事實ノ到來ニシテ之ニ依リ判決ノ執行ヲ爲スコトヲ得ヘキモノヲ争ヒ又ハ其際ニ認メラレタル承繼ヲ争フ限リハ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴ヲ債權者ニ對シテ提起スルコトヲ得ヘシ(五四六)

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴ハ權利變更ノ訴トス蓋シ此訴ハ執行文ヲ取消シテ付與セラレタル執行力アル正本ニ基ク執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スルニ依リテ執行ヲ許スヘカラサルニ至ラシムヘキ判決ヲ求ムルモノナルヲ以テナリ又此訴ハ斯ル判決ヲ求ムル債務者ノ權利ヲ其目的物トスルモノトス』執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴ヲ提起スルニハ訴ノ原因トシテ執行力アル正本付與ノ際ニ認メラレタル執行ノ條件タル事實ノ到來セサルコト又ハ其際ニ認メラレタル承繼ナキコトヲ主張セサルヘカラス然レトモ執行力アル正本付與ノ條件タル前述ノ事情ノ存在セサルコトヲ以テ此訴ノ原因ト爲スコトヲ得サルナリ

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴ヲ提起スルニハ其付與ニ對スル異議ノ申立

又ハ執行力アル正本ヲ付與シタル裁判所書記ノ屬スル受訴裁判所ニ其處分ノ變更ヲ求ムル申請カ却下セラレタルコトヲ必要トセス加之ナラス債務者ハ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ニ基キテ自己ニ利益ナル裁判ヲ得タル後ト雖モ其付與ニ對スル異議ノ訴ヲ提起シ執行文ヲ取消シテ付與セラレタル執行力アル正本ニ基ク執行(強制執行又ハ其他ノ執行)ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ヲ求ムルコトヲ得ヘシ蓋シ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ニ基キテ爲ス裁判ハ既判力ヲ有セスト雖モ此判決ハ既判力ヲ有スルカ爲メ債務者ハ此判決ヲ得ルニ付キ利益ヲ有スルヲ以テナリ然レトモ債權者カ執行文付與ノ訴ニ基キテ執行力アル正本ヲ付與スヘキ旨ノ判決ヲ得タル場合ニ於テハ此判決ハ既判力ヲ有スルカ爲メ債務者ハ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴ニ依リテ執行力アル正本ノ付與ノ不當ナルコトヲ主張シ以テ自己ニ利益ナル判決ヲ求ムルコトヲ得サルナリ

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴ハ強制執行ノ開始セサルトキト雖モ之ヲ提起スルコトヲ得ヘク且ツ其提起ハ一定ノ期間内ニ制限セラルルコトナシ然

レトモ強制執行ノ終了シタルトキハ此訴ヲ提起シテ自己ニ利益ナル判決ヲ
求ムルコトヲ得サルニ至ルモノナリ尙ホ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立
ニ關スル説明ヲ參照スヘシ

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴カ理由アルトキハ執行文ヲ取消シテ付與セ
ラレタル執行力アル正本ニ基ク執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ヲ爲スヘ
キモノトス

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴ニ付キテハ債務者ノ執行異議ノ訴ニ關スル
規定ヲ準用スヘキモノトス(五四六)故ニ此訴ハ第一審ノ受訴裁判所ニ之ヲ提
起スヘキノミナラス異議ノ理由ハ同時ニ之ヲ主張スルコトヲ要スルモノト
ス尙ホ債務者ノ執行異議ノ訴ニ關スル説明ヲ參照スヘシ

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴カ提起セラルルモ強制執行ヲ爲スノ妨ト爲
ラサルモノトス然レトモ受訴裁判所ハ強制執行ニ關シテ債務者ノ爲メ第五
百四十七條ニ掲ケタル裁判ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ此點ニ關シテハ債務
者ノ執行異議ノ訴ニ關スル説明ヲ參照スヘシ

第三項 他ノ執行力アル正本

判決ノ執行力アル正本ニ關スル規定ハ他ノ執行力アル正本ニ準用セラルルモ
ノトス然レトモ別段ノ規定アルトキハ此限ニ在ラサルナリ判決以外ノ執行名
義ノ執行力アル正本ニ關シテ特ニ説明スヘキモノハ左ノ如シ

(一)執行命令ハ之ニ表示セル債權者ノ承繼人ノ爲メ又ハ之ニ表示セル債務者
ノ一般ノ承繼人ニ對シテ強制執行ヲ爲スヘキトキニ限り其正本ニ執行文ヲ
附記スルコトヲ要スルモノトス(五六一)蓋シ執行命令ハ現ニ辨濟セラルヘ
キ請求ニ關スルノミナラス假執行ノ宣言アル闕席判決ト同一ノ效力ヲ有ス
ルカ爲メ執行命令ノ存在ニ依リテ當然執行權存在ノ條件ヲ明ニスルコトヲ
得ヘキカ故ニ執行文ヲ以テ其條件ノ存在ヲ證明スル必要ナク唯債權者又ハ
債務者ニ付キ承繼アル場合ニ於テノミ執行權カ債權者ノ承繼人ノ爲メ又債
務者ノ一般ノ承繼人ニ對シテ存在スルコトヲ執行文ヲ以テ證明スル必要ア
ルヲ以テナリ(三八五、三九四)而シテ執行命令ノ正本ニ執行文ヲ附記スルコト

ヲ要スル場合ニ於テハ其命令ヲ發シタル區裁判所ノ單獨判事ノ命ニ依リ其區裁判所ノ書記執行力アル正本ヲ付與スヘキモノトス

執行文付與ノ訴ハ執行命令ヲ發シタル區裁判所ニ之ヲ提起スヘキモノトス然レトモ此訴カ事物ノ管轄ニ關スル規定ニ從ヒテ區裁判所ノ管轄ニ屬セサルトキハ管轄地方裁判所ニ之ヲ提起スヘキモノナリ(五六一、三)

執行命令ノ執行力アル正本カ付與セラレタル場合ニ於テハ其付與ノ際ニ認メラレタル承繼ヲ爭フ訴ハ執行命令ヲ發シタル區裁判所ニ之ヲ提起スヘキモノトス然レトモ此訴カ區裁判所ノ事物ノ管轄ニ屬セサル場合ニ於テハ管轄地方裁判所ニ之ヲ提起スヘキモノナリ(五六一、三)

(二)抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘキ裁判ノ執行力アル正本ニ付テハ總テ判決ノ執行力アル正本ニ關スル規定ヲ準用スヘキモノナリ

(三)公證人ノ作成セル公正證書ノ執行力アル正本ハ其證書ヲ保存スル公證人之ヲ付與スヘキモノトス(五六二、一)

執行文ノ付與ニ對スル異議ノ申立ニ付テノ裁判及ヒ更ニ執行文ヲ付與スヘ

キコトヲ命スル裁判ハ公證人カ職務上ノ住所ヲ有スル地ヲ管轄スル區裁判所ニ於テ之ヲ爲スヘキモノナリ(五六二、二)

執行文付與ノ訴及ヒ執行力アル正本付與ノ際ニ債權者ノ證明シタリト認めラレタル執行ノ條件タル事實ノ到來ヲ爭フ訴ハ債務者カ本邦ニ於テ普通裁判籍ヲ有スル地ノ裁判所又此裁判所ナキトキハ第十七條ノ規定ニ從ヒ債務者ニ對シテ訴ヲ提起スヘキ裁判所ニ之ヲ提起スヘキモノトス(五六二、四)

現行法ハ公證人ノ作成セル公正證書ノ執行力アル正本付與ノ際ニ認めラレタル承繼ヲ爭フ訴ヲ管轄スヘキ裁判所ヲ示サス然レトモ此訴ニ付キテハ第五百六十二條第四項ノ規定ヲ準用スヘキモノト謂フヘシ

(四)第五百五十九條第三號及ヒ第四號ニ掲ケタル和解ノ執行力アル正本ニ付テハ判決ノ執行力アル正本ニ關スル規定ヲ準用スヘキモノトス

第一款 他ノ形式的條件

執行權ハ執行力アル正本アル外尙ホ他ノ條件アルニ非サレハ之ヲ行使スルコ

トヲ得サルモノトス故ニ執行力アル正本及ヒ執行權ノ行使ニ必要ナル其他ノ條件ハ共ニ強制執行ノ形式的條件ニ屬スルモノニシテ其ノ存在セザルトキハ強制執行ハ形式上許スヘカラサルモノト謂フヘシ

執行力アル正本以外ノ強制執行ノ形式的條件ニ關スル現行法ノ規定ハ判決ニ基ク強制執行ニ關スルモノトス然レトモ此規定ハ他ノ執行名義ニ基ク強制執行ニ準用セラルルモノナリ(五六〇)

現行法カ判決ニ基キテ強制執行ヲ爲ス場合ニ於ケル執行力アル正本以外ノ強制執行ノ形式的條件ト認メタルモノハ左ノ如シ

(一)執行スヘキ判決ヲ既ニ債務者ニ送達シ又ハ強制執行ト同時ニ之ヲ債務者ニ送達スルコト(五二八、一)

強制執行ノ前又ハ強制執行ト同時ニ執行スヘキ判決ヲ債務者ニ送達スルトキハ債務者ハ強制執行カ如何ナル理由ニ基クモノナルカヲ知り之ニ對シ適當ナル防禦ノ手段ヲ施スコトヲ得ヘシ

判決ニ基キテ強制執行ヲ爲スノ條件タル判決ノ送達ハ其確定後ニ之ヲ爲シ

タルコトヲ必要トセス且ツ其假執行ノ宣言アリタル後又ハ其執行力アル正本ノ付與セラレタル後ニ之ヲ爲シタルコトヲ必要トセサルナリ今若シ強制執行ヲ始ムル際ニ判決ノ送達ヲ爲シタルトキハ是レ即チ強制執行ト同時ニ判決ノ送達ヲ爲シタルモノト謂フヘシ而シテ強制執行ト同時ニ判決ノ送達ヲ爲スハ執達吏カ強制執行ヲ爲ス場合ニ於テ之ヲ見ルヲ通常トシ裁判所カ強制執行ヲ爲ス場合ニ於テハ通常之ヲ見ルコト能ハサルナリ

(二)判決ノ執行カ其趣旨ニ從ヒ債權者ノ保證ヲ立ツルコトニ繫ル場合ノ外債權者ノ證明スヘキ他ノ條件ノ到來ニ繫ルトキ即チ第五百二十八條第二項ニ所謂判決ノ執行カ其趣旨ニ從ヒ債權者ノ證明スヘキ事實ノ到來ニ繫ルトキ又ハ判決ニ表示セル債權者ノ承繼人ノ爲メ又ハ之ニ表示セル債務者ノ一般ノ承繼人ニ對シテ執行ヲ爲スヘキトキハ判決正本ニ附記スル執行文即チ判決ノ執行力アル正本ヲ強制執行ヲ始ムル前ニ債務者ニ送達スルコト(五一八、二、五二八、二)

右ニ述ヘタル場合ニ於テハ執行スヘキ判決カ存在スルノ一事ニ依リテ其執

行力アル正本ヲ付與スルモノニ非ス執行スヘキ判決ノ存在スル外債権者ノ證明スヘキ判決執行ノ條件タル事實ノ到來シタルトキ又ハ承繼アリタルトキニ限り其執行力アル正本ヲ付與スルモノナルカ故ニ此場合ニ於テ其執行力アル正本ヲ債権者ニ送達スルトキハ債権者ハ債権者ノ證明スヘキ判決執行ノ條件タル事實ノ到來又ハ承繼カ認メラレタルヲ知ルヲ得テ其執行力アル正本ノ付與ニ對シ適當ナル防禦ノ手段ヲ施スコトヲ得ヘシ是レ此場合ニ於テ判決ノ執行力アル正本ヲ債権者ニ送達スルコトヲ強制執行ノ條件ト爲シタル所以ナリ果シテ然ラハ執行力アル正本ヲ付與スヘキ旨ヲ宣言スル判決ノ送達アリタルトキハ強制執行ヲ爲スカ爲メニ執行スヘキ判決ノ執行力アル正本ヲ更ニ送達スルコトヲ要セサルモノト謂フヘシ蓋シ此場合ニ於テハ債務者ハ債権者ノ證明スヘキ判決執行ノ條件タル事實ノ到來又ハ承繼カ認メラレタルコトヲ既ニ知リタルヲ以テナリ(五二二)

(三)債権者ノ提出セル證明書ニ依リ執行力アル正本ヲ付與シタルトキハ其證明書ノ謄本ヲ強制執行ヲ始ムル前又ハ之ト同時ニ債務者ニ送達スルコト(五

二八三

執行力アル正本ノ付與ニ必要ナル條件ヲ證明スルカ爲メニ債権者ノ提出セル證明書ノ謄本ヲ債権者ニ送達スルトキハ債務者ハ執行力アル正本ノ付與カ正當ナルヤ否ヤヲ調査スルコトヲ得ルモノト謂フヘシ

(四)判決ノ執行力債権者ノ保證ヲ立ツルコトニ繋ルトキハ債権者カ保證ヲ立テタルコトヲ示ス公正ノ證明書ヲ執行機關ニ提出シ且ツ其謄本ヲ既ニ債務者ニ送達シ又ハ強制執行ト同時ニ之ヲ債務者ニ送達スルコト(五二九、二)

右ニ述ヘタル場合ニ於テハ執行スヘキ判決ノ執行力アル正本ハ債権者カ保證ヲ立テタルヤ否ヤヲ調査セスシテ之ヲ付與スルモノトス而シテ債権者カ保證ヲ立テタルヤ否ヤハ執行機關ノ自ラ調査スヘキ所ニ係ルモノナリ是レ何レモ既ニ述ヘタル所トス故ニ此場合ニ於テハ債権者ハ保證ヲ立テタルコトヲ示ス公正ノ證明書ヲ強制執行ノ前ニ執行機關ニ提出シテ之ヲ證明セサルヘカラサルモノト謂フヘシ

債権者カ保證ヲ立テタルコトヲ示ス公正ノ證明書ノ謄本ヲ債務者ニ送達スルトキハ債務者ハ強制執行ノ條件カ存在スルヤ否ヤヲ調査スルコトヲ得ルモノト謂フヘシ

(五)豫備又ハ後備ノ軍籍ニ在ラサル軍人又ハ軍屬ニ對シテ強制執行ヲ爲ス場合ニ於テハ其上班司令官應ニ強制執行ノ通知ヲ爲スコト(五三〇)本號ノ要件ハ軍隊ノ紀律ヲ重ニスル主意ニ出テタルモノニ外ナラサルナリ」強制執行ノ通知ハ債権者又ハ強制執行ヲ爲スヘキ執達吏若クハ裁判所ヨリ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ而シテ債権者カ強制執行ノ通知ヲ爲シタル場合ニ於テハ其旨ヲ執行ノ前ニ強制執行ヲ爲スヘキ執達吏又ハ裁判所ニ證明スヘキモノトス

強制執行ノ通知ヲ受ケタル前述ノ官廳ハ債権者ノ要求ニ依リ其通知ヲ受ケタル旨ノ證明書ヲ之ニ付與スヘキモノトス

以上述ヘタル所ニ依レハ強制執行ヲ爲スカ爲メニ債務者ニ種々ノ書類ヲ送達スルノ必要アルモノナリト雖モ債務者ノ所在明ナラサルトキ又ハ債務者カ外

國ニ在ルトキハ其送達ヲ爲スコトヲ要セサルモノトス(五四二)

第八章 執行異議ノ訴

第一節 債務者ノ執行異議ノ訴

判決其他ノ執行名義ノ趣旨ニ依レハ請求カ現ニ辨濟セラルヘキモノナルトキハ請求カ實際存在セス又ハ實際其辨濟ヲ爲スコトヲ要セサルトキト雖モ債権者ハ執行權ヲ有スルモノニシテ強制執行ハ之ヲ許スヘキモノト謂ハサルヘカラス然レトモ強制執行ハ債権者ヲシテ請求ノ辨濟ヲ得セシムルカ爲メニ之ヲ爲スモノナルカ故ニ判決其他ノ執行名義ニ依リテ確定セル請求カ實際存在セス又ハ實際其辨濟ヲ爲スコトヲ要セサル場合ニ於テ強制執行ヲ爲スハ其當ヲ得ス從テ此場合ニ於テハ判決其他ノ執行名義ニ依リ確定セル請求ニ關スル債務者ノ異議ニ基キ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル裁判ヲ爲スニ依リテ執行權ヲ消滅セシメ以テ強制執行ヲ爲スコトヲ得サルニ至ラシムル必要アリ然レトモ斯ル異議ハ判決其他ノ執行名義ノ趣旨ニ反スルモノナルカ故ニ債務者ハ

訴ヲ以テノミ之ヲ主張スヘキモノト定メタリ是レ即チ現行法上債務者ノ執行異議ノ訴ノ存スル所以ナリ(五四五、五五〇、一號、五六一、五六〇乃至五六二)右ニ述ヘタル所ニ依レハ債務者ノ執行異議ノ訴ハ判決其他ノ執行名義ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ヲ主張スル債務者カ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ヲ求ムルカ爲メ債權者ニ對シテ提起スル訴ナリト謂フヘシ此訴ハ其性質上權利變更ノ訴ニシテ確認ノ訴ニ非ス蓋シ債權者ノ執行異議ノ訴ニ基キテ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ハ請求カ實際存在セス又ハ實際其辨濟ヲ爲スコトヲ要セサルカ爲メニ執行權ノ消滅ヲ來スヘキコトヲ宣言スルモノニ外ナラスシテ單ニ其不存在ヲ確定スルモノニ非サルヲ以テナリ債務者カ執行異議ノ訴ヲ提起シテ判決其他ノ執行名義ニ依リ確定セル請求ニ關スル異議ヲ主張スルハ斯ル請求カ實際存在セサルコトヲ主張スルカ又ハ實際其辨濟ヲ爲スコトヲ要セサルコトヲ主張シ以テ斯ル請求ヲ争フモノニ外ナラサルナリ故ニ判決其他ノ執行名義ニ依リテ確定セル請求カ辨濟若クハ時効ニ依リテ消滅シタルトキ又ハ斯ル請求カ讓渡ニ依リ債權者ノ爲メニ存在セサルニ

至リタルトキ又ハ債務者カ相續人トシテ限定承認ヲ爲シタルカ爲メ斯ル請求ノ全部若クハ一部カ債務者ニ對シテ存在セサルトキ又ハ斯ル請求カ辨濟ノ猶豫ニ依リ現ニ其辨濟ヲ爲スコトヲ要セサルトキハ債務者ハ執行異議ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ヘシ(民一〇二五)又判決其他ノ執行名義ニ依リテ確定セル請求ノ爲メニ存スル抵當權ノ目的タル不動産ノ代金カ斯ル請求ヲ辨濟スルニ足ルカ爲メ債權者カ債務者ニ屬スル他ノ財産ニ付キ斯ル請求ノ辨濟ヲ求ムルコトヲ得サル場合ニ於テハ債務者ハ他ノ財産ニ對スル強制執行ニ關シテ執行異議ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ルモノトス(民三九四)

債務者ノ執行異議ノ訴ハ判決其他ノ執行名義ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ヲ主張シ以テ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ヲ求ムルモノナルカ故ニ第五百四十五條ニ規定スル判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ヲ主張スル債務者ノ執行異議ノ訴ハ判決カ確定シ又ハ判決ノ假執行ノ宣言アリタル場合即チ判決カ一ノ執行名義タルカ爲メ之ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ於テ之ヲ提起スヘキモノト謂フヘシ債務者カ執行異議ノ訴ヲ提

起スルニ當リテハ判決其他ノ執行名義ニ依ル強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ヲ求ムル申立ヲ爲スヘキモノトス

債務者カ執行異議ノ訴ヲ提起シ以テ判決其他ノ執行名義ニ依リ確定セル請求ニ關スル異議ヲ主張スルニ當リテハ訴ノ原因トシテ其異議ノ原因タル事實ヲ主張スヘキモノトス而シテ斯ル請求カ實際存在セサルコトヲ明ニスヘキ事實又ハ實際斯ル請求ノ辨濟ヲ爲スヲ要セサルコトヲ明ニスヘキ事實ハ何レモ斯ル請求ニ關スル異議ノ原因タル事實ナルカ故ニ債務者ハ執行異議ノ訴ノ原因トシテ之ヲ主張セサルヘカラサルナリ

執行名義タル判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ遅クトモ異議(詳言セハ事實上ノ原因ニ基ク異議)ヲ主張スルコトヲ要スル口頭辯論ノ終結後ニ其原因(詳言セハ其原因タル事實)ヲ生シタルトキニ限り執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ルモノトス(五四五)是レ判決カ既判力ヲ有スルニ至ラハ當事者ハ前訴訟ニ於テ事實ヲ主張スルコトヲ得ヘカリシ口頭辯論ノ終結後ニ生シタル事實ノミニ基キテ判決ノ趣旨ニ反スル主張ヲ

爲スコトヲ得ルモノナルカ爲メニ存スル制限ナリ此點ニ付キテハ判決ノ既判力ニ關スル説明ヲ参照スヘシ凡ソ第一審及ヒ控訴審ニ於テハ判決ニ接着スル口頭辯論ノ終結ニ至ルマテ請求ニ關スル事實上ノ原因ニ基ク異議ヲ主張スルコトヲ得ヘシト雖モ上告審ニ於テハ斯ル異議ヲ主張スルコトヲ得サルカ故ニ控訴ノ提起ナキカ又ハ控訴カ提起セラルルモ其ノ不適法ナルカ爲メ若クハ其取下アリタルカ爲メニ控訴審ニ於テ請求ニ關スル辯論ヲ爲ササル場合ニ於テハ法律上遅クトモ請求ニ關スル事實上ノ原因ニ基ク異議ヲ主張スルコトヲ要スル口頭辯論ハ第一審ニ於ケル判決ニ接着スル口頭辯論トシ又適法ナル控訴ノ提起アリタルカ爲メニ控訴審ニ於テ請求ニ關スル辯論ヲ爲シタル場合ニ於テハ法律上遅クトモ請求ニ關スル事實上ノ原因ニ基ク異議ヲ主張スルコトヲ要スル口頭辯論ハ控訴審ニ於ケル判決ニ接着スル口頭辯論トス故ニ適法ナル控訴ノ提起ナキカ爲メ控訴審ニ於テ請求ニ關スル辯論ヲ爲ササル場合ニ於テハ執行名義タル判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ハ第一審判決ニ接着スル口頭辯論ノ終結後ニ其原因タル事實例ヘハ債務ノ辨濟若クハ免除アリタ

ルコト又ハ其辨濟ノ猶豫アリタルコトノ生シタルトキニ限り債務者ハ執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ヘク又適法ナル控訴ノ提起アリタルカ爲メ控訴審ニ於テ請求ニ關スル辯論ヲ爲シタル場合ニ於テハ執行名義タル判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ハ控訴審ノ判決ニ接着スル口頭辯論ノ終結後ニ其原因タル事實ノ生シタルトキニ限り債務者ハ執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ヘシ而シテ證書訴訟又ハ爲替訴訟ニ於テ防禦方法ヲ提出スル權利ヲ被告ノ爲メニ留保シテ之ニ敗訴ヲ言渡ス判決ヲ爲シタル場合ニ於テハ被告ハ留保判決ノ言渡後ニ於ケル口頭辯論ノ終結ニ至ルマテ一切ノ防禦方法ヲ提出スルコトヲ得ルモノナルカ故ニ此判決ノ言渡後ニ請求ニ關スル辯論ヲ爲シタル場合ニ於テハ執行名義タル留保判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ハ其原因タル事實カ此判決ノ言渡後ニ於ケル口頭辯論ノ終結後ニ生シタル限りハ債務者ハ執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ルモノトス(四九一、四九二)又控訴審ニ於テ時機ニ後レテ被告ノ提出セル或防禦方法ヲ被告ノ爲メニ留保シテ之ニ敗訴ヲ言渡ス判決ヲ爲シタル場合ニ於テハ被告ハ留保

判決ノ言渡後ニ於ケル口頭辯論ニ於テ其防禦方法ノミヲ提出スルコトヲ得ルモノニシテ他ノ防禦方法ヲ提出スルコトヲ得サルモノナルカ故ニ執行名義タル留保判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ハ其原因タル事實カ此判決ニ接着スル口頭辯論ノ終結後ニ生シタル限りハ債務者ハ執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ルモノナリ(四二六)又準備手續ヲ命シタル場合ニ於テハ受命判事ノ面前ニ於テ提出シ且ツ調書ヲ以テ明確ニセサル防禦方法ハ第二百七十二條ノ規定ニ從ヒ後日之ヲ提出スルコトヲ得サルニ至ルモノナルカ故ニ此手續ヲ命シタル場合ニ於テハ執行名義タル判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ハ其原因タル事實カ第二百七十二條ノ規定ニ從ヒテ異議ヲ主張スルコトヲ得サルニ至リタル後ニ生シタル限りハ債務者ハ執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ヘシ

執行名義タル判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議カ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ遅クトモ異議ヲ主張スルコトヲ要スル口頭辯論ノ終結前ニ其原因ノ生シタルトキハ債務者ハ右ニ述ヘタル所ニ依リ執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張ス

ルコトヲ得スト雖モ判決カ確定セサル間ハ控訴ヲ以テ其異議ヲ主張スルコトヲ得ヘク又判決カ確定シタル後ハ再審ノ理由ノ存スル場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起シ本案ノ口頭辯論ニ於テ之ヲ主張スルコトヲ得ヘシ
債務者カ執行異議ノ訴ヲ以テ判決以外ノ執行名義ニ依リ確定セル請求ニ關スル異議ヲ主張スルニハ其原因カ何レノ時期ニ生シタルコトヲ必要トスルヤニ付キテハ後ニ至リテ説明スヘシ

請求カ執行名義タル闕席判決ニ依リテ確定セル場合ニ於テハ其請求ニ關スル異議ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ遅クトモ異議ヲ主張スルコトヲ要スル口頭辯論ノ終結後ニ其原因ヲ生シタル外尙ホ故障ノ申立ニ依リテ之ヲ主張スルコトヲ得サルトキニ非サレハ債務者ハ執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ス(五四五、二)然レトモ現ニ故障ノ申立ニ依リテ其異議ヲ主張スルコトヲ得ル限リハ假令前ニ故障ノ申立ニ依リテ之ヲ主張スルコトヲ得ヘカリシトキト雖モ債務者ハ執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ヘシ今此ノ如ク執行名義タル闕席判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ヲ故障ノ申立ニ依リテ

主張スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ債務者ハ執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得サルモノト定メタル所以ハ他ナシ此場合ニ於テハ別ニ簡便ナル故障ノ申立ニ依リテ此異議ヲ主張スルノ道アルヲ以テナリ
執行名義タル判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ハ債務者カ控訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ヘキト雖モ執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ヘシ而シテ債務者カ執行名義タル判決ニ對シテ控訴ヲ提起スルコトヲ得ルニ拘ラス執行異議ノ訴ヲ提起スルハ第一審判決カ未タ確定セサルモ其假執行ノ宣言アルカ爲メ之ニ基キテ強制執行ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ於テ之ヲ見ルモノトス故ニ假執行ノ宣言アル第一審判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ノ原因カ第一審ノ口頭辯論ノ終結後ニ生シタル場合ニ於テ其判決カ未タ確定セサルトキハ債務者ハ其選擇ニ從ヒ控訴又ハ執行異議ノ訴ヲ以テ此異議ヲ主張スルコトヲ得ヘシ然レトモ債務者カ控訴ヲ提起スルトキハ第一審判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル一切ノ異議ヲ主張シ以テ其判決ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ヘク且ツ其判決ヲ變更スル判決ノ言渡アルトキハ假執行ノ宣言ハ當

然其效力ヲ失フヘキカ故ニ債務者カ控訴ヲ提起スルトキハ執行異議ノ訴ヲ以テ假執行ノ宣言アル第一審判決ニ依リ確定セル請求ニ關スル異議ヲ主張スルニ付キ最早利益ヲ有セサルニ至ルモノト謂フヘシ(五一〇、一)從テ控訴カ提起セラレタル後ニ至リテ執行異議ノ訴カ提起セラレタルトキ又ハ此訴カ提起セラレタル後ニ至リテ控訴カ提起セラルトキハ此訴ハ之ヲ理由ナシト認メサルヘカラサルナリ之ニ反シテ債務者ハ執行異議ノ訴ヲ提起シタル後ト雖モ控訴ヲ提起スルニ付キ利益ヲ有スルモノト謂ハサルヘカラス蓋シ控訴ニ依リテ達スヘキ目的ハ執行異議ノ訴ニ依リテ之ヲ達スルコト能ハサルヲ以テナリ故ニ執行異議ノ訴カ提起セラレタル後ニ至リテ控訴カ提起セララルモ之ヲ理由ナシト認ムヘカラサルモノト謂フヘシ

債務者カ執行異議ノ訴ヲ提起スルニ當リテ數箇ノ異議ヲ有スルトキハ此訴ヲ以テ同時ニ之ヲ主張スルコトヲ要スルモノトス(五四五、三)故ニ債務者カ執行異議ノ訴ヲ提起スルニ當リテ其ノ有スル或異議ヲ他ノ異議ト共ニ主張セサルトキハ後日執行異議ノ訴ヲ以テ其異議ヲ主張スルコトヲ得サルニ至ルモノトス

是レ債務者カ數箇ノ異議ヲ有スル場合ニ於テ順次ニ執行異議ノ訴ヲ提起シ以テ強制執行ノ遅延ヲ來スコトアルヲ防クニ必要ナル所ナリ(五四七、二)執行異議ノ訴ノ提起後ニ生シタル原因ニ基ク異議ハ此訴ヲ提起スルニ當リテ債務者ノ有スル異議ナリト謂フヘカラス而シテ債務者カ執行異議ノ訴ノ提起後ニ知リタル異議ハ此訴ヲ提起スルニ當リテ實際之ヲ主張スルコト能ハサリシカ故ニ斯ル異議モ亦此訴ヲ提起スルニ當リテ債務者ノ有スル異議ナリト謂フヘカラスナルナリ

右ニ述ヘタル所ニ依レハ執行異議ノ訴ノ提起後ニ生シタル原因ニ基ク異議及ヒ其後ニ債務者ノ知リタル異議ハ債務者カ後日執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ルモノト謂フヘシ
以上述ヘタル所ニ依リ債務者カ執行異議ノ訴ヲ以テ判決其他ノ執行名義ニ依リ確定セル請求ニ關スル異議ヲ全ク主張スルコトヲ得サル場合ニ於テハ其訴ハ之ヲ理由ナシト認ムヘキモノナリ

債務者ハ強制執行ノ開始セサルトキト雖モ執行異議ノ訴ヲ提起シ以テ強制執

行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ヲ求ムルコトヲ得ヘシ蓋シ債務者ハ此場合ニ於テモ斯ル判決ヲ得ルニ付キ利益ヲ有スルヲ以テナリ然レトモ強制執行ノ終了シタルトキハ債務者ハ斯ル判決ヲ得ルニ付キ利益ヲ有セサルニ至ルモノナルカ故ニ執行異議ノ訴ヲ提起シ以テ斯ル判決ヲ求ムルコトヲ得サルモノトス從テ此場合ニ於テハ債務者ノ執行異議ノ訴ハ之ヲ理由ナシト認メサルヘカラサルナリ

執行名義タル判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル債務者ノ執行異議ノ訴ハ第一審ノ受訴裁判所ニ提起スヘキ訴ナリ(五四五、一)故ニ此訴ハ此裁判所ノ土地ノ管轄ニ專屬スルノミナラス(五六三)訴訟物ノ價額ノ如何ニ拘ラス此裁判所ノ事物ノ管轄ニ專屬スルモノト謂フヘシ茲ニ所謂第一審ノ受訴裁判所トハ執行名義タル判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル訴訟カ第一審ニ於テ繫屬シタル裁判所ヲ指スモノトス判決以外ノ執行名義ニ依リテ確定セル請求ニ關スル債務者ノ執行異議ノ訴ヲ管轄スル裁判所ノ如何ハ後ニ説明スル所ナリ

債務者ノ執行異議ノ訴カ理由アルトキハ異議アル請求ヲ確定セル判決其他ノ

執行名義ニ依ル強制執行ヲ許サ、ル旨ヲ宣言スル判決ヲ爲スヘキモノトス債務者ハ此判決ノ假執行ノ宣言アルトキ又ハ此判決カ確定シタルトキハ其正本ヲ執行機關ニ提出シテ強制執行ヲ妨クルコトヲ得ヘシ(五五〇、一號、五五一)

債務者ノ執行異議ノ訴ハ執行停止ノ效力ヲ有セス故ニ強制執行ノ開始又ハ續行ハ其提起ニ依リテ妨ケラル、コトナシ(五四七、一)然レトモ異議ノ爲メ主張シタル情況カ法律上理由アリト見エ且ツ事實上ノ點ニ付キ疏明アリタルトキハ受訴裁判所ハ債務者ノ申立ニ依リ判決ヲ爲スニ至ルマテ保證ヲ立テシメ若クハ之ヲ立テシメスシテ強制執行ヲ停止スヘキコトヲ命シ又ハ保證ヲ立テシメテ強制執行ヲ續行スヘキコトヲ命シ又ハ既ニ爲シタル執行處分ヲ保證ヲ立テシメテ取消スヘキコトヲ命スルコトヲ得ヘシ(五四七、二)判決ヲ爲スニ至ルマテ強制執行ヲ停止スヘキコトヲ命スル裁判ハ強制執行ノ一時ノ停止ヲ命スルモノニ外ナラス又保證ヲ立テシメテ強制執行ヲ續行スヘキコトヲ命スル裁判ハ債權者カ保證ヲ立テサル限りハ既ニ開始セル強制執行ヲ一時停止スヘキコトヲ命スルモノニ外ナラス強制執行ノ停止若クハ續行又ハ執行處分ノ取消ニ關

スル前述ノ裁判ハ強制執行ニ付キ訴訟ノ繫屬中ニ於ケル假ノ處置ヲ命スルモノナルカ故ニ判決ヲ確定スル限リハ其效力ヲ失フモノトス茲ニ所謂受訴裁判所トハ訴訟カ第一審又ハ上級審ニ於テ現ニ繫屬スル裁判所ヲ指スモノナリ急迫ナル場合即チ受訴裁判所ノ裁判ヲ待ツノ暇ナキ場合ニ於テハ裁判長ハ第五百四十七條第二項ニ掲クル前述ノ裁判ヲ爲スコトヲ得ヘシ(五四七三)又此場合ニ於テハ債務者ノ執行異議ノ訴カ提起セラレタルト否トヲ問ハス執行裁判所モ亦此裁判ヲ爲スコトヲ得ルモノトス然レトモ執行裁判所カ此裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ受訴裁判所ノ裁判ヲ執行裁判所ニ提出スヘキ期間ヲ定ムヘキモノナリ故ニ債務者カ未タ執行異議ノ訴ヲ提起セサルトキハ之ヲ提起セサルヘカラサルニ至ルモノトス蓋シ受訴裁判所ハ此訴ノ提起アリタル場合ニ限リ第五百四十七條第二項ノ裁判ヲ爲スモノナルヲ以テナリ若シ債務者カ此期間ヲ徒過シタルトキハ執行裁判所ノ裁判ハ當然效力ヲ失フモノニシテ執行機關ハ債權者ノ申立ニ依リ何等ノ裁判ヲ待タスシテ強制執行ヲ續行スヘキモノナリ(五四七四)從テ債務者ハ執行裁判所カ前述ノ裁判ヲ爲シタル場合ニ於テモ受訴

裁判所ニ此裁判ヲ爲スコトヲ求ムル申立ヲ爲サ、ルヘカラス債務者カ前述ノ期間ヲ徒過シタル後ト雖モ第五百四十七條第二項ニ掲クル受訴裁判所ノ裁判ヲ得テ之ヲ執行機關ニ提出スルトキハ第五百五十條及ヒ第五百五十一條ノ規定ニ基キ強制執行ノ一時ノ停止又ハ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ヲ爲サ、ルヘカラサルナリ債務者カ裁判長又ハ執行裁判所ニ前述ノ裁判ヲ求ムル申立ヲ爲スニ當リテハ第五百四十七條第二項ノ規定ニ從ヒテ疏明ヲ爲ス外急迫ノ場合ナルコトヲ疏明スヘキモノトス

第五百四十七條第二項ニ掲クル裁判ヲ求ムル債務者ノ申立ハ口頭辯論ニ於テ又ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ而シテ執行異議ノ訴ヲ提起スルニ當リ訴狀ニ此申立ヲ掲クルモ亦可ナリ此申立ニ關シテハ決定ヲ以テ裁判ヲ爲スヘキモノトス此裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ルモノナリ(五四七三)而シテ此裁判ヲ爲ス手續ハ強制執行手續ニ屬スルモノナルカ故ニ第五百五十八條ノ規定ニ從ヒ此裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ受訴裁判所ハ異議ニ付キ裁判ヲ爲ス判決ニ於テ申立ナキニ拘ラス第五百四十

七條ニ掲クル前述ノ裁判ヲ爲スコトヲ得ルモノトス唯此判決ニ於テ強制執行ヲ許サ、ル旨ヲ宣言スルニ當リ假執行ノ宣言ヲ爲ストキハ斯ル裁判ヲ爲スノ必要ナシト知ルヘシ又受訴裁判所ハ異議ニ付キ裁判ヲ爲ス判決ニ於テ申立ナキニ拘ラス既ニ發セラレタル第五百四十七條ニ掲クル前述ノ裁判ヲ取消シ變更シ又ハ認可スルコトヲ得ヘシ(五四八、一)異議ニ付キ裁判ヲ爲ス判決ニ於テ第五百四十七條ニ掲クル前述ノ裁判ヲ爲シ又ハ既ニ發セラレタル此裁判ヲ取消シ變更シ又ハ認可スルトキハ此等ノ點ニ關シ職權ヲ以テ其判決ノ假執行ヲ宣言スヘキモノトス(五四八、二)

受訴裁判所カ異議ニ付キ裁判ヲ爲ス判決ニ於テ第五百四十七條ニ掲クル前述ノ裁判ヲ爲シ又ハ既ニ發セラレタル此裁判ヲ取消シ變更シ若クハ認可スル裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ此等ノ裁判ハ其判決ノ一部ナルカ故ニ其判決ニ對スル上訴ヲ以テ此等ノ裁判ノミニ對シ又ハ本案ノ裁判ト共ニ此等ノ裁判ニ對シテ不服ヲ申立ツルコトヲ得ヘシ此等ノ裁判ニ對スル不服ノ申立ニ付キテハ第五百十一條ノ規定ヲ準用スヘキモノナリ(五四八、三)

以上述ヘタル規定ハ別段ノ規定アル場合ノ外判決以外ノ執行名義ニ依リテ確定セル請求ニ關スル債務者ノ執行異議ノ訴ニ準用セラルルモノトス(五六〇)今斯ル請求ニ關スル債務者ノ執行異議ノ訴ニ付キ特ニ説明ヲ爲スヘキモノハ左ノ如シ

(一)請求カ第五百五十九條第一號ニ掲クル執行名義タル裁判ニ依リテ確定セル場合ニ於テハ請求ニ關スル異議ハ其裁判前ノ手續ニ於テ法律上之ヲ主張スルコトヲ得ヘカラサリシトキニ限り執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ルモノトス是レ第五百四十五條第二項ノ準用ニ依リテ生スル結果ナリ而シテ其裁判ニ對シ抗告ヲ爲スコトヲ得ヘキトキト雖モ執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ妨ケス是レ執行名義タル判決ニ對シテ控訴ヲ提起スルコトヲ得ヘキトキト雖モ執行異議ノ訴ヲ以テ其判決ニ依リ確定セル請求ニ關スル異議ヲ主張スルコトヲ得ルニ依リテ自ラ明ナル所トス
請求ニ關シ異議ヲ主張スル訴ハ執行名義タル裁判ヲ爲シタル第一審裁判所之ヲ管轄スルモノナリ而シテ上級裁判所カ此裁判ヲ爲シタルトキハ其下級

ノ第一審裁判所其訴ヲ管轄スルモノトス

(二)請求カ執行名義タル執行命令ニ依リテ確定セル場合ニ於テハ其請求ニ關スル異議ハ執行命令ノ送達後ニ生シタル原因ニ基クトキニ限り執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ヘシ(五六一、二)然レトモ執行命令ノ送達前ニ生シタル原因ニ基ク異議ハ執行命令ニ對スル故障ノ申立ヲ爲スニ依リテノミ之ヲ主張スルコトヲ得ルモノトス(二五五、三九四)

請求ニ關シ異議ヲ主張スル訴ハ執行命令ヲ發シタル區裁判所ニ之ヲ提起スヘキモノトス然レトモ區裁判所カ事物ノ管轄權ヲ有セサルトキハ管轄地方裁判所ニ之ヲ提起スヘキモノナリ(五六一、三)

(三)請求カ執行名義タル公證人ノ作成ニ係ル公正證書ニ依リテ確定セル場合ニ於テハ其請求ニ關スル異議ハ其原因ノ何レノ時ニ生シタルヲ問ハス執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スルコトヲ得ヘシ(五六二、三)

請求ニ關シ異議ヲ主張スル訴ハ債務者カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ裁判所之ヲ管轄シ此裁判所ナキトキハ第十七條ノ規定ニ從ヒ債務者ニ對シテ訴ヲ提

起スルコトヲ得ヘキ裁判所之ヲ管轄スルモノトス(五六二、四)而シテ事物ノ管轄ハ一般ノ規定ニ依リテ定マルモノナリ

(四)請求カ執行名義タル和解ニ依リテ確定シタル場合ニ於テハ其請求ニ關スル異議ハ何レノ時ニ生シタルヲ問ハス之ヲ主張スルコトヲ得ヘシ蓋シ第五百四十五條第二項ノ規定ハ判決ノ既判力ト關係ヲ有スルモノナルカ故ニ之ヲ執行名義タル和解ニ依リテ確定セル請求ニ關スル執行異議ノ訴ニ準用スヘカラサルヲ以テナリ

請求ニ關シ異議ヲ主張スル訴ハ請求カ第五百五十九條第三號ノ和解ニ依リテ確定セル場合ニ於テハ第一審ノ受訴裁判所之ヲ管轄スルモノトス而シテ請求カ同條第四號ノ和解ニ依リテ確定セル場合ニ於テハ和解ヲ爲シタル區裁判所此訴ヲ管轄スルモノトス訴訟物ノ價額カ五百圓ヲ超過スルトキ亦同シ而シテ此事タルヤ執行名義タル判決ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ヲ主張スル債務者ノ執行異議ノ訴ハ訴訟物ノ價額ノ如何ニ拘ラス第一審ノ受訴裁判所ノ管轄ニ屬スルモノト定メタル現行法ノ精神ニ依リテ明ナル所ナリ

判決其他ノ執行名義ニ依リテ確定セル請求ニ關スル異議ハ以上述ヘタルカ如ク執行異議ノ訴ヲ以テ之ヲ主張スヘキモノナリト雖モ判決其他ノ執行名義ノ成立後ニ債權者カ辨濟ヲ受ケ又ハ辨濟ノ猶豫ノ承諾ヲ與ヘタルコトハ他ノ方法ニ依リテモ亦之ヲ主張スルコトヲ得ヘシ即チ執行機關ニ其事ヲ記載シタル證書ヲ提出シテ之ヲ主張スルコトヲ得ルモノトス(五五〇、四)

第二節 第三者ノ執行異議ノ訴

第三者カ強制執行ノ目的物即チ其目的物ト爲リタルモノニ關シテ權利ヲ有スル場合ニ於テハ強制執行カ第三者ノ權利ヲ侵スコト之ナキニ非ス而シテ強制執行ハ債務者ニ對シテ之ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ第三者ノ權利ヲ侵ス強制執行ハ許スヘカラサルモノトス從テ強制執行カ其目的物ニ關スル第三者ノ權利ヲ侵ス場合ニ於テハ第三者ハ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト謂フヘク且ツ此場合ニ於テハ其第三者ヲシテ強制執行ニ對スル異議ヲ主張スルコトヲ得セシムヘキモノト謂フヘシ

右ニ述ヘタル所ニ依レハ強制執行ヲ爲スニハ第三者カ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルヤ否ヤニ付キテ綿密ノ調査ヲ爲スヘキノミナラス第三者カ斯ル權利ヲ有スルコトヲ理由トシテ強制執行ニ對スル異議ヲ主張シタルトキハ其異議ノ當否ヲ調査シ其ノ不當ナルコトヲ明ニスルマテハ強制執行ヲ爲スヘカラサルコトヲ至當トスルカ如シ然レトモ強制執行ハ債權者ヲシテ速ニ請求ノ辨濟ヲ得セシメンカ爲メ迅速ニ之ヲ爲スノ必要アルノミナラス第三者ヲシテ猥ニ強制執行ヲ妨クルコトヲ得セシムヘカラサルカ故ニ第三者カ執行機關ニ對シテ強制執行ニ對スル異議ヲ主張スルノミニテハ強制執行ヲ停止シ又ハ既ニ爲シタル執行處分ヲ取消スコトナク唯第三者ノ異議ヲ正當ト認メテ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決アリタル後ニ至リテ強制執行ヲ停止シ且ツ既ニ爲シタル執行處分ヲ取消スヘキモノト爲スノ必要アリ是ヲ以テ現行法ニ於テハ第三者カ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルヤ否ヤニ付キテ綿密ノ調査ヲ爲スコトナク或一定ノ事情アルトキ(例ヘハ債務者カ差押フヘキ有體動産ヲ占有シ又ハ債權者カ差押フヘキ

債權ノ債務者ニ屬スルコトヲ主張スルトキハ直ニ強制執行ヲ爲スヘキモノト定メタルノミナラス強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルコトヲ主張スル第三者ノ強制執行ニ對スル異議ハ訴ヲ以テ之ヲ主張スヘキモノト定メ且ツ第三者カ強制執行ノ目的物ニ關シ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ヲ得テ執行力アル其判決ノ正本ヲ執行機關ニ提出シタルトキニ限リ強制執行ヲ停止シ且ツ既ニ爲シタル執行處分ヲ取消スヘキモノト定メタリ是レ現行法上第三者ノ執行異議ノ訴ノ存スル所以ナリ(五四九。五五〇。五五一)右ニ述ヘタル所ニ依レハ第三者ノ執行異議ノ訴ハ第三者カ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物即チ其目的物ト爲リタルモノニ付キ有スルコトヲ主張シテ其目的物ニ關シ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ヲ求ムルカ爲メニ提起スル訴ナリト謂フヘシ此訴ハ債權者カ強制執行ノ目的物ニ關シテ執行權ヲ有セサルコトヲ宣言スル判決ヲ求ムルモノニ外ナラサルカ故ニ此訴ノ目的物ハ第三者ノ權利ニ非スシテ債權者ノ執行權ナリト謂ハサルヘカラス

第三者カ執行異議ノ訴ヲ提起スルニ當リテハ強制執行ノ目的物ニ關シテ強制

執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ヲ求ムル申立ヲ爲スヘキモノトス唯第三者カ此申立ト同一ノ趣旨ニ歸着スル申立ヲ爲スハ實際尠カラス例ヘハ第三者カ執行異議ノ訴ヲ提起スルニ當リテ或有體動産ノ差押ヲ解クヘキコトヲ言渡ス判決ヲ求ムル申立ヲ爲スカ如シ

第三者カ執行異議ノ訴ヲ提起スルニハ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルコトヲ主張セサルヘカラス(五四九)故ニ第三者カ斯ル主張ヲ爲スハ執行異議ノ訴ヲ許スニ必要ナル條件ニシテ第三者カ斯ル主張ヲ爲ス限リハ此訴ヲ許スヘキモノト謂フヘシ然レトモ第三者カ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ實際有スルトキニ限リ執行異議ノ訴ヲ理由アリト認ムヘキモノトス故ニ斯ル權利ノ存在ヲ明ニスヘキ事實ハ強制執行ノ開始シタルコトト相待テ第三者ノ執行異議ノ訴ノ原因ヲ成スモノト謂フヘシ第五百四十九條ニ於テハ第三者カ強制執行ノ目的物ニ付キ所有權ヲ主張シ其他目的物ノ讓渡又ハ引渡ヲ妨クル權利ヲ主張スルトキハ訴ヲ以テ強制執行ニ對スル異議ヲ主張スルコトヲ得ル旨ヲ定メタリ是レ現行法カ強制執行ノ方法

トシテ其目的物ヲ讓渡シ又ハ引渡ス場合ノミニ着眼シテ規定ヲ設ケタルカ爲メニ外ナラサルナリ今若シ強制執行ノ方法カ獨リ其目的物ノ讓渡又ハ引渡ヲ爲スニ在リトモハ第三者カ強制執行ノ目的物ニ付キ所有權ヲ有シ其他其目的物ノ讓渡又ハ引渡ヲ妨クル權利ヲ有スルトキニ限り第三者ノ權利ハ強制執行ニ依リ侵サズルモノニシテ之ヲ妨クヘキモノト謂ハサルヘカラスト雖モ強制執行ノ方法ハ必シモ其目的物ノ讓渡又ハ引渡ヲ爲スニ限ラス強制管理ノ如キモ亦強制執行ノ一方法ナルカ故ニ第三者カ強制執行ノ目的物ニ付キ所有權ヲ有シ其他其目的物ノ讓渡又ハ引渡ヲ妨クル權利ヲ有スルトキニ限り第三者ノ權利ハ強制執行ニ依リ侵サルモノナリト謂フヲ得ス從テ第三者ハ斯ル場合ニ於テノミ強制執行ノ目的物ニ付キ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ有スルモノナリト謂フヲ得サルナリ而シテ第五百四十九條ノ規定ハ強制執行ノ總則ニ屬スルカ故ニ強制執行ノ目的物ニ付キ第三者ノ有スル權利カ強制執行ノ方法ノ如何ニ拘ラス強制執行ニ依リテ侵サルルカ爲メニ第三者カ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト謂フコトヲ得ヘキ限リハ其執行

異議ノ訴ヲ理由アリト認ムヘク且ツ第三者カ斯ル權利ヲ有スルコトヲ主張スルトキハ其執行異議ノ訴ヲ許スヘキモノト認メサルヘカラスト是レ第三者ノ執行異議ノ訴ヲ理由アリトシ又ハ之ヲ許スヘキモノトスルニ必要ナル條件ニ關シ現行法ノ規定ヲ補充シテ廣ク前述ノ説明ヲ爲シタル所以ナリ
 既ニ述ヘタル所ニ依レハ強制執行ノ目的物ニ付キ第三者ノ有スル權利カ強制執行ニ依リテ侵サルル場合ニ於テハ第三者ノ權利ハ強制執行ヲ妨クヘキ權利ナリト謂フヘシ今第三者カ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スル場合及ヒ然ラサル場合ニ付キ左ニ説明ヲ爲スヘシ
 (一) 第三者カ強制執行ノ目的物ニ付キ所有權ヲ有スル場合ニ於テハ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認ムヘキモノナリ
 (二) 強制執行ニ依リ或物ノ占有ヲ奪フヘキ場合ニ於テ第三者カ其物ヲ占有スルトキハ強制執行ニ依リテ第三者ノ占有ヲ侵スニ至ルカ故ニ此場合ニ於テハ第三者ハ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認ムヘキモノナリ

(三)強制執行ノ方法トシテ強制競賣又ハ強制管理ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ第三者カ其目的物タル土地ニ付キ地役權、地上權又ハ永小作權ヲ有スルモ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認ムヘカラス蓋シ地役權、地上權又ハ永小作權ノ目的物タル土地ノ強制競賣ヲ爲スニ當リテハ其土地カ競落人ノ所有ニ歸スルモ地役權者、地上權者又ハ永小作人ハ依然其土地ノ上ニ地役權、地上權又ハ永小作權ヲ行使スルコトヲ得ヘク又地上權又ハ永小作權ノ目的物タル土地ノ強制管理ヲ爲スニ當リテハ地上權者又ハ永小作人ハ其ノ支拂フヘキ地代又ハ小作料ヲ管理人ニ支拂フコトヲ要スルニ止マリ依然土地ノ上ニ其權利ヲ行使スルコトヲ得ヘキヲ以テナリ(七〇七)

(四)強制執行ノ方法トシテ差押ヘタル不動産ニ付キ擔保物權ヲ有スル者ハ強制競賣ニ依ル強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認ムヘカラス蓋シ強制競賣ノ目的物タル不動産ニ付キ擔保物權ヲ有スル者ハ其賣却代金ヲ以テ自己ノ債權ノ優先ノ辨濟ヲ受クルカ又ハ其不動産

カ競賣ニ依リテ競落人ノ所有ニ歸スルモ依然其不動産ノ上ニ權利ヲ有スルカ爲メ強制執行ニ依リテ其權利ノ侵サル結果ヲ生セサルヲ以テナリ(六四九、六九九)又差押不動産ニ付キ抵當權又ハ先取特權ヲ有スル第三者ハ強制管理ニ依リ其權利ヲ侵サルコトナキカ故ニ強制管理ニ依ル強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認ムヘカラス然レトモ第三者カ差押ヘタル有體動産ニ付キ留置權又ハ質權ヲ有スルトキハ其占有者ナルカ爲メ第五百六十五條ノ規定アルニ拘ラス第二號ニ述ヘタル所ニ從ヒテ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認メサルヘカラス(民二九五、三五二)又第三者カ差押不動産ニ付キ質權ヲ有スルトキハ其不動産ノ使用及ヒ收益ヲ爲スコトヲ得ヘキカ爲メ強制管理ニ依ル強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認メサルヘカラサルナリ(七〇七、民三五六、三五二)又差押ヘタル有體動産ニ付キ先取特權ヲ有スル第三者ハ差押ヲ妨クルコトヲ得サルモ訴ヲ以テ賣得金ニ付キ優先ノ辨濟ヲ求ムル權利ヲ主張スルコトヲ得ルモノニシテ斯ル第三者カ賣得金ニ

付キ優先ノ辨濟ヲ求ムル權利ヲ主張スルハ賣得金ニ付キ自己ニ優先ノ辨濟ヲ爲スニ非サレハ強制執行ヲ許スヘカラサルコトヲ主張スルモノニ外ナラサルカ故ニ差押ヘタル有體動産ニ付キ存在スル第三者ノ先取特權ハ差押ニ關シテ強制執行ヲ妨クヘキ權利ニ非スト雖モ賣得金ノ配當ニ關シテ強制執行ヲ妨クヘキ權利ナリト謂フヘシ故ニ差押ヘタル有體動産ニ付キ先取特權利ヲ有スル第三者ハ賣得金ノ配當ニ關シテ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認メサルヘカラサルナリ

(五)強制執行ノ方法トシテ差押ヘタル債權其他ノ財産權カ第三者ニ屬スル場合ニ於テハ第三者ハ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認ムヘキモノナリ

(六)第三者カ所有權ヲ債務者ニ移轉セシテ之ニ引渡シタル物ニシテ強制執行ノ目的物タルモノノ返還ヲ求ムル債權ヲ債務者ニ對シテ有スル場合ニ於テ強制執行ニ依リ其物ノ占有ヲ奪フヘキトキハ第三者ハ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認メサルヘカラス蓋シ此場

合ニ於テハ債務者ハ第三者ノ爲メニモ占有ヲ爲スモノト謂ハサルヘカラサルヲ以テナリ例ヘハ第三者カ使用貸借若クハ賃貸借ニ依リ又ハ寄託若クハ委任ニ依リテ債務者ニ引渡シタル物カ強制執行ノ目的物タル場合ニ於テハ其第三者ハ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認ムヘキカ如シ

(七)第三者カ強制執行ノ目的物タル物又ハ權利ニシテ債務者ニ屬スルモノノ讓渡ヲ求ムル債權ヲ債務者ニ對シテ有スル場合ニ於テハ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認ムヘカラス又第三者カ強制執行ノ目的物タル物ノ所有權又ハ其目的物タル權利ヲ一旦債務者ニ移轉セル限リハ假令其回復ヲ求ムル債權ヲ債務者ニ對シテ有スルトキト雖モ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト認ムヘカラス蓋シ此等ノ場合ニ於テハ強制執行ニ依リテ第三者ノ權利ヲ侵ス結果ヲ生スルモノト謂フヘカラサルヲ以テナリ

第三者ノ執行異議ノ訴ハ強制執行ノ繼續中ニ非サレハ之ヲ理由アリト認ムル

コトヲ得ス蓋シ此訴ハ前述ノ如ク第三者カ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物即チ其目的物ト爲リタルモノニ付キ實際有スルトキニ限り之ヲ理由アリト認ムヘキモノニシテ強制執行ノ繼續中ニ非サレハ第三者ハ強制執行ヲ妨クヘキ權利ヲ強制執行ノ目的物ニ付キ有スルモノト謂フヲ得サルヲ以テナリ故ニ第三者カ執行異議ノ訴ヲ提起シタル後ニ至リテ強制執行カ終了シタルトキハ其訴ハ理由ナキニ至ルモノト謂ハサルヘカラス從テ此場合ニ於テハ第三者ノ執行異議ノ訴ハ理由ナシトシテ却下セラルルニ至ルモノトス然レトモ強制執行ノ終了シタル場合ニ於テハ第三者ハ事情ニ從ヒ債權者ニ對シテ損害賠償ヲ求メ又ハ債務者ニ對シテ不當利得ノ返還ヲ求ムルコトヲ得ヘシ而シテ第三者カ執行異議ノ訴ヲ提起シタル後ニ至リ強制執行カ終了シタル場合ニ於テ訴ノ變更ヲ爲スコトヲ得ヘキトキハ斯ル請求ヲ爲スカ爲メニ新ニ訴ヲ提起スルコトヲ必要トセサルナリ加之ナラス第三者ハ強制執行其モノニ依リテ其目的物ニ付キ有スル權利ヲ失フコトナキカ故ニ強制執行ノ終了後ニ於テモ斯ル權利ヲ主張スルヲ得ヘシ例ヘハ第三者ノ所有物ヲ競賣セル場合ニ於テハ

競買人カ實體法ノ規定(例ヘハ民法第九十二條)ニ依リ所有權ヲ取得セサル限リハ第三者ハ之ニ對シテ其所有物ノ取戻ヲ求ムルコトヲ得ヘキカ如シ
 第三者ノ執行異議ノ訴ハ債權者(詳言セハ差押債權者)ニ對シテ之ヲ提起スヘキモノトス而シテ數多ノ債權者アルトキハ其數多ノ債權者ニ對シテ之ヲ提起スヘキモノナリ又債務者カ第三者ノ異議ヲ正當トセサルトキハ第三者ハ債權者及ヒ債務者ニ對シテ執行異議ノ訴ヲ提起スヘキモノトス是レ此場合ニ於テハ債務者ハ強制執行ニ對スル第三者ノ異議ニ付キ反對ノ利益ヲ有スルヲ以テナリ第三者カ債權者及ヒ債務者ニ對シテ執行異議ノ訴ヲ提起シタル場合ニ於テハ債權者及ヒ債務者ハ共同被告ト爲ルモノナリ(五四九、一、二)
 第三者ノ執行異議ノ訴ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬スルモノトス然レトモ其訴カ訴訟物ノ價額ニ從ヒテ區裁判所ノ事物ノ管轄ニ屬セサルトキハ執行裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所之ヲ管轄スルモノトス(五四九、三)凡ソ執行裁判所ハ執行行為ノ命及ヒ其行為ノ共力ニ付キ管轄權ヲ有スル區裁判所ニシテ訴ヲ管轄スヘキモノニ非サルカ故ニ前述ノ訴カ執行裁判所ノ管轄ニ屬スト謂ハハ

執行裁判所タル區裁判所カ受訴裁判所トシテ此訴ヲ管轄スルコトヲ指スモノニシテ執行裁判所トシテ之ヲ管轄スルコトヲ指スモノニ非スト知ルヘシ(五四)又前述ノ訴ニ關スル土地ノ管轄ハ第五百六十三條ノ規定ニ從ヒテ專屬トス然レトモ此訴ニ關スル事物ノ管轄ハ專屬ニ非サルナリ故ニ當事者ノ合意ヲ以テ之ヲ變更スルコトヲ得ヘシ

第三者ノ執行異議ノ訴カ理由アルトキハ強制執行ノ目的物即チ其目的物ト爲リタルモノニ關シテ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ヲ爲スヘキモノトス此判決ハ債權者カ強制執行ノ目的物ト爲リタルモノニ關シテ執行權ヲ有セサルコトヲ宣言スルモノニ外ナラサルナリ然レトモ裁判所カ斯ル宣言ト同一ノ趣旨ニ歸著スヘキ言渡ヲ爲スコトナキニ非ス例ヘハ第三者ノ執行異議ノ訴カ理由アル場合ニ於テ判決ヲ以テ或有體動産ニ對スル差押ヲ解クヘキ旨ヲ言渡スコトアルカ如シ第三者カ執行異議ノ訴ニ基キ前述ノ判決ヲ得タル場合ニ於テ執行力アル其判決ノ正本ヲ執行機關ニ提出シテ強制執行ノ停止及ヒ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ヲ求ムルコトヲ得ヘシ(五五〇、一號、五五一)

第三者ノ執行異議ノ訴ハ執行停止ノ效力ヲ有セス然レトモ強制執行ノ一時ノ停止及ヒ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ニ付キテハ第五百四十七條及ヒ第五百四十八條ノ規定ヲ準用スヘキモノトス唯執行處分ノ取消ハ保證ヲ立テシメスシテ之ヲ爲スコトヲ命スルコトヲモ得ルナリ是レ強制執行ハ第三者ニ對シテ之ヲ爲スモノニ非サルカ爲メニ外ナラス(五四九、四)第三者ノ執行異議ノ訴ニ基キテ命スヘキ強制執行ノ一時ノ停止ハ其目的物ト爲リタルモノノミニ關シテ之ヲ命スルコトヲ得ルモノナリ

強制執行ニ對スル第三者ノ異議ハ訴ヲ以テ之ヲ主張スヘキモノナリト雖モ或場合ニ於テハ第五百四十四條ノ規定ニ基キ訴ニ依ラスシテ執行裁判所ニ之ヲ提出スルコトヲ得ヘシ例ヘハ或有體動産ヲ占有スル第三者カ其提出ヲ拒ミタルニ拘ラス之ヲ差押ヘタル場合ノ如シ
以上述ヘタル第三者ノ執行異議ノ訴ニ關スル規定ハ判決以外ノ執行名義ニ依ル強制執行ニ準用セラルルモノトス(五六〇)

第九章 強制執行ノ方法又ハ手續ニ關スル 申立及ヒ異議

債權者債務者又ハ第三者ハ執行裁判所ニ強制執行ノ方法又ハ強制執行ニ際シ
 執達吏ノ遵守スヘキ手續ニ關スル申立又ハ異議ヲ提出スルコトヲ得ヘシ(五四
 四)茲ニ所謂強制執行ノ方法トハ執達吏又ハ執行裁判所ノ爲ス強制執行ノ方
 法ヲ指シ強制執行ニ際シテ執達吏ノ遵守スヘキ手續トハ執達吏カ民事訴訟法
 其他法令ノ規定ニ從ヒテ遵守スヘキ手續ヲ指スモノナリ又茲ニ所謂申立トハ
 執行裁判所又ハ執達吏カ其ノ爲スヘキ行爲ヲ爲ササル場合ニ於テ之ヲ求ムル
 申立及ヒ其他ノ申立ヲ指スモノニシテ茲ニ所謂異議トハ執行裁判所又ハ執達
 吏ノ行爲カ不當ナリト主張スルコトヲ指スモノトス
 債權者債務者又ハ第三者ノ申立ハ執達吏カ執行記録ノ閱覽ヲ許シ若クハ其贖
 本ヲ付與スヘキニ之ヲ拒ミタルカ如キ場合ニ於テ之ヲ見ルモノトス(五三八)又
 債權者ノ申立ハ執行機關カ強制執行ノ要求ヲ拒絕シ又ハ差押フヘキ物ヲ差押

ヘス又ハ強制執行ヲ遲延シ又ハ其停止後ニ之ヲ續行スヘキニ之ヲ續行セサル
 カ如キ場合又ハ第五百八十五條及ヒ第六百十三條等ノ場合ニ於テ之ヲ見ルモ
 ノナリ又債務者ノ申立ハ執達吏カ債權者ノ爲メニ辨濟ヲ受領シタルニ拘ラス
 執行力アル正本又ハ受取證ヲ債務者ニ交付スルコトヲ拒ミタルカ如キ場合又
 ハ第五百八十五條及ヒ第六百二條等ノ場合ニ於テ之ヲ見ルモノトス(五三三)又
 債權者ノ異議ハ執行機關カ強制執行ヲ停止スヘカラサルニ之ヲ停止シ又ハ執
 行處分ノ取消ヲ爲スヘカラサルニ其取消ヲ爲シタルカ如キ場合ニ於テ之ヲ見
 ルモノナリ(五五〇)又債務者ノ異議ハ執行機關カ爲スヘカラサル執行處
 分ヲ爲シ又ハ強制執行ニ著手スヘカラサルニ之ニ著手シ(五二八乃至五三〇)又
 ハ強制執行ヲ停止スヘキニ之ヲ續行シ(五五〇)又ハ差押フヘカラサル有體動産
 若クハ債權ヲ差押ヘ(五七〇)六一八)又ハ必要ノ程度ヲ超ヘテ差押ヲ爲シ(五六四)
 又ハ執行機關カ管轄權ヲ有セサルニ強制執行ヲ爲シタルカ如キ場合ニ於テ之
 ヲ見ルモノトス又第三者ノ異議ハ判決又ハ之ニ附記スル執行文ニ債務者トシ
 テ表示セラレサル者ニ對シテ強制執行ヲ爲シ(五二八)又ハ第三者カ其ノ占有ス

ル有體動産ノ提出ヲ拒ミタルニ之ヲ差押へ(五六七)又ハ第三債務者カ差押フヘカラサル債權ニ關スル差押命令ノ送達ヲ受ケタルカ如キ場合ニ於テ之ヲ見ルモノナリ(五九七)

右ニ述ヘタル第五百四十四條第一項ノ規定ニ依レハ執達吏カ強制執行ノ委任ヲ受クルコトヲ拒ミ又ハ委任ニ從ヒテ執行行爲ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ債權者ハ執行裁判所ニ申立ヲ爲スコトヲ得ヘク又執達吏ノ計算セル手数料ニ關シテ異議アル債權者又ハ債務者ハ執行裁判所ニ異議ヲ提出スルコトヲ得ルモノト謂フヘシ然ルニ第五百四十四條第二項ニ於テハ此等ノ點ニ付キ特ニ規定ヲ設ケタリ執達吏カ法律ニ依リテ職務ノ執行ヨリ除斥セララルル場合並ニ委任者カ執達吏ノ手数料及ヒ立替金ノ概算額ヲ豫納セサル場合及ヒ強制執行ヲ始ムルコトヲ得サル場合ヲ除キ執達吏カ委任ヲ受クルヲ拒ミタルコトヲ以テ不當ト認ムヘキモノトス(執達吏規則八)執達吏手数料規則一九而シテ執達吏ノ計算セル手数料ニ對スル異議ハ其手数料ノ額又ハ其手数料支拂ノ義務ニ關スルモノニ外ナラサルナリ

強制執行ノ方法又ハ強制執行ニ際シ執達吏ノ遵守スヘキ手續ニ關スル申立及ヒ異議ハ一定ノ期間内ニ制限セララルモノニ非ス而シテ強制執行手續カ終了シタル場合ニ於テモ尙ホ此申立ヲ爲スコトヲ得ルヤ否ヤハ此場合ニ於テ之ヲ爲スニ付キ正當ノ利益アルヤ否ヤニ依リテ定マルモノトス例ヘハ執達吏カ債務者ヨリ辨濟ヲ受領シタルニ拘ラス執行力アル正本ヲ債務者ニ交付セサルトキハ債務者ハ強制執行手續ノ終了後ト雖モ執行裁判所ニ申立ヲ爲スコトヲ得ヘキカ如シ

強制執行ノ方法又ハ強制執行ニ際シ執達吏ノ遵守スヘキ手續ニ關スル申立又ハ異議ハ執行裁判所ニ之ヲ提出スルコトヲ得ヘシト雖モ之ニ付キ訴ヲ以テ裁判ヲ求ムルコトヲ得サルナリ然レトモ債務者ハ第五百五十條第四號ノ證書ニ基キテ執行裁判所ニ強制執行ノ方法ニ關スル異議ヲ提出スルカ又ハ執行異議ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ヘク又第三者ハ或場合ニ於テ執行裁判所ニ強制執行ノ方法ニ關スル異議ヲ提出スルカ又ハ執行異議ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ヘシ例ヘハ或有體動産ヲ占有スル第三者カ其提出ヲ拒ミタルニ拘ラス之ヲ差押ヘ

タル場合ノ如シ

一一三二

前述ノ説明ニ依レハ債務者又ハ第三者ハ執行裁判所ノ執行處分タル裁判ニ對シテ執行裁判所ニ異議ヲ提出スルコトヲ得ルモノト謂フヘシ然レトモ此事タルヤ執行裁判所カ執行處分タル裁判ヲ爲ス前ニ債務者又ハ第三者ヲ審訊セサルトキニ限ルモノトス蓋シ此場合ニ於テハ執行裁判所ハ債務者又ハ第三者ニ陳述ヲ爲ス機會ヲ與ヘスシテ執行處分タル裁判ヲ爲シタルカ故ニ執行裁判所ニ之ニ對スル異議ヲ提出スルコトヲ得セシムル必要アリト雖モ反對ノ場合ニ於テハ斯ル必要ナキヲ以テナリ(五四三、二、五九七、六一三)夫レ此ノ如ク執行裁判所カ執行處分タル裁判ヲ爲ス前ニ債務者又ハ第三者ヲ審訊セサルトキハ債務者又ハ第三者ハ其裁判ニ對シテ執行裁判所ニ異議ヲ提出スルコトヲ得ヘシト雖モ其裁判ニ對シテ直ニ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ス唯執行裁判所ニ異議ヲ提出シ執行裁判所カ之ニ關スル裁判ヲ爲シタル後ニ至リ此裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ルノミ之ニ反シテ執行裁判所カ執行處分タル裁判ヲ爲ス前ニ債務者又ハ第三者ヲ審訊シタル場合ニ於テハ債務者又ハ第三者ハ其裁判ニ

對シテ執行裁判所ニ異議ヲ提出スルコトヲ得サルモ第五百五十八條ノ規定ニ從ヒ其裁判ニ對シテ直ニ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ(五四三、二)蓋シ執行裁判所ノ執行處分タル裁判ニ對シテ執行裁判所ニ異議ヲ提出スルコトヲ得セシムルニ拘ラス尙ホ其裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得セシムルトキハ下級裁判所及ヒ上級裁判所カ同一ノ問題ニ付キ同時ニ裁判ヲ爲ス結果ヲ生スルコトアルカ故ニ第五百五十八條ノ規定ノ適用ヲ制限スヘキ理由アリト雖モ執行裁判所ノ執行處分タル裁判ニ對シテ執行裁判所ニ異議ヲ提出スルコトヲ得セシメサルトキハ其裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得セシムルモ斯ル結果ヲ生スルコトナキカ故ニ此規定ノ適用ヲ制限スヘキ理由ナキヲ以テナリ又執行裁判所ノ執行處分タル裁判ハ債權者ノ申立ニ應スルモノナルカ故ニ債權者ハ之ニ對シテ異議ヲ提出スルヲ得サルコト勿論ナリト雖モ債權者ハ其申立ヲ却下スル執行裁判所ノ裁判ニ對シ一般ノ原則ニ從ヒテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ(五四三、二、五五八)

強制執行ノ方法又ハ強制執行ニ際シ執達吏ノ遵守スヘキ手續ニ關スル異議ハ

強制執行ヲ停止スル效力ヲ有セス然レトモ執行裁判所ハ此異議ニ付キ裁判ヲ爲ス前ニ第五百二十二條第二項ニ定ムル命ヲ發スルコトヲ得ヘシ即チ保證ヲ立テシメ若クハ之ヲ立テシメスシテ強制執行ヲ一時停止シ又ハ保證ヲ立テシメテ強制執行ヲ續行スヘキコトヲ命スルヲ得ルモノトス而シテ債務者又ハ第三者カ或執行處分ニ關シテ異議ヲ提出シタルトキハ其執行處分ノミヲ一時停止スヘキモノトス(五四四、一五五〇、二號)此等ノ裁判ハ強制執行ノ方法又ハ強制執行ニ際シ執達吏ノ遵守スヘキ手續ニ關スル異議ノ完結ニ至ルマテノ假ノ處置ヲ強制執行ニ付キ命スルモノナルカ故ニ其完結ト共ニ效力ヲ失フモノナリ』執行裁判所ハ強制執行ノ方法又ハ強制執行ニ際シ執達吏ノ遵守スヘキ手續ニ關スル申立又ハ異議ニ付キ決定ヲ以テ裁判ヲ爲スヘキモノトス此決定ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ(五四三、二)

強制執行ヲ爲スヘカラサルカ爲メ又ハ或執行處分ヲ爲スヘカラサルカ爲メニ債務者又ハ第三者ヨリ異議ヲ提出シタルトキハ執行裁判所ハ異議ニ關スル裁判ニ於テ事情ニ從ヒ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言シ若クハ其停止ヲ命シ又ハ

既ニ爲シタル執行處分ノ取消ヲ命スヘキモノトス

第一審ノ受訴裁判所カ強制執行ノ方法トシテ執行處分タル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ執行裁判所ニ強制執行ノ方法ニ關スル異議ヲ提出スルコトヲ得ス蓋シ或裁判ニ對スル異議ハ其裁判ヲ爲シタル裁判所ニ之ヲ爲スヘキモノト謂ハサルヘカラサルカ故ニ第一審ノ受訴裁判所カ執行處分タル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ執行裁判所ハ其裁判ニ對スル異議ニ付キ裁判ヲ爲スコトヲ得サルモノト謂ハサルヘカラサルヲ以テナリ然レトモ此場合ニ於テハ第一審ノ受訴裁判所ノ執行處分タル裁判ニ對シ一般ノ規定ニ從ヒテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ(五五八、七三五)

第十章 強制執行手續ニ於ケル抗告

強制執行手續ニ於テ口頭辯論ヲ經スシテ爲スコトヲ得ヘキ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ(五五八)而シテ實際口頭辯論ヲ經タルト否トハ之ヲ問ハサルナリ凡ソ強制執行手續ニ於ケル裁判ノ永ク確定セサルハ之ヲ避ケサ

ルヘカラス是レ法律カ強制執行手續ニ於テ口頭辯論ヲ經スシテ爲スコトヲ得ヘキ裁判ニ對スル不服申立ノ方法トシテ即時抗告ヲ選ヒ通常ノ抗告ヲ採ラサル所以ナリ茲ニ所謂裁判トハ終局的ノ裁判ヲ指スモノトス故ニ強制執行手續ニ於ケル終局的ノ裁判ニシテ口頭辯論ヲ經ルコトヲ要セサルモノニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ルモ其進行中ニ爲シタル訴訟指揮ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得サルナリ今強制執行手續ニ於ケル訴訟指揮ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得サルモノト解スル所以ハ他ナシ此裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ許スノ必要ナシト認ムヘキヲ以テナリ果シテ然ラハ強制執行手續ニ於ケル訴訟指揮ノ裁判ハ終局的ノ裁判ニ對スル即時抗告ノ提起ニ依リテ抗告裁判所ノ判斷ヲ受クルニ過キサルモノト謂フヘシ

執行裁判所ノ裁判ハ總テ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得ルモノナルカ故ニ毎ニ之ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(五四三)此他強制執行手續ニ於ケル裁判ニシテ口頭辯論ヲ經ルコトヲ要セサルモノアルカ故ニ之ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ハ決シテ尠カラサルヲ知ルヘシ(七

三五

右ニ述ヘタルカ如ク執行裁判所ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシト雖モ其執行處分タル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得サル場合アルハ既ニ述ヘタル所ニ依リテ之ヲ知ルヘシ

強制執行手續ニ於ケル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ル者ハ債權者及ヒ債務者ニ限ラス其裁判ニ依リテ利益ヲ害セラルル第三者モ亦之ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘシ例ヘハ執行裁判所ノ執行處分タル裁判ニ對シテ執行裁判所ニ異議ヲ提出シタル第三者ハ其異議ニ關スル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ヘキカ如シ

第十一章 強制執行ノ障礙

強制執行ノ停止制限又ハ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ヲ爲スコトヲ要スル事情アルトキハ是レ即チ強制執行ノ障礙ノ存在スルモノト謂フヘシ強制執行ヲ始ムルコトヲ妨クル事情アルトキ亦同シ強制執行ノ停止トハ既ニ開始セル強

制執行ヲ續行セサルコトヲ謂ヒ強制執行ノ制限トハ其範圍ヲ減縮スルコトヲ謂ヒ執行處分ノ取消トハ執行處分ノ結果ヲ除クコトヲ謂フモノトス
 強制執行ハ債權者ノ要求ニ依リ之ヲ爲スモノナルカ故ニ債權者カ強制執行ノ開始後ニ其要求ヲ取消シタルトキハ強制執行ヲ停止シ且ツ既ニ爲シタル執行處分ヲ取消スコトヲ要スルモノニシテ債權者カ強制執行ノ制限其一時ノ停止又ハ既ニ爲シタル或執行處分ノミヲ取消ヲ求メタルトキハ強制執行ヲ制限シ一時之ヲ停止シ又ハ其執行處分ノミヲ取消スコトヲ要スルモノトス
 強制執行ハ左ノ場合ニ於テ債務者又ハ第三者ノ要求ニ依リ之ヲ停止シ又ハ制限スルコトヲ要スルモノトス(五五〇)

(一)執行スヘキ判決若クハ其假執行ノ宣言ヲ取消ス旨又ハ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言シ若クハ其停止ヲ命スル旨ヲ記載シタル執行力アル裁判ノ正本カ提出セラレタルトキ
 執行スヘキ判決ヲ取消ス旨ヲ宣言スル判決ハ上訴故障ノ申立原狀回復ノ申立又ハ再審ノ訴ニ基ク手續又ハ留保判決ノ言渡後ニ於ケル手續ニ於テ之ヲ

爲スモノニシテ執行スヘキ判決ノ假執行ノ宣言ヲ取消ス旨ヲ宣言スル判決ハ控訴故障ノ申立ニ基ク手續又ハ留保判決ノ言渡後ニ於ケル手續ニ於テ之ヲ爲スモノトス(四二六、四二七、四九一、四九二、五一)又強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル判決ハ執行文ノ付與ニ對スル異議ノ訴又ハ執行異議ノ訴ニ基キテ之ヲ爲スモノナリ(五四五、五四六、五四九)而シテ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル決定ハ第五百二十二條第一項ノ規定ニ基キテ之ヲ爲シ又強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スルカ又ハ其停止ヲ命スル決定ハ第五百四十四條第一項前段ノ規定ニ基キテ之ヲ爲スモノトス
 本號ニ所謂執行力アル裁判ノ正本トハ執行スルコトヲ得ヘキ裁判ノ正本ヲ指スモノナルカ故ニ所謂執行力アル正本ト之ヲ區別セサルヘカラス執行スヘキ判決ヲ取消ス判決ハ其ノ確定シタルトキ又ハ其假執行ノ宣言アルトキニ限り之ヲ執行スルコトヲ得ルモノトス故ニ執行スヘキ判決ヲ取消ス旨ヲ宣言スル判決ノ確定後ニ其正本ヲ提出シテ強制執行ノ停止又ハ制限ヲ求ムルニハ同時ニ此判決確定ノ證明書ヲ提出セサルヘカラサルナリ然レトモ假

執行ノ宣言アル執行スヘキ判決ヲ取消ス判決及ヒ執行スヘキ判決ノ假執行ノ宣言ヲ取消ス判決ハ假執行ヲ爲スコトヲ得サラシムル點ニ付キ其言渡ト共ニ執行力ヲ生スルモノニシテ直ニ執行セラルルコトヲ得ヘシ蓋シ假執行ノ宣言ハ本案ノ判決又ハ假執行ノ宣言ヲ取消ス判決ノ言渡ニ依リテ其效力ヲ失フモノナルヲ以テナリ(五一〇)又強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言スル決定又ハ其停止ヲ命スル決定ハ直ニ之ヲ執行スルコトヲ得ヘシ蓋シ此等ノ決定ハ抗告ヲ以テ不服ヲ申立テラルルトキト雖モ之ヲ執行スルコトヲ得ヘキモノナルヲ以テナリ然レトモ前述ノ決定ニ對スル抗告ノ提起後ニ執行中止ヲ命スル裁判アリタルトキハ此決定ヲ直ニ執行スルコトヲ得サルニ至ルモノト知ルヘシ(四六〇。次號參照)

(二)執行又ハ或執行處分ノ一時ノ停止ヲ命スル旨ヲ記載シタル裁判ノ正本カ提出セラレタルトキ

執行又ハ或執行處分ノ一時ノ停止ヲ命スル決定ハ抗告ヲ以テ不服ヲ申立テラルルトキト雖モ之ヲ執行スルコトヲ得ヘク(四六〇。一)又第五百四十八條ノ

規定ニ從ヒ判決ニ於テ執行ノ一時ノ停止ヲ命スルトキハ此點ニ關シテ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ其判決ハ未タ確定セサルトキト雖モ此點ニ關シテ直ニ之ヲ執行スルコトヲ得ヘシ是レ執行又ハ或執行處分ノ一時ノ停止ヲ命スル裁判ニ基キテ強制執行ヲ停止シ又ハ制限スルニハ其裁判カ執行力ヲ有スルコトヲ要スル旨ヲ特ニ規定セサル所以ナリ執行又ハ或執行處分ノ一時ノ停止ヲ命スル裁判ハ第四百六十條第二項、第三項、第五百條、第五百十二條、第五百二十二條第二項、第五百四十四條第一項後段、第五百四十七條第二項、第五百四十八條第一項又ハ第五百四十九條第四項等ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スモノトス又或裁判ニ對スル抗告カ執行停止ノ效力ヲ有スルトキハ抗告ノ提起アリタル場合ニ於テ其裁判ニ依ル強制執行ノ一時ノ停止ヲ命スヘキコト曾テ述ヘタルカ如シ

(三)執行ヲ免ルルカ爲メニ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲シタル旨ヲ記載セル公正ノ證明書カ提出セラレタルトキ

保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲シテ執行ヲ免ルルコトヲ許ス裁判ヲ爲スハ第五百

條第五百五條第二項第五百二十二條第五百二十二條第二項第五百四十四條第一項後段第五百四十七條第二項第三項第四項及ヒ第五百四十九條第四項等ノ場合ニ於テ之ヲ見ルモノトス今此裁判ニ基キテ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲シタル旨ヲ記載セル公正ノ證明書ヲ提出シ以テ強制執行ノ停止又ハ制限ヲ求ムルニハ尙ホ此裁判ヲ提出スルコトヲ要スルノミナラス此裁判カ執行スルヲ得ヘキモノタルコトヲ必要トスルヲ知ルヘシ

(四)執行スヘキ判決ノ後ニ債權者カ辨濟ヲ受ケ又ハ辨濟ノ猶豫ヲ承諾シタル旨ヲ記載セル證書カ提出セラレタルトキ
債務者カ右ノ證書ヲ提出シテ強制執行ノ停止又ハ制限ヲ求ムルニハ適當ノ方法ヲ以テ其ノ真正ナルコトヲ明ニセサルヘカラス若シ債權者ノ主張又ハ他ノ事情ニ依リテ債務者ノ提出セル證書ヲ真正ト認ムヘカラスカ又ハ之ヲ無效ト認ムヘキトキハ執行機關ハ強制執行ノ停止又ハ制限ヲ拒ムヘキモノトス而シテ執行裁判所又ハ執達吏カ強制執行ノ停止又ハ制限ヲ拒ミ以テ強制執行ヲ續行シタル場合ニ於テハ之ヲ不當トスル債務者ハ執行裁判所ニ

異議ヲ提出スルコトヲ得ヘシ又執行裁判所又ハ執達吏カ強制執行ヲ停止シ又ハ制限シタル場合ニ於テハ之ヲ不當トスル債權者ハ執行裁判所ニ異議ヲ提出スルコトヲ得ルモノトス(五四四)

本號ニ掲クル證書アルトキハ債務者ハ亦執行異議ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ヘシ是レ既ニ述ヘタル所ニ依リテ明ナリトス

右ニ述ヘタル第一號及ヒ第三號ノ場合ニ於テハ既ニ爲シタル執行處分ヲ取消スヘキモノトス之ニ反シテ第四號ノ場合ニ於テハ既ニ爲シタル執行處分ハ一時之ヲ保持シ又第二號ノ場合ニ於テハ同號ニ掲クル裁判ヲ以テ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ヲ特ニ命セサルトキニ限り一時之ヲ保持スヘキモノトス一時保持シタル執行處分ハ債權者カ其取消ヲ求メ又ハ強制執行ヲ許ササル旨ヲ宣言シ若クハ其停止ヲ命スル旨ヲ記載シタル執行力アル裁判ノ正本カ提出セラレタルトキニ至リテ之ヲ取消スヘキモノナリ

債務者又ハ第三者ハ第五百五十條ニ掲クル書面ヲ提出スルニ非サレハ強制執行ノ停止若クハ制限又ハ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ヲ求ムルコトヲ得サル

モノナルカ故ニ執行機關ニ對シテ異議ヲ述フルノミニテハ強制執行ヲ妨クルコトヲ得サルモノトス故ニ強制執行ハ債務者又ハ第三者ノ單純ナル異議ニ依リテ妨ケラルルコトナシト知ルヘシ

第五百五十條第一號及ヒ第二號ノ場合ニ於テ強制執行ヲ停止シ又ハ制限スルハ裁判ニ基キテ之ヲ停止シ又ハ制限スルモノナルカ故ニ其執行ニ外ナラス同條第三號ノ場合ニ於テ強制執行ヲ停止シ又ハ制限スルモノ亦之ニ同シ蓋シ執行ヲ免ルルカ爲メニ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲シタル旨ヲ記載シタル公正ノ證明書ノ提出アリタル場合ニ於テ強制執行ヲ停止シ又ハ制限スルハ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲シテ執行ヲ免ルルコトヲ許ス裁判ニ基クモノナルヲ以テナリ此ノ如ク裁判ニ基キテ強制執行ヲ停止シ又ハ制限シタル場合ニ於テ更ニ強制執行ヲ爲スニハ債權者ノ申立アルノミニテ足レリトセス尙ホ強制執行ヲ命スル裁判アルコトヲ必要トス但シ第五百四十七條第四項末段ノ場合ハ此限ニ在ラス此裁判ヲ爲スヘキ裁判所ハ強制執行ノ停止又ハ制限ノ基礎ト爲リタル裁判ヲ爲シタル裁判所トス執行スヘキ判決ノ後ニ債權者カ辨濟ヲ受ケタル旨ヲ記載

シタル證書ノ提出アリタルカ爲メ強制執行ヲ停止シ又ハ制限シタル場合ニ於テハ債權者ノ要求アルノミニテ更ニ強制執行ヲ爲スヘキモノナルコトヲ主張スル學者アリ然レトモ此見解ハ執行スヘキ判決ノ後ニ債權者カ辨濟ヲ受ケタル旨ヲ記載シタル證書ノ提出アリタル場合ニ於テモ強制執行ヲ停止シ又ハ制限スルコトヲ要スル旨ヲ定メタル第五百五十條ノ文意ニ反スルノミナラス此見解ニ依ルトキハ債權者カ既ニ辨濟ヲ受ケタルニ拘ラス更ニ強制執行ヲ求ムルコトアル結果ヲ生スルニ至ルヘシ故ニ此場合ニ於テモ更ニ強制執行ヲ爲スニハ之ヲ命スル裁判アルコトヲ必要トスルモノト謂ハサルヘカラス此裁判ハ第五百四十四條ノ規定ニ從ヒ債權者ノ申立ニ依リテ執行裁判所之ヲ爲スヘキモノトス又執行スヘキ判決ノ後ニ債權者カ辨濟ノ猶豫ヲ承諾シタル旨ヲ記載シタル證書ノ提出アリタルカ爲メ強制執行ヲ停止シ又ハ制限シタル場合ニ於テ一定ノ猶豫期間ノ定ナキトキハ債權者ノ要求アレハ何時ニテモ更ニ強制執行ヲ爲スヘキモノトス然レトモ一定ノ猶豫期間ノ定アルトキハ其期限ノ滿了後ニ至リ債權者ノ要求ナクシテ更ニ強制執行ヲ爲スヘキヤ否ヤヲ其意思ヲ推

測シテ定ムヘキモノナリ

一一四六

第五百五十條ノ規定ニ從ヒテ強制執行ヲ停止スルコトヲ要スル事情アルトキハ亦強制執行ヲ始ムルコトヲ妨クル事情ノ存在スルモノト謂フヘシ蓋シ此場合ニ於テ強制執行ヲ始ムルコトヲ得サルハ勿論ナルヲ以テナリ

強制執行ノ停止制限又ハ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ニ關スル第五百五十條及ヒ第五百五十一條ノ規定ハ判決ニ依ル強制執行ニ關スルモノナリト雖モ此規定ハ他ノ執行名義ニ依ル強制執行ニ準用セラルルモノト知ルヘシ(五六〇)

既ニ爲シタル執行處分ハ前ニ述ヘタル外其取消ヲ命スル執行力アル裁判ノ正本ノ提出セラレタル場合ニ於テ債務者又ハ第三者ノ申立ニ依リ其取消ヲ爲スコトヲ要スルモノトス(五〇〇、一五四四、一五四七、二五四九)

強制執行ノ開始後ニ債權者カ死亡シ又ハ戸主權ヲ喪失シタルカ爲メ其相續人カ之ニ代リタルトキハ強制執行ヲ停止スルコトヲ要スルモノトス蓋シ強制執行ハ執行名義又ハ之ニ附記スル執行文ニ債權者トシテ表示セラレタル者ノ爲メニノミ之ヲ爲スヘキモノナルヲ以テナリ之ニ反シテ強制執行ノ開始後ニ債

務者カ死亡シ又ハ戸主權ヲ喪失シタルトキハ其遺產又ハ債務者カ戸主權ヲ喪失セル際ニ有セシ財産ニ對シテ強制執行ヲ續行スヘキモノナルカ故ニ此場合ニ於テハ之ヲ停止スヘキモノニ非サルナリ(五二八、五五二、五五三、五六〇)

執行機關ハ法律ニ定メタル事由アル場合ニ於テハ職權ヲ以テ強制執行ヲ停止シ又ハ既ニ爲シタル執行處分ヲ取消スコトヲ要スルモノトス例ヘハ第六百五十三條第六百五十六條又ハ第七百十六條ノ場合ニ於ケルカ如シ

執行處分ノ取消ノ原因タル事情アル場合ニ於テモ其取消カ執行處分ニ依リテ第三者ノ得タル權利ト牴觸スヘキトキハ之ヲ爲スコトヲ得サルモノト謂ハサルヘカラス例ヘハ競落人カ競落ヲ許ス決定ニ依リテ差押物ノ所有權ヲ取得シタル後ハ競賣ヲ取消スコトヲ得サルカ如シ(五七七、六八六、六八八)又執行處分ノ取消ハ強制執行手續ニ於テ之ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ或執行處分ノ後ニ又ハ或執行處分ト共ニ強制執行手續ノ終了ヲ來シタルトキハ其執行處分ノ取消ヲ爲スコトヲ得サルニ至ルモノトス然レトモ此場合ニ於テハ強制執行ニ依リテ權利ヲ侵害セラレタル者ハ實體法ニ基キテ有スル權利ヲ主張スルコトヲ得